

平成28年度

---

周術期管理・麻酔におけるマンパワーと  
労働環境及びチーム医療に関する実態調査

---

— 日本外科学会外科専門医制度修練施設対象 —

《グラフ・層別化集計含む》

— コメント・記述集計は別添掲載 —

## 周術期管理・麻酔におけるマンパワーと労働環境及びチーム医療に関する実態調査

医師不足、医療費増抑制策など外科医療を取り巻く環境が厳しさを増す今日、単に医師数の増加を目指すのみでなくチーム医療の推進により、“医療の質”、“医療安全”、“生産性(効率)の改善”の鼎立を目指す事の重要性は論を待ちません。なお、ここで言うチーム医療とは、“しっかりと教育・修練・評価のもとに、それぞれの職種の役割を見直し、それぞれの職種がコア業務とその修練に専念できるような体制のもとに連携する”事であります。

“麻酔なくして手術なし”、つまり外科医療におけるチーム医療において外科医の最も重要なパートナーの医師は麻酔科医であるにもかかわらず、これまで外科医と麻酔科医が共通する課題について話し合う場がありませんでした。今般、様々な懸案を共に解決するために日本外科学会と日本麻酔科学会が定期的に合同の会合を持つことの同意が得られました。この定期協議会のキックオフにあたり日本麻酔科学会の協力も得て企画しましたのが今回のアンケート調査です。

日本麻酔科学会では2013年11月から1月にかけて「麻酔科医のマンパワーに関する調査(マンパワーアンケート)」を行い、その結果を2015年1月に公開していますが

(<http://www.anesth.or.jp/info/pdf/suggestion20150109-1.pdf>)、

回答者が外科医ではないため、外科医から見た実態が必ずしも明らかにされていません。そこで、外科学会の指定施設、関連施設の事務連絡指導責任者(外科の責任者)の先生を対象にこのアンケートへのご回答をお願いすることとなりました。設問は日本麻酔科学会よりの委員も加わり作成しました。日本麻酔科学会でも今後、外科医に望む事、というようなアンケートが行われるとよいのではないかと思います。

労働環境や処遇の改善と医療の質、医療安全の向上は密接に関連し、一体として解決に向け取り組むべき課題です。こうした課題につき日本外科学会がこれまで行ってきました様々なアンケート調査に皆さまからいただきました貴重なご回答により作成しましたデータに基づく要望を厚生労働省や外保連、メディアなどに発信し、少しずつではありますが、成果も得られて参りました。

我が国はこれから人口減少時代、未曾有の少子高齢化社会に突入します。将来にわたり日本の優れた外科医療を維持・発展させるためには、優秀な若手を外科領域にリクルートし、育成できるような労働環境、教育システムを整備し、処遇を改善する事が必要不可欠です。

一般社団法人日本外科学会

理事長 渡邊 聡明

外科医労働環境改善委員会委員長 松居 喜郎

外科医労働環境改善委員会前委員長 富永 隆治

平成28年11月

## アンケート調査期間・対象・方法

調査期間 平成28年11月9日～平成29年1月31日

調査対象 日本外科学会外科専門医制度修練施設の  
事務連絡指導責任者を対象とした。

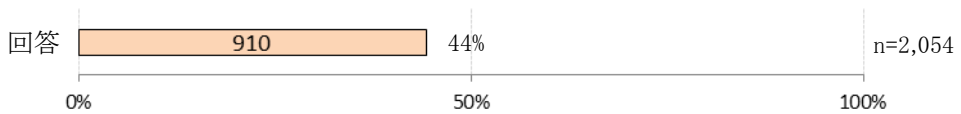
調査方法 Web(インターネット)による調査  
※日本外科学会の会員専用ページにログインして回答  
電子メール、ホームページで調査実施を告知した。

【Ⅰ】回答者について-----	1
【Ⅱ】施設について-----	2
【Ⅲ】麻酔科医師とその処遇について-----	17
【Ⅳ】術前管理について-----	27
【Ⅴ-1】麻酔科医以外による麻酔管理(術中管理)の有無について-----	29
【Ⅴ-2】看護師の術中管理(麻酔管理)について-----	38
【Ⅵ】「並列管理(並列麻酔)」の場合について-----	43
【Ⅶ】機械出しについて-----	45
【Ⅷ】その他-----	48
【Ⅸ】患者搬送時の対応について-----	52
【Ⅹ】術後管理について-----	52
【ⅩⅠ】集中治療室(一般病棟以外)における術後管理の実際について-----	60
【ⅩⅡ】一般病棟における術後管理の実際について-----	62
【ⅩⅢ】外科医の当直制やオンコール制について-----	64
【ⅩⅣ】麻酔科医の当直制やオンコール制について-----	68
【ⅩⅤ】その他-2-----	72

## 層別化集計項目

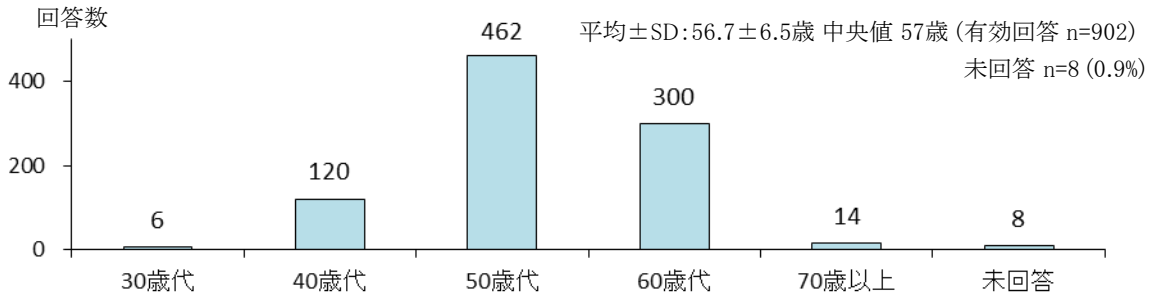
Q_No	設問内容	病床 数別	手術数 別	地域 別	設置 主体別	常勤外科系 医師数別
018b	手術部専従の臨床工学技士「いる」場合の人数	○	○	○		
019b	手術部専従の薬剤師「いる」場合の人数	○	○	○		
020b	手術部専従の事務員「いる」場合の人数	○	○	○		
025	常勤外科系医師数(外科手術をする科の医師数)	○	○	○		
026	常勤麻酔科医(麻酔科標榜資格を有し、麻酔科業務に従事している医師で、社会保障費の雇用者負担を貴施設が払っている者)について	○	○	○		
029	非常勤嘱託麻酔科医(定期非常勤)	○	○	○		
030	スポット(不定期非常勤)への依存	○	○	○		
034a	非常勤嘱託医の1麻酔あたりの報酬【スポット非常勤の場合】				○	
034b	非常勤嘱託医の1麻酔あたりの報酬【フリーター麻酔の場合】				○	
051	日々の定例手術のみの場合「時間内(夜間・休日・深夜を除く)麻酔	○	○		○	
052	定例手術「時間内(夜間・休日・深夜を除く)」が長時間手術となり時間外に手術が食い込んだ場合の麻酔	○	○		○	
053	時間内(夜間・休日・深夜を除く)に緊急手術が発生した場合の麻酔	○	○		○	
054	時間外手術の場合の麻酔	○	○		○	
055	夜間手術の場合の麻酔	○	○		○	
056	休日手術の場合の麻酔	○	○		○	
057	年間を通して麻酔科医以外による麻酔	○	○		○	
065	看護師が麻酔業務に従事することはありますか？	○	○		○	
072	*1:麻酔科医の指導、監督下に麻酔の維持及び麻酔管理をすること	○	○		○	
073	*2:麻酔科医以外の医師の指導、監督下に麻酔の維持及び麻酔管理をすること	○	○		○	
074	*3:麻酔科医あるいは医師の指導、監督なしで麻酔の維持及び麻酔管理をすること	○	○		○	
082	定例手術の場合に看護師以外が機械出しを行う事がありますか	○	○		○	
083	緊急手術の場合に看護師以外が機械出しを行う事がありますか	○	○		○	
084	時間外(定例の延長含む)・休日・夜間手術の場合に看護師以外が機械出しを行う事がありますか	○	○		○	
087	認定看護師(手術看護)の有無について	○	○		○	
088	特定看護師(特定行為に係る指定研修制度修了者)の有無について	○	○		○	
096	Open ICU(外科医が術後管理)の場合に日中(手術中など)に外科医が不在で誰も医師がいなくなることがありますか？	○	○		○	○
097	Semiopen ICU(外科医と集中治療医と一緒に術後管理)の場合に誰も医師がいなくなることがありますか？	○	○		○	○
099	Closed ICU(集中治療医 intensivist が術後管理)の場合に誰も医師がいなくなることがありますか？	○	○		○	○
106	医師以外の看護師が手順書(包括的指示)に従い(直接の口頭指示ではなくその場に医師がいなくても)、人工呼吸器の離脱を進める事がありますか？	○	○		○	
120	日中(手術中や外来など)に外科医が不在で病棟に誰も医師がいなくなり、患者の状態に応じたタイムリーな対応・処置ができず、夕方や夜間などに先延ばしされることがありますか？	○	○		○	
121	当直制	○	○		○	
122	オンコール制	○	○		○	
123	当直明けは	○	○		○	
124	宿日直手当て	○	○		○	
125	当直制	○	○		○	
126	オンコール制	○	○		○	
127	当直明けは	○	○		○	
128	宿日直手当て	○	○		○	
130	麻酔科医不足による問題は	○	○		○	

☆ 回答率 — 44% 回答数：910 (配布数:2,054)

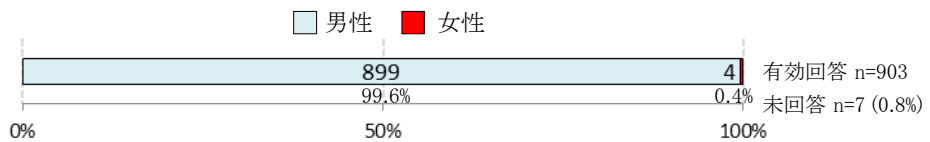


【 I 】回答者について (外科専門医制度修練施設の事務連絡指導責任者)

【 I 】—Q001. 年齢 (歳) (平成28年9月30日時点)



【 I 】—Q002. 性別



【 I 】—Q003. 役職 有効回答 n=895, 未回答 n=15 (2%)

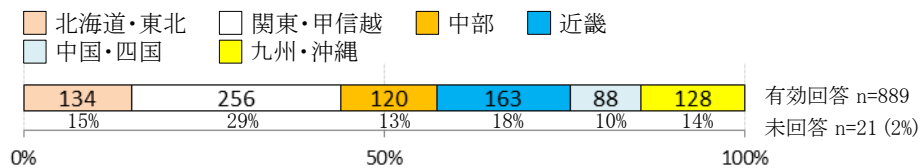
役職	回答	役職	回答
院長・総長・病院長・名誉院長	152	教授・名誉教授	71
副院長・院長代行・兼任部長	230	准教授・講師・助教	12
部長・科長・センター長	356	理事長・兼任院長	11
副部長・副科長	9	副理事長・理事	3
医長・医局長	32	顧問	5
医員・役職なし	14		

【 I 】—Q004. 診療科 (複数回答あり) 有効回答 n=904, 未回答 n=6 (0.7%)

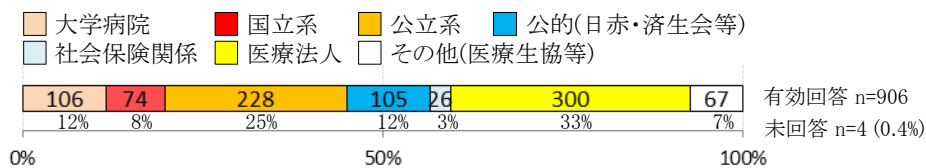
診療科	回答	診療科	回答	診療科	回答
外科	597	血管外科	6	内分泌外科	4
一般外科	20	小児外科	17	甲状腺外科	2
消化器外科	122	小児心臓血管外科	2	移植外科	3
肝胆膵外科	14	小児集中治療科	1	救急科	2
呼吸器外科	37	肛門科	4	麻酔科	10
胸部外科	5	乳腺外科	26	減量・糖尿病外科	1
心臓血管外科	79	乳腺内分泌外科	2	緩和ケア科	1

【Ⅱ】施設について

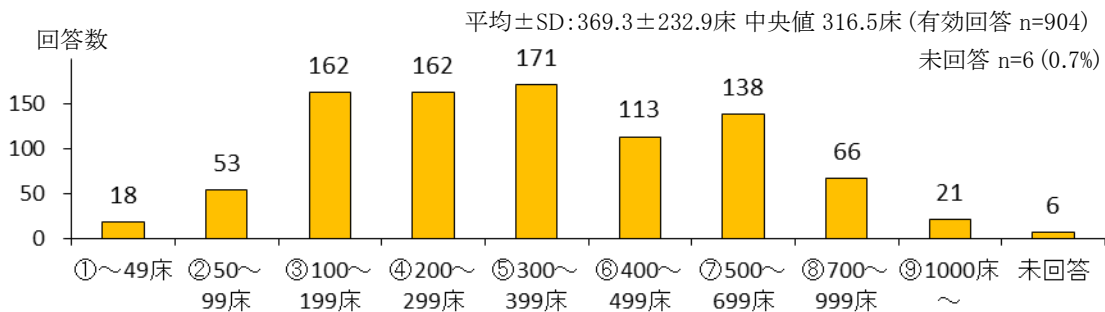
【Ⅱ】—Q005. 都道府県



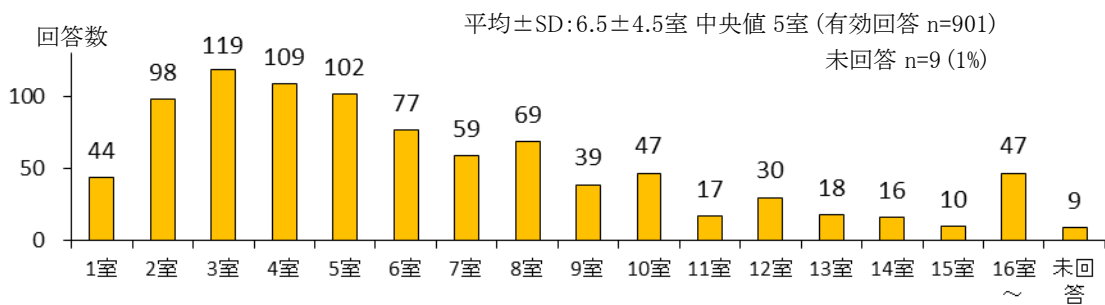
【Ⅱ】—Q006. 設置主体



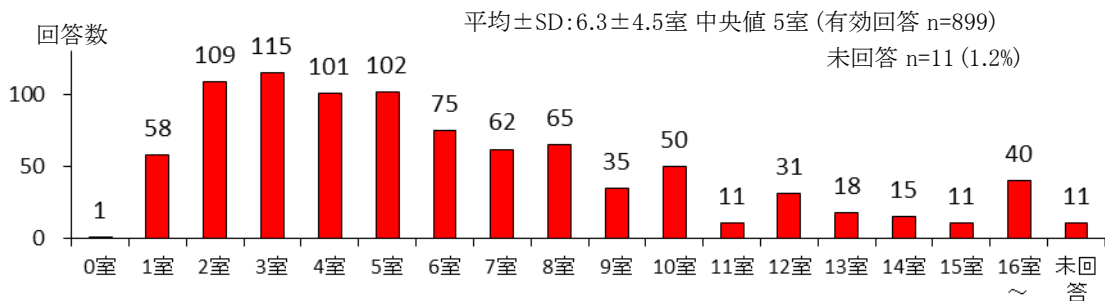
【Ⅱ】—Q007. 病床数



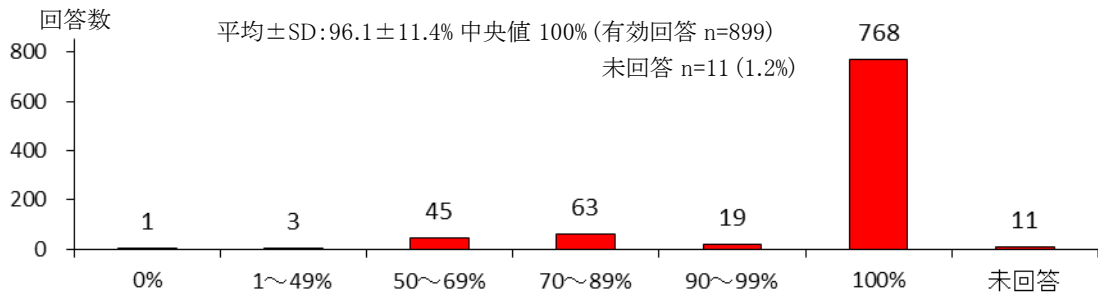
【Ⅱ】—Q008. 手術室総数



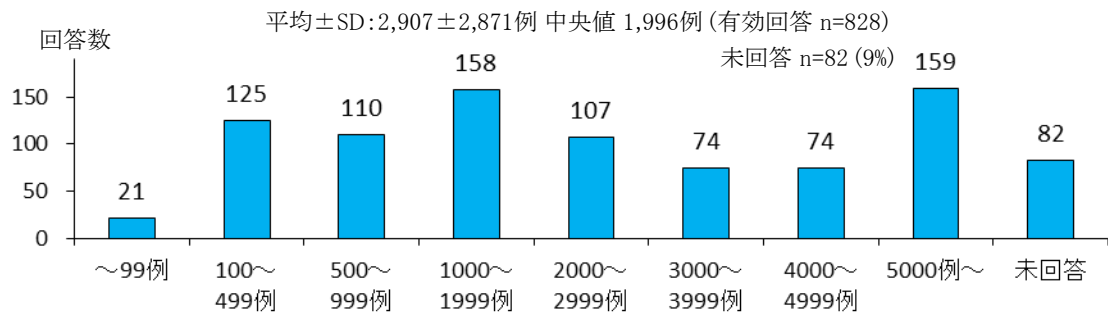
【Ⅱ】—Q009a. 手術室総数のうち、稼働手術室数



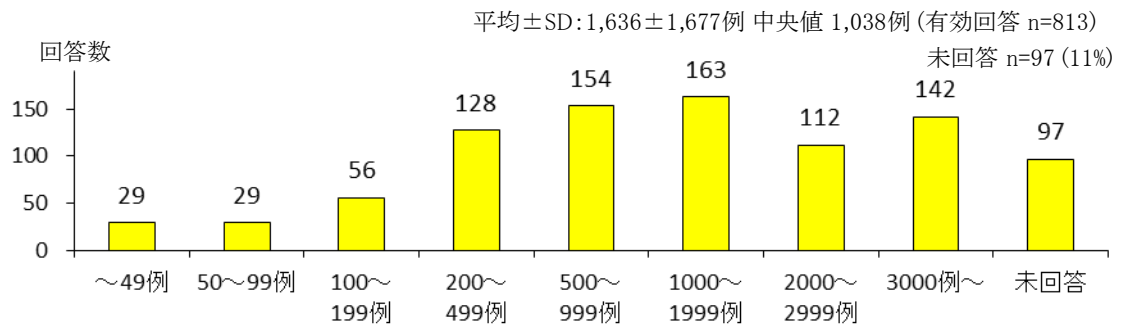
【Ⅱ】—Q009b. 手術室の稼働率



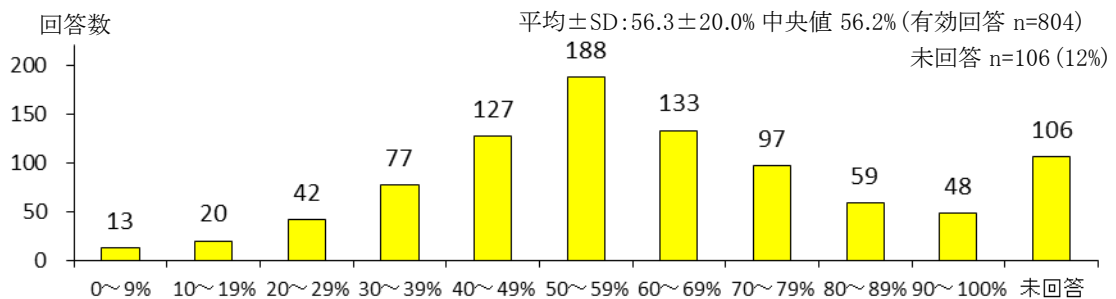
【Ⅱ】—Q010. 総手術症例数 2015年(1月1日~12月31日)



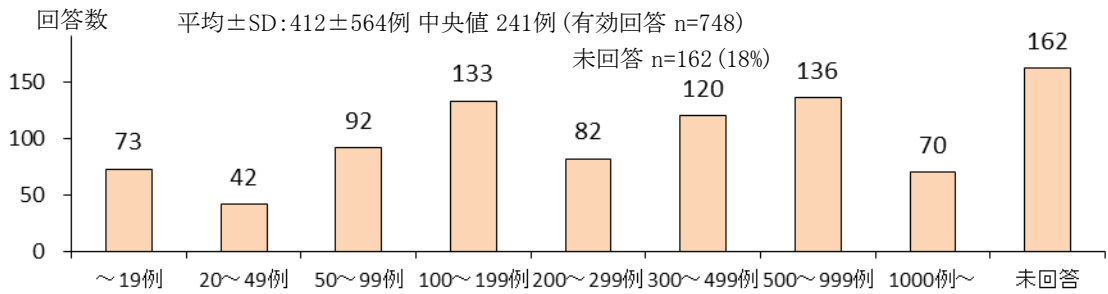
【Ⅱ】—Q011a. 全身麻酔数 2015年(1月1日~12月31日)



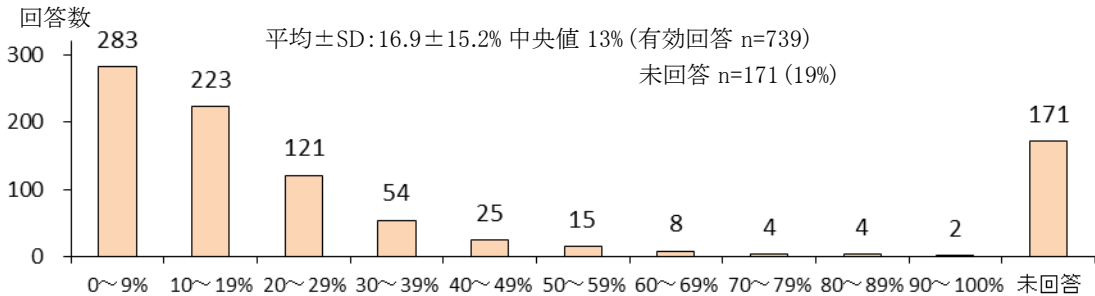
【Ⅱ】—Q011b. 全症例に対する全身麻酔の比率



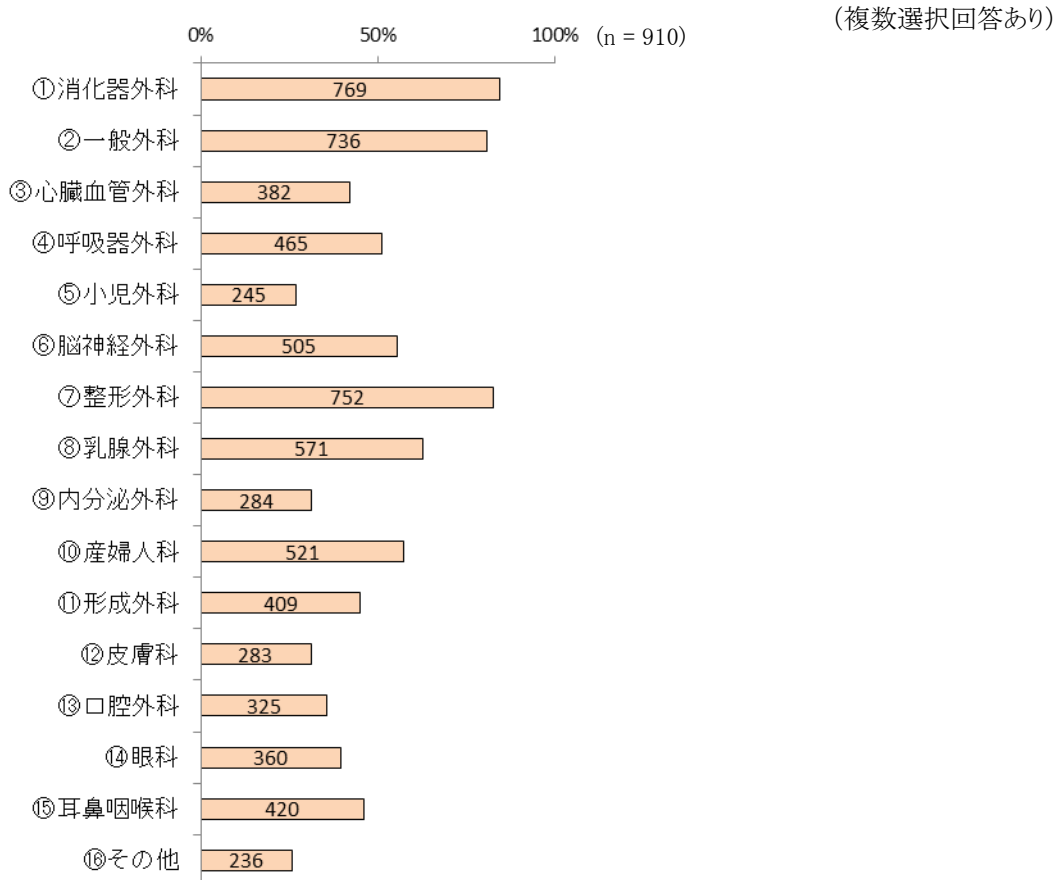
【Ⅱ】—Q012a. 脊髄くも膜下麻酔または硬膜外麻酔数 2015年(1月1日～12月31日)



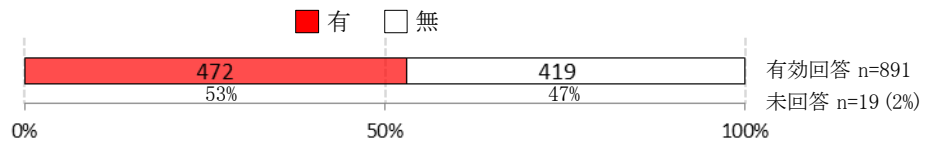
【Ⅱ】—Q012b. 全症例に対する脊髄くも膜下麻酔または硬膜外麻酔の比率



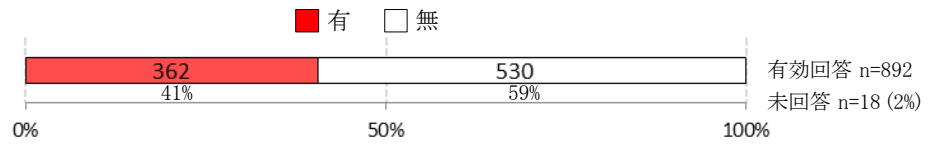
【Ⅱ】—Q013. 全身麻酔あるいは脊髄くも膜下麻酔または硬膜外麻酔で手術を行っている診療科



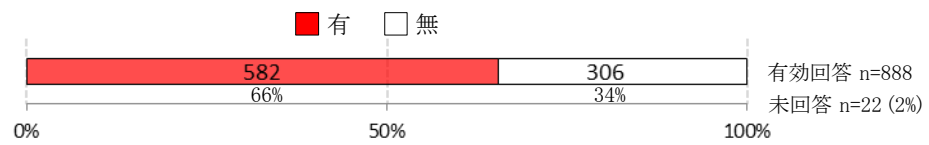
【Ⅱ】—Q014. ICU



【Ⅱ】—Q015. HCU



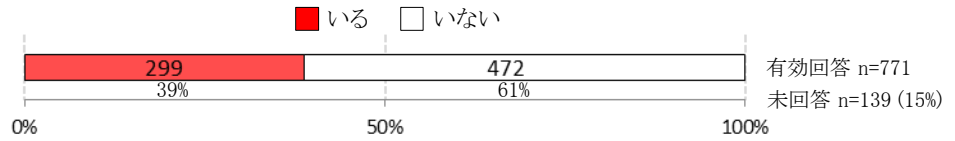
【Ⅱ】—Q016. 手術部



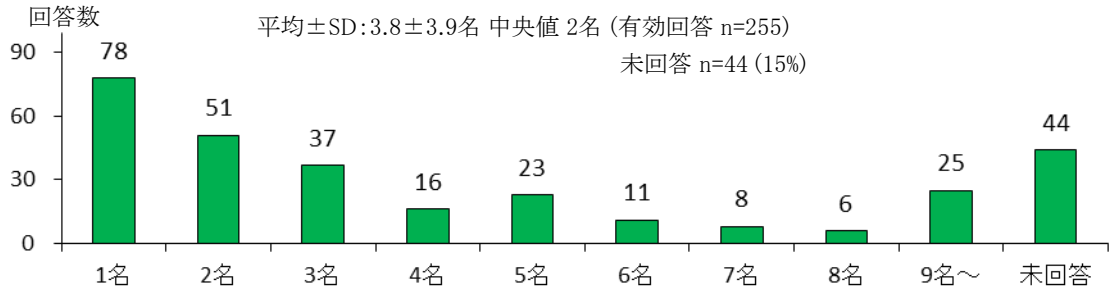
【Ⅱ】—Q017. 手術部の部長の所属科 有効回答 n=633, 未回答 n=277 (30%)

診療科	回答	診療科	回答	診療科	回答
外科	160	耳鼻咽喉科	3	集中治療部	2
外科系診療科	92	眼科	3	統括診療部(科)	2
麻酔科	335	大腸肛門科	1	看護部	3
泌尿器科	11	後腹膜腫瘍科	1	所属なし	8
産婦人科	7	手術部	5		

【Ⅱ】—Q018a. 手術部専従の臨床工学技士

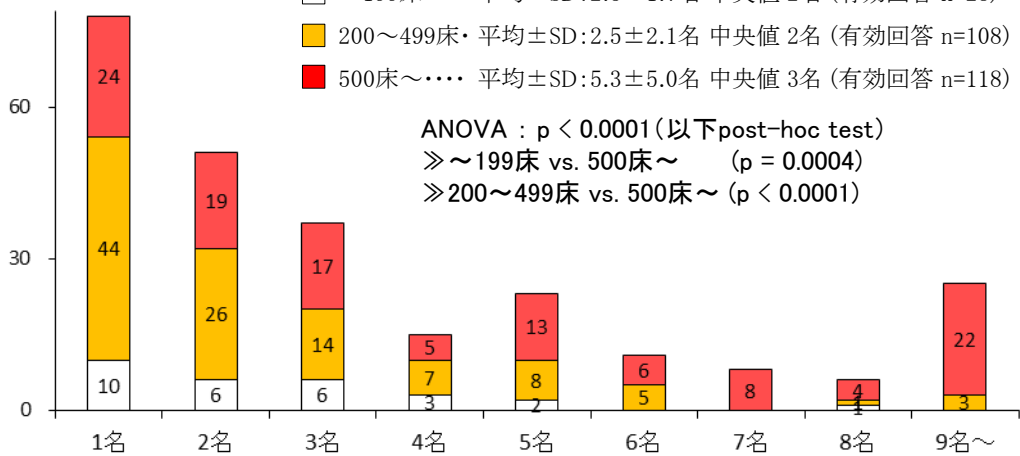


【Ⅱ】—Q018b. 手術部専従の臨床工学技士「いる」場合の人数

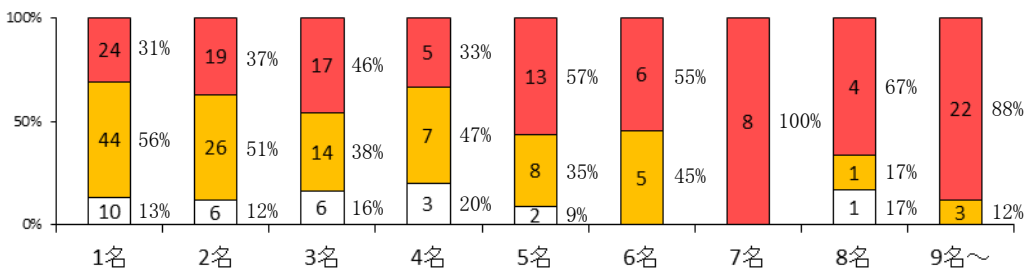


【Ⅱ】—Q018b. ①病床数別

【各人数の実数表示】

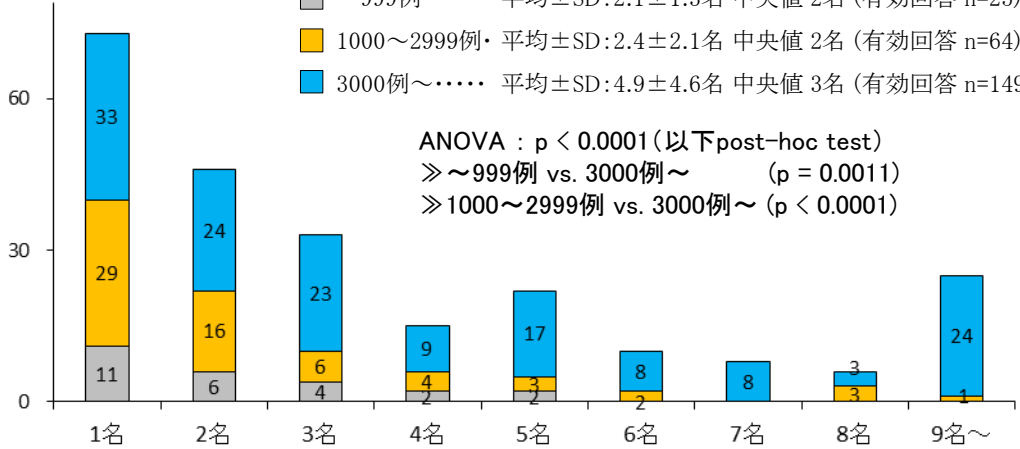


【各人数の構成比率】



【Ⅱ】—Q018b. ②手術数別

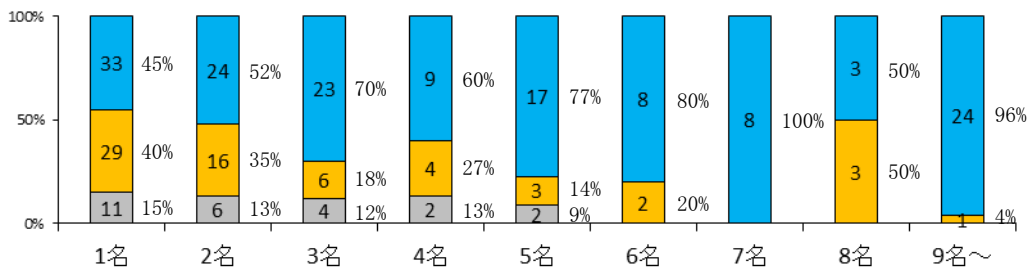
【各人数の実数表示】



~999例..... 平均±SD:2.1±1.3名 中央値 2名 (有効回答 n=25)  
 1000~2999例・ 平均±SD:2.4±2.1名 中央値 2名 (有効回答 n=64)  
 3000例~..... 平均±SD:4.9±4.6名 中央値 3名 (有効回答 n=149)

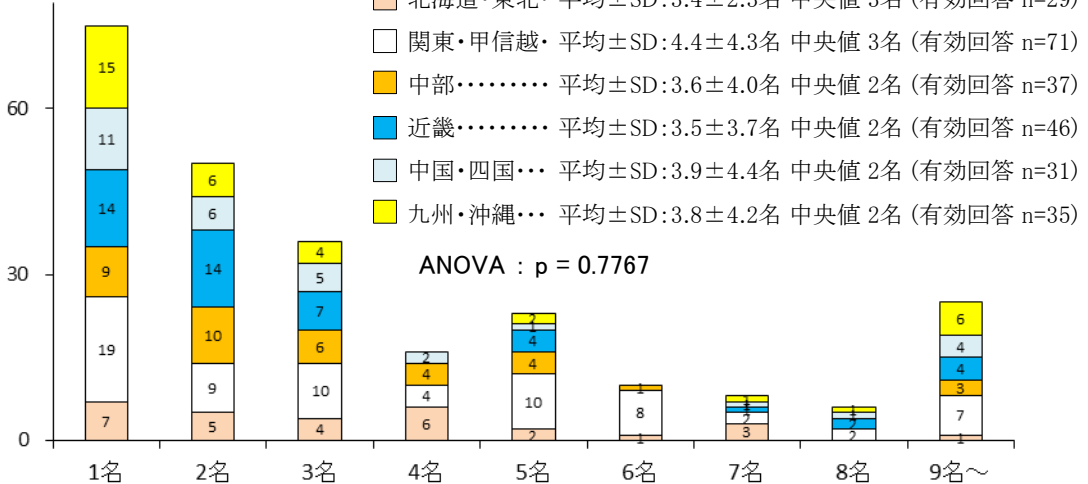
ANOVA :  $p < 0.0001$  (以下post-hoc test)  
 ≧ ~999例 vs. 3000例~ ( $p = 0.0011$ )  
 ≧ 1000~2999例 vs. 3000例~ ( $p < 0.0001$ )

【各人数の構成比率】



【Ⅱ】—Q018b. ③地域別

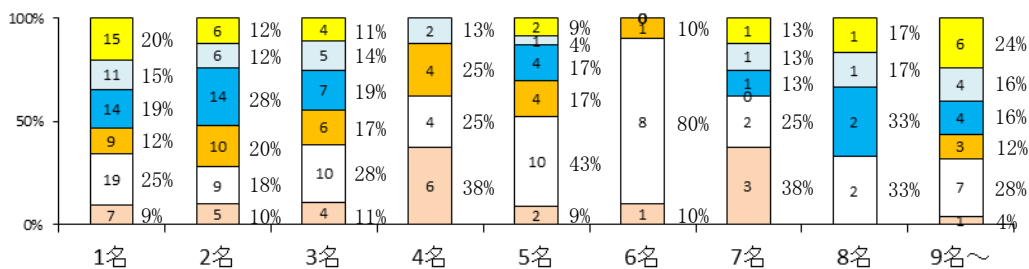
【各人数の実数表示】



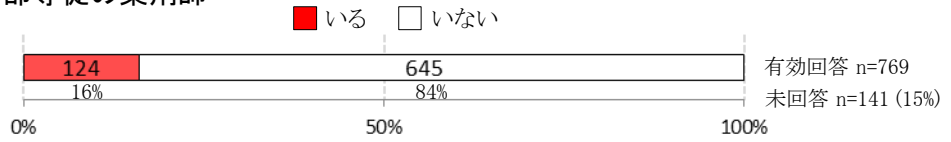
北海道・東北・ 平均±SD:3.4±2.3名 中央値 3名 (有効回答 n=29)  
 関東・甲信越・ 平均±SD:4.4±4.3名 中央値 3名 (有効回答 n=71)  
 中部..... 平均±SD:3.6±4.0名 中央値 2名 (有効回答 n=37)  
 近畿..... 平均±SD:3.5±3.7名 中央値 2名 (有効回答 n=46)  
 中国・四国... 平均±SD:3.9±4.4名 中央値 2名 (有効回答 n=31)  
 九州・沖縄... 平均±SD:3.8±4.2名 中央値 2名 (有効回答 n=35)

ANOVA :  $p = 0.7767$

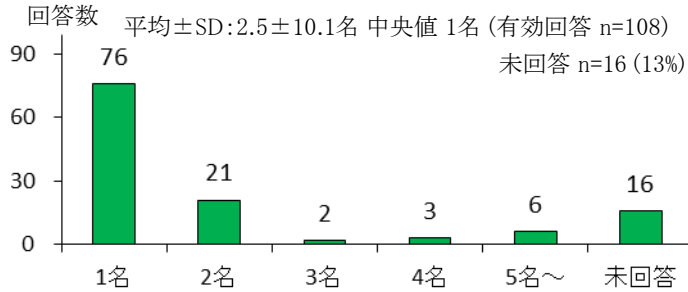
【各人数の構成比率】



【Ⅱ】—Q019a. 手術部専従の薬剤師

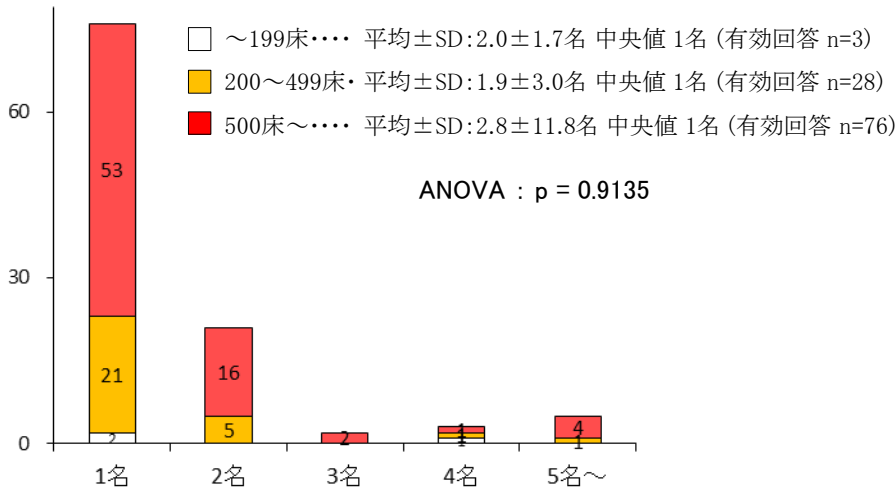


【Ⅱ】—Q019b. 手術部専従の薬剤師「いる」場合の人数

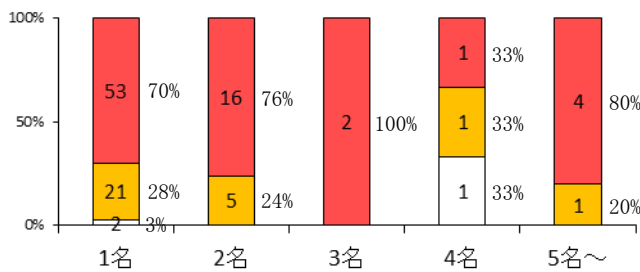


【Ⅱ】—Q019b. ①病床数別 □ ～199床 ■ 200～499床 ■ 500床～

【各人数の実数表示】



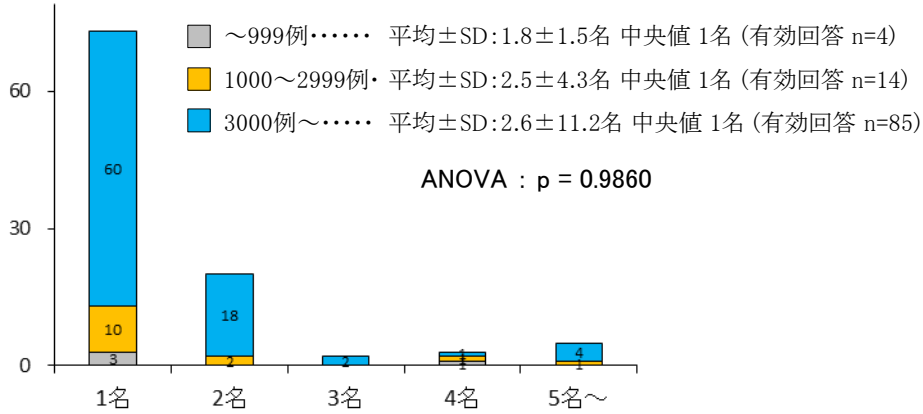
【各人数の構成比率】



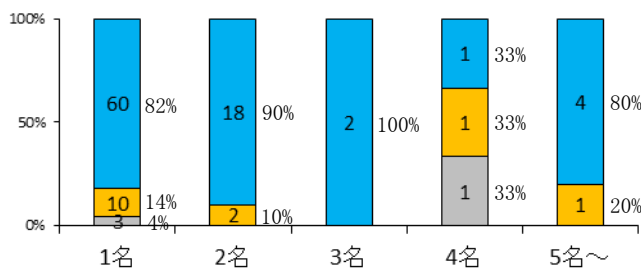
【Ⅱ】—Q019b. ②手術数別

■ ~999例 ■ 1000~2999例 ■ 3000例~

【各人数の実数表示】



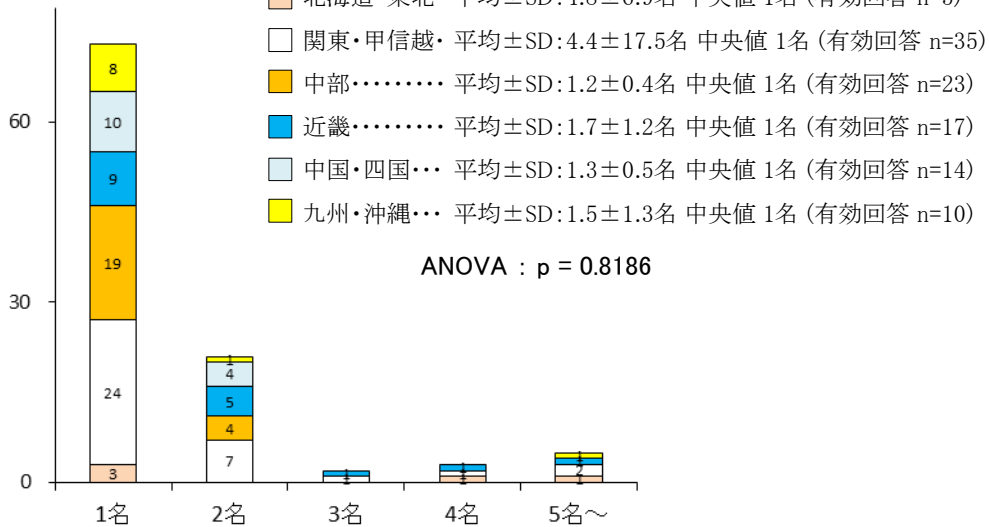
【各人数の構成比率】



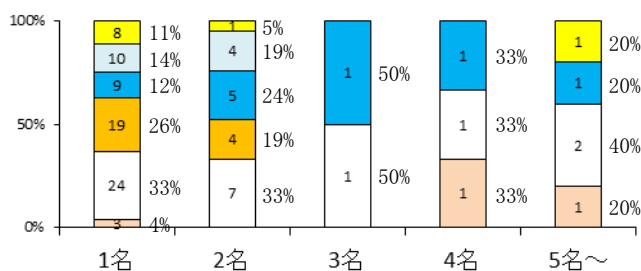
【Ⅱ】—Q019b. ③地域別

■ 北海道・東北 ■ 関東・甲信越 ■ 中部 ■ 近畿 ■ 中国・四国 ■ 九州・沖縄

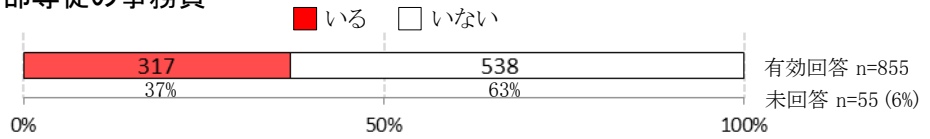
【各人数の実数表示】



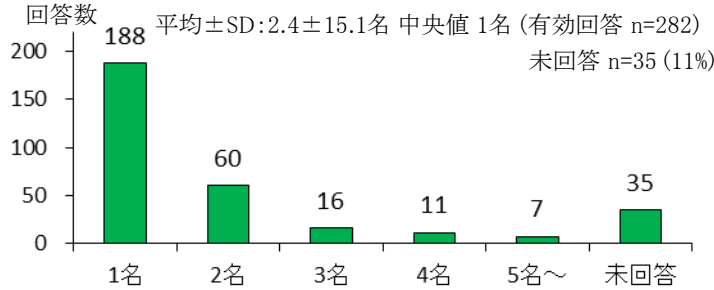
【各人数の構成比率】



【Ⅱ】—Q020a. 手術部専従の事務員

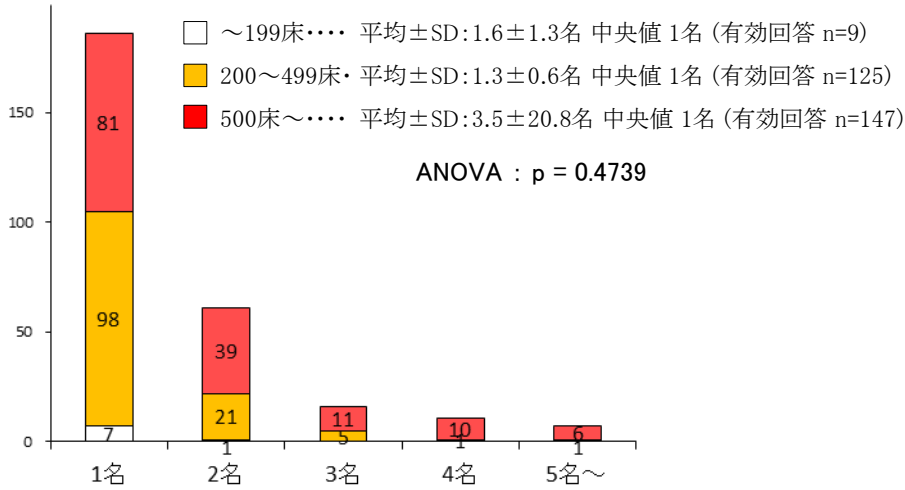


【Ⅱ】—Q020b. 手術部専従の事務員「いる」場合の人数

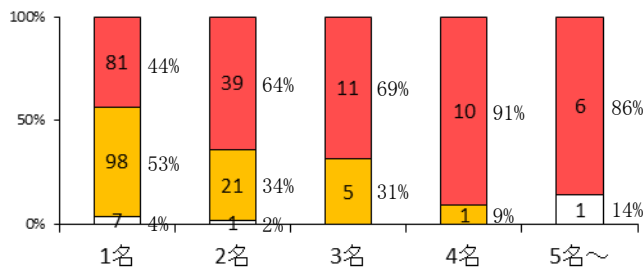


【Ⅱ】—Q020b. ①病床数別

【各人数の実数表示】

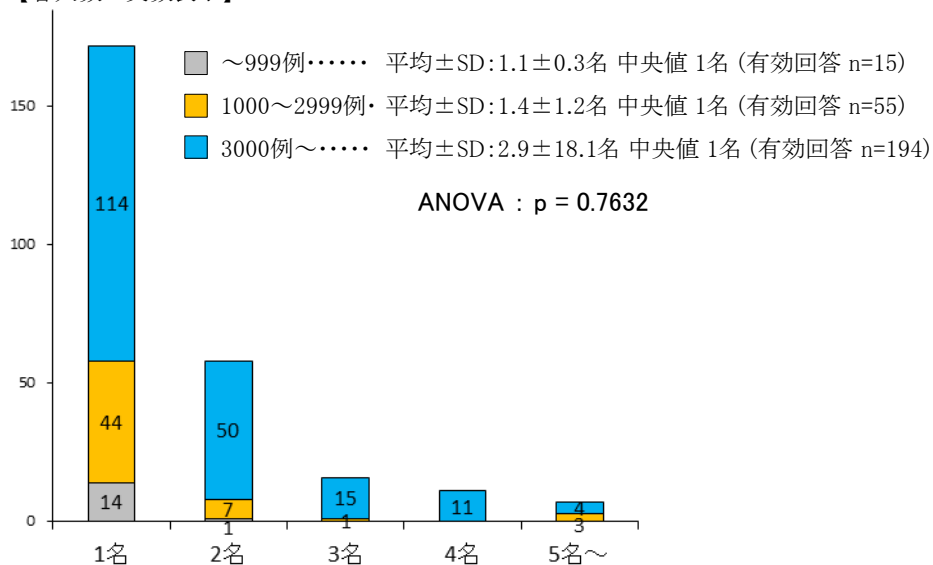


【各人数における比率】

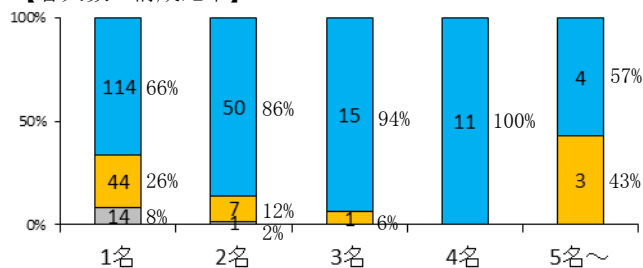


【Ⅱ】—Q020b. ②手術数別 ■ ~999例 ■ 1000~2999例 ■ 3000例~

【各人数の実数表示】

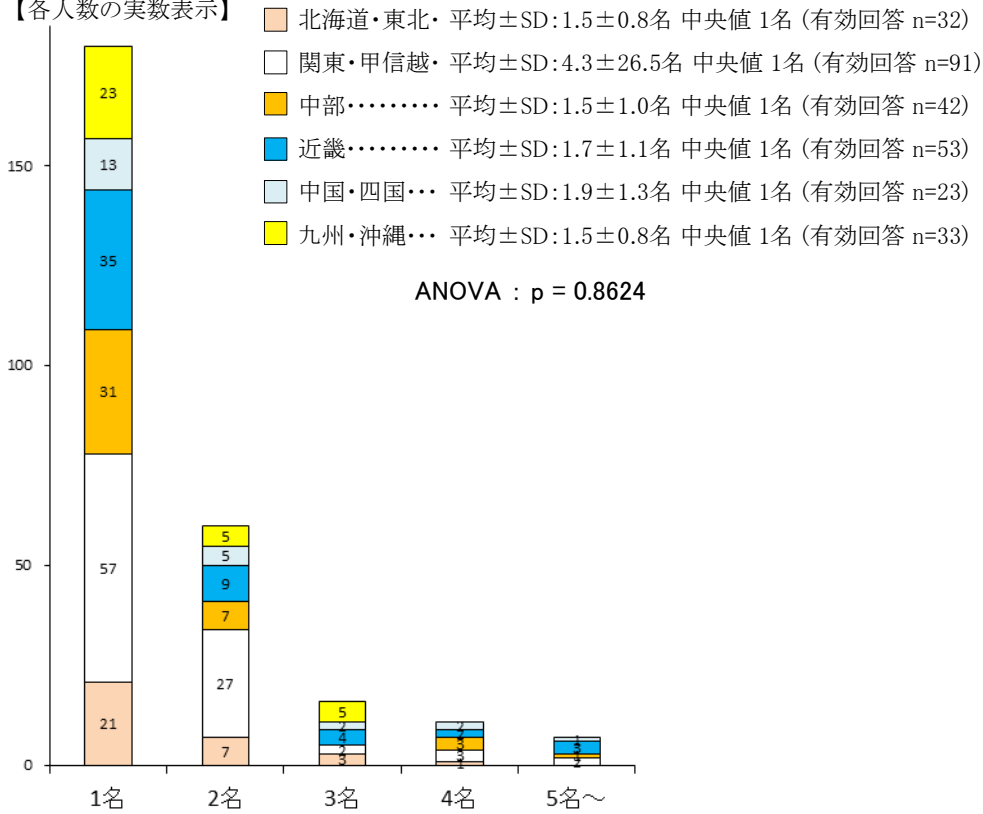


【各人数の構成比率】

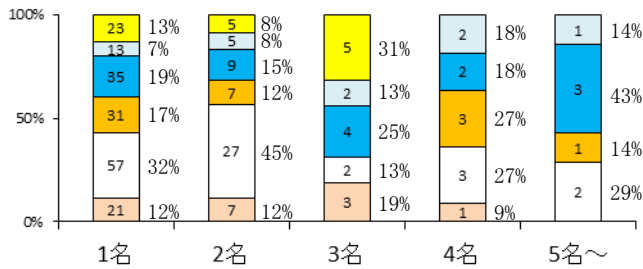


【Ⅱ】—Q020b. ③地域別

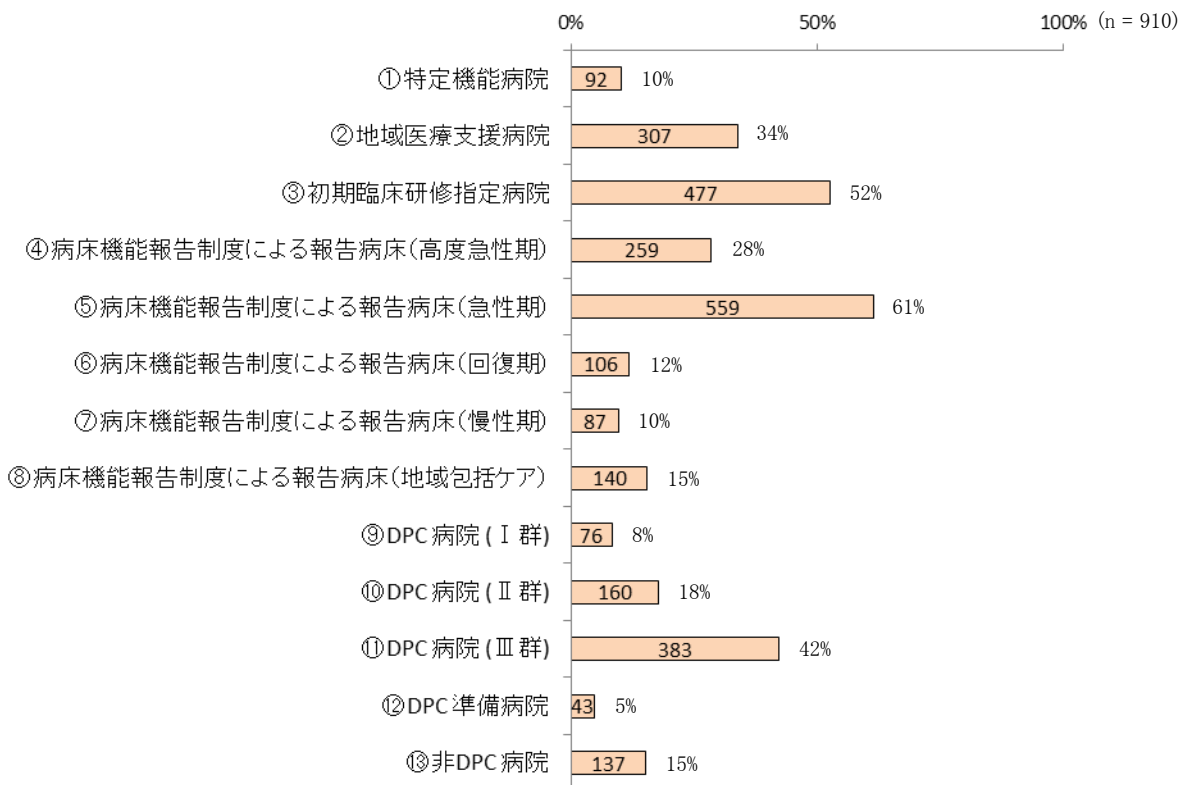
【各人数の実数表示】



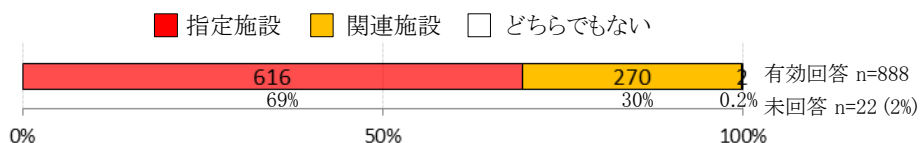
【各人数の構成比率】



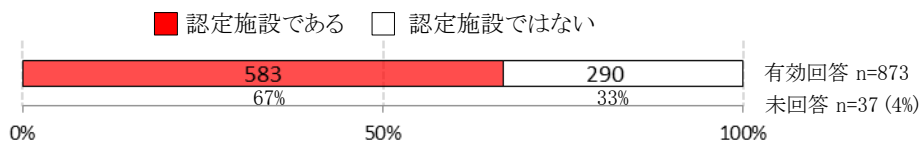
【Ⅱ】—Q021. 医療機関の種類 (複数選択回答あり)



【Ⅱ】—Q022. 日本外科学会の認定施設

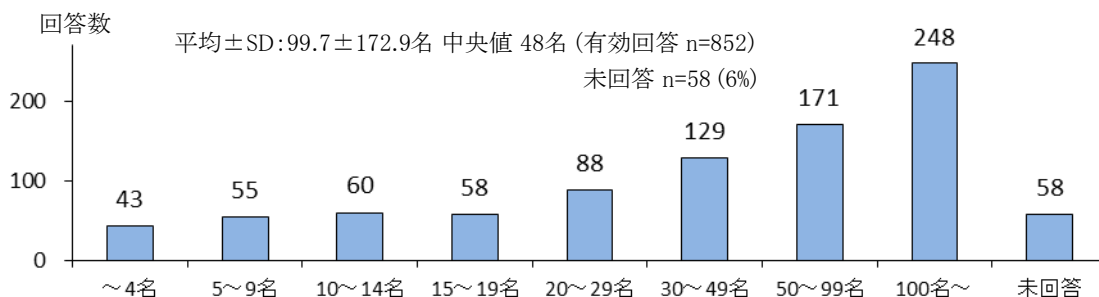


【Ⅱ】—Q023. 日本麻酔科学会の認定施設

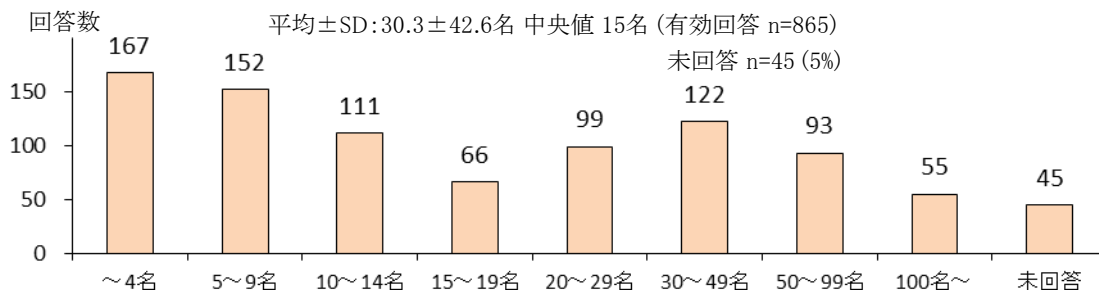


- ・日本外科学会指定施設であって、麻酔科学会認定施設でない施設数 : 102施設 (16.6%)
- ・日本外科学会指定施設または関連施設であって、麻酔科学会認定施設でない施設数: 286施設 (32.3%)
- ・日本麻酔科学会認定施設であって、外科学会指定施設でない施設数 : 78施設 (13.4%)
- ・日本麻酔科学会認定施設であって、外科学会指定施設または関連施設でない施設数 : 0施設 (0%)

【Ⅱ】—Q024. 常勤医師数



【Ⅱ】—Q025. 常勤外科系医師数



【Ⅱ】—Q025. 常勤外科系医師数

【Ⅱ】—Q025. ①病床数別 □ ~199床 ■ 200~499床 ■ 500床~

【各人数の実数表示】

□ ~199床…… 平均±SD:6.0±4.7名 中央値 5名 (有効回答 n=229)

■ 200~499床・ 平均±SD:20.3±16.9名 中央値 16名 (有効回答 n=423)

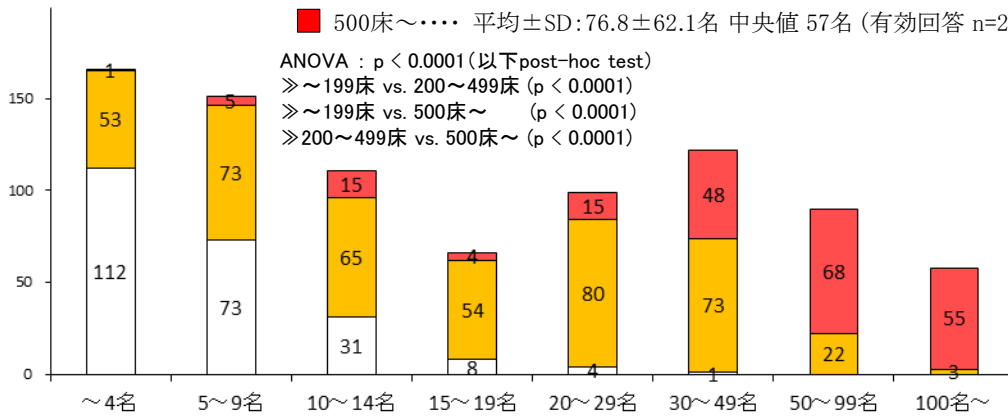
■ 500床~…… 平均±SD:76.8±62.1名 中央値 57名 (有効回答 n=211)

ANOVA : p < 0.0001 (以下post-hoc test)

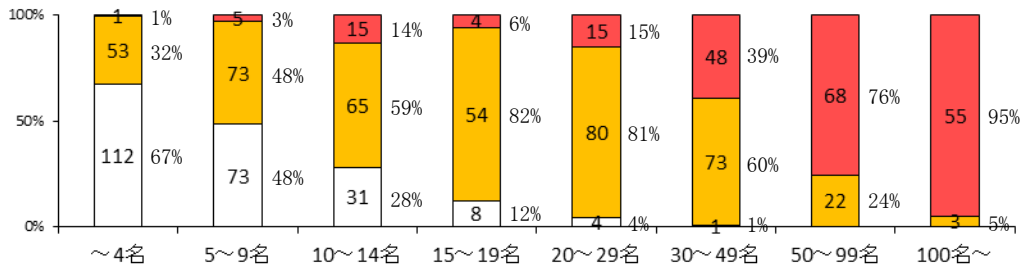
≫ ~199床 vs. 200~499床 (p < 0.0001)

≫ ~199床 vs. 500床~ (p < 0.0001)

≫ 200~499床 vs. 500床~ (p < 0.0001)



【各人数の構成比率】



【Ⅱ】—Q025. ②手術数別 □ ~999例 ■ 1000~2999例 ■ 3000例~

【各人数の実数表示】

□ ~999例…… 平均±SD:5.9±5.6名 中央値 5名 (有効回答 n=256)

■ 1000~2999例・ 平均±SD:19.0±24.4名 中央値 16名 (有効回答 n=260)

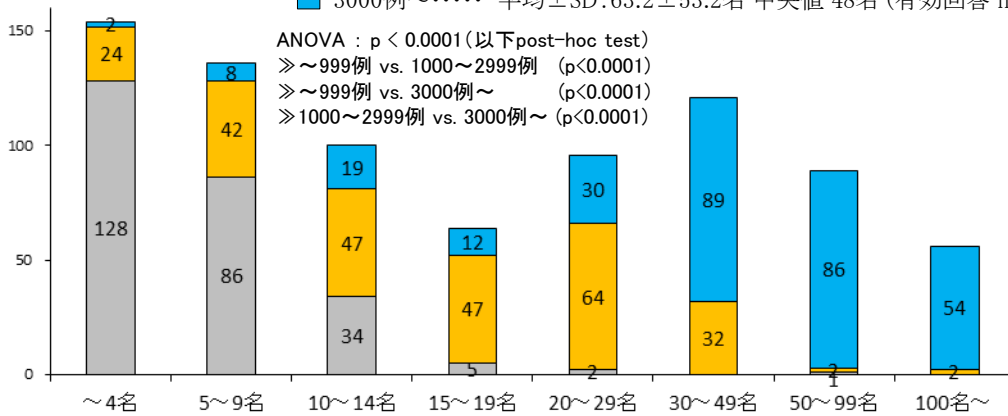
■ 3000例~…… 平均±SD:63.2±53.2名 中央値 48名 (有効回答 n=300)

ANOVA : p < 0.0001 (以下post-hoc test)

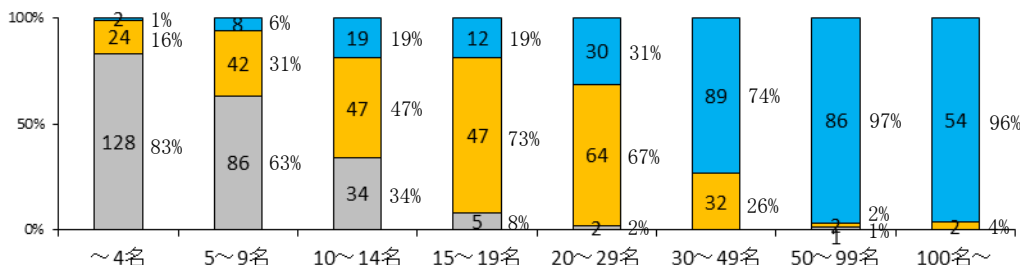
≫ ~999例 vs. 1000~2999例 (p < 0.0001)

≫ ~999例 vs. 3000例~ (p < 0.0001)

≫ 1000~2999例 vs. 3000例~ (p < 0.0001)

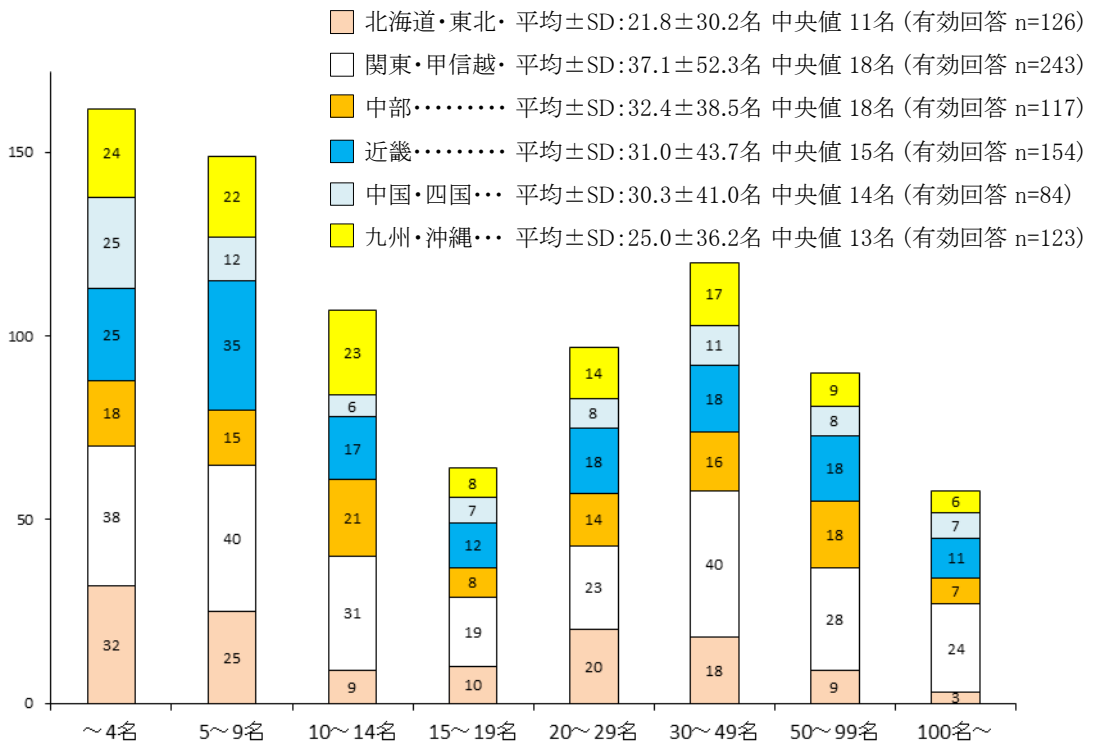


【各人数の構成比率】



【Ⅱ】—Q025. 常勤外科系医師数

【Ⅱ】—Q025. ③地域別



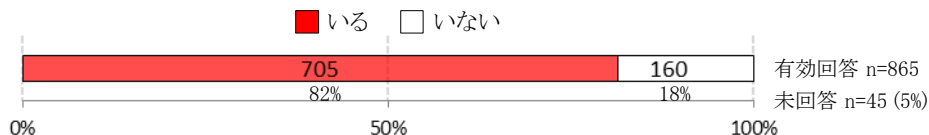
ANOVA : p = 0.0216 (以下post-hoc test)

≫北海道・東北 vs. 関東・甲信越 (p = 0.0012)

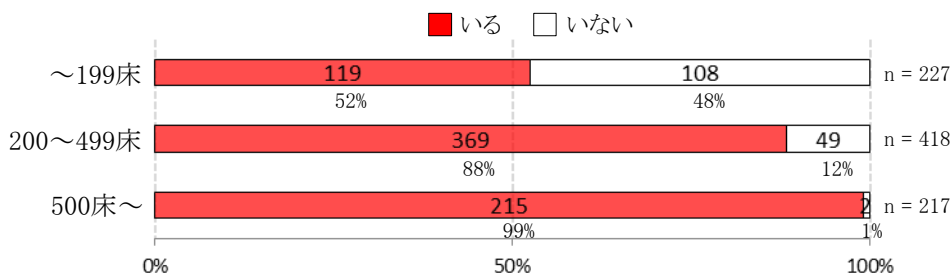
≫関東・甲信越 vs. 九州・沖縄 (p = 0.0108)

【Ⅲ】麻酔科医師とその処遇について

【Ⅲ】—Q026. 常勤麻酔科医(麻酔科標榜資格を有し、麻酔科業務に従事している医師で、社会保障費の雇用者負担を貴施設が払っている者)について

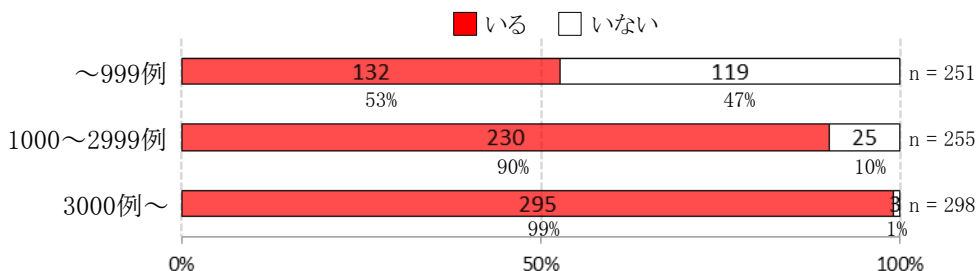


【Ⅲ】—Q026. ①病床数別



※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

【Ⅲ】—Q026. ②手術数別



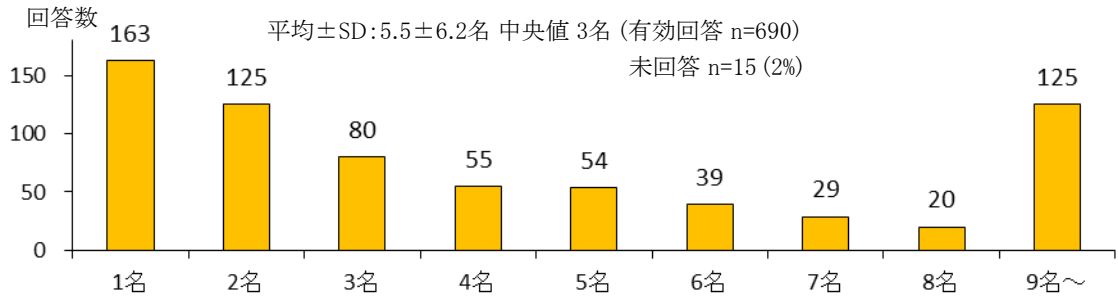
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

【Ⅲ】—Q026. ③地域別

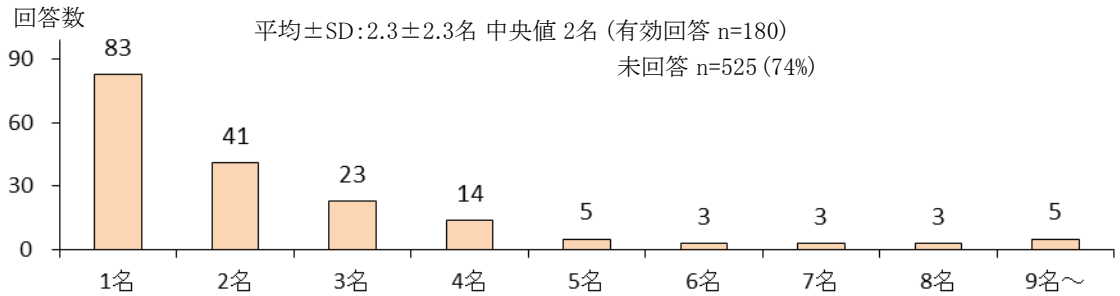


※両群に地域差なし(p = 0.7158) 多重比較

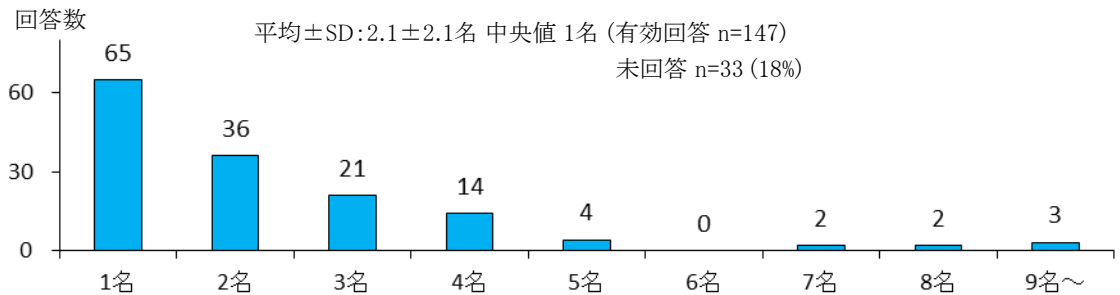
【Ⅲ】—Q027a. フルタイム常勤



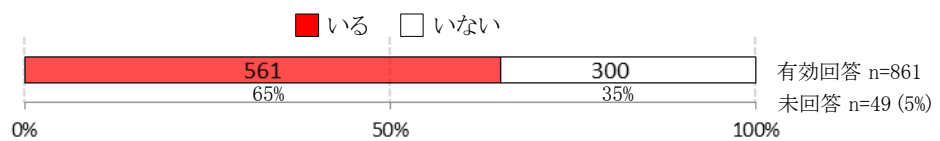
【Ⅲ】—Q027b. 短時間勤務常勤



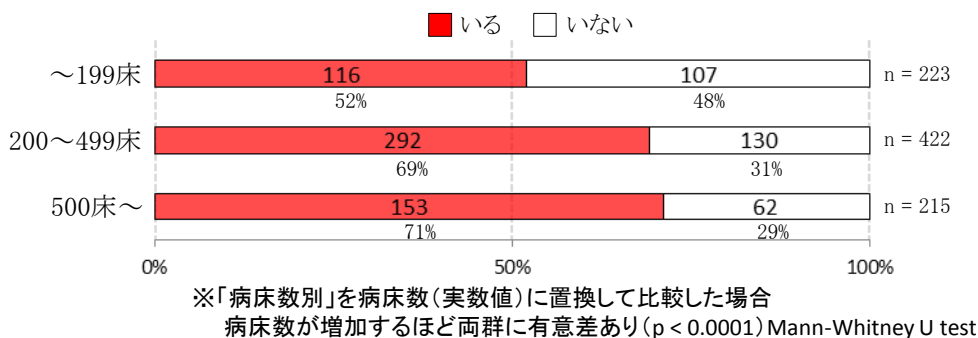
【Ⅲ】—Q028. 短時間勤務常勤の場合、午後5～7時以降の夜間勤務に従事できない日があることを前提で勤務している者のうち麻酔科専門医の数



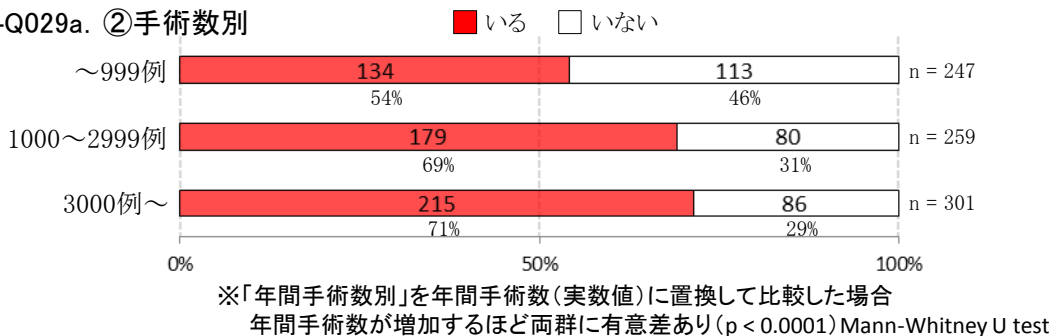
【Ⅲ】—Q029a. 非常勤嘱託麻酔科医(定期非常勤)



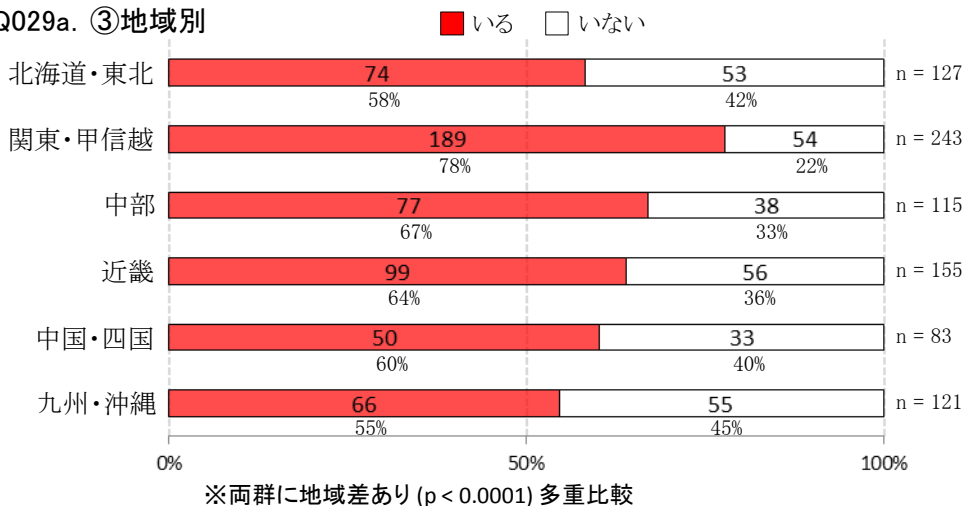
【Ⅲ】—Q029a. ①病床数別



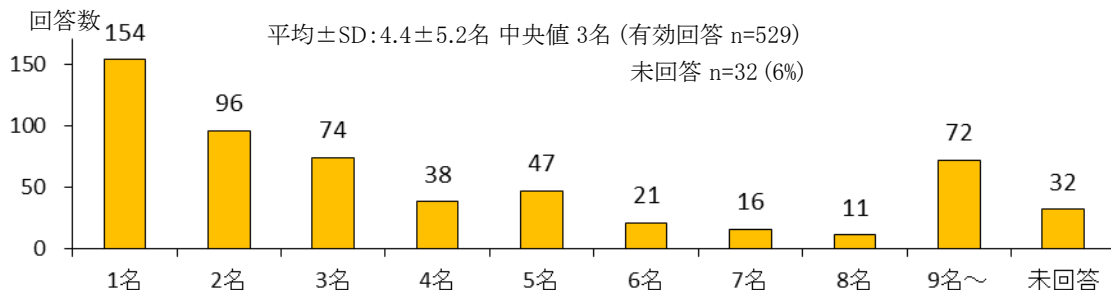
【Ⅲ】—Q029a. ②手術数別



【Ⅲ】—Q029a. ③地域別

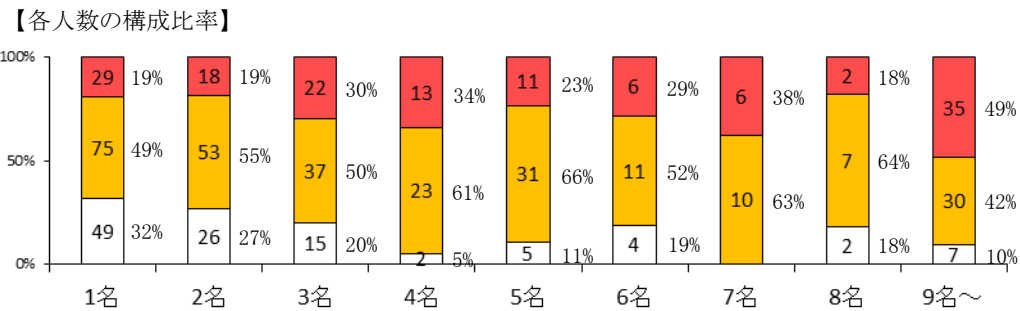
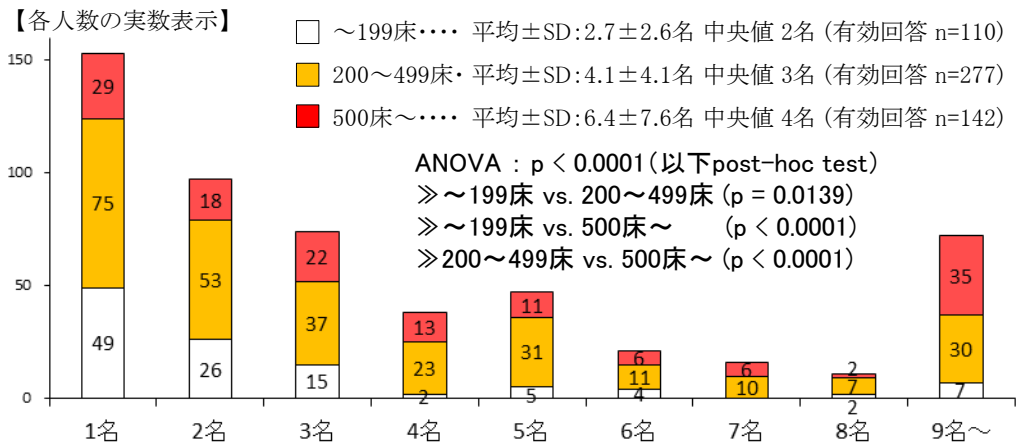


【Ⅲ】—Q029b. 非常勤嘱託麻酔科医「いる」場合の人数

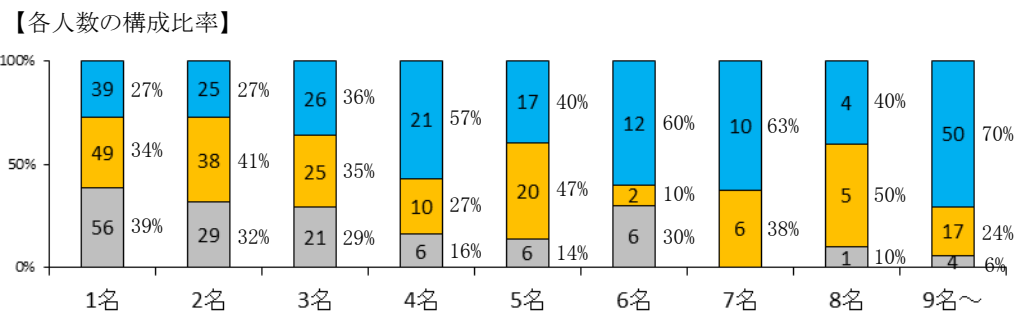
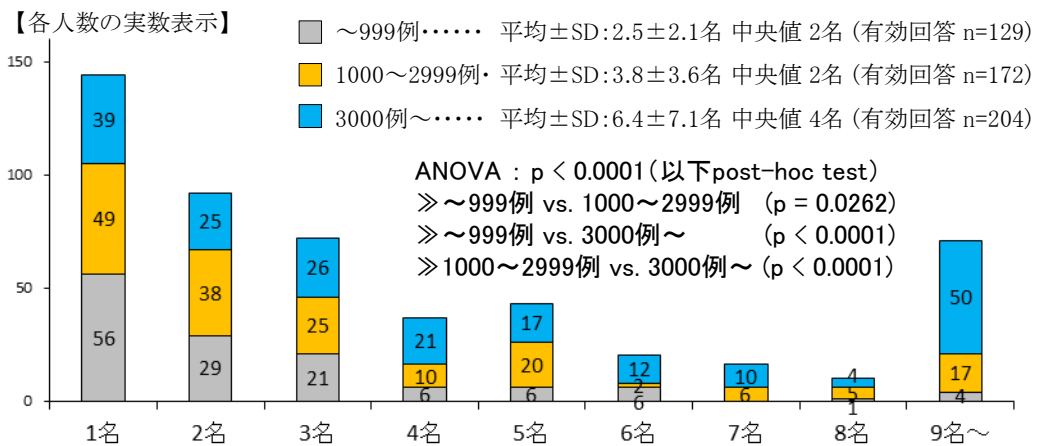


【Ⅲ】—Q029b. 非常勤嘱託麻酔科医「いる」場合の人数

【Ⅲ】—Q029b. ①病床数別 □ ~199床 ■ 200~499床 ■ 500床~



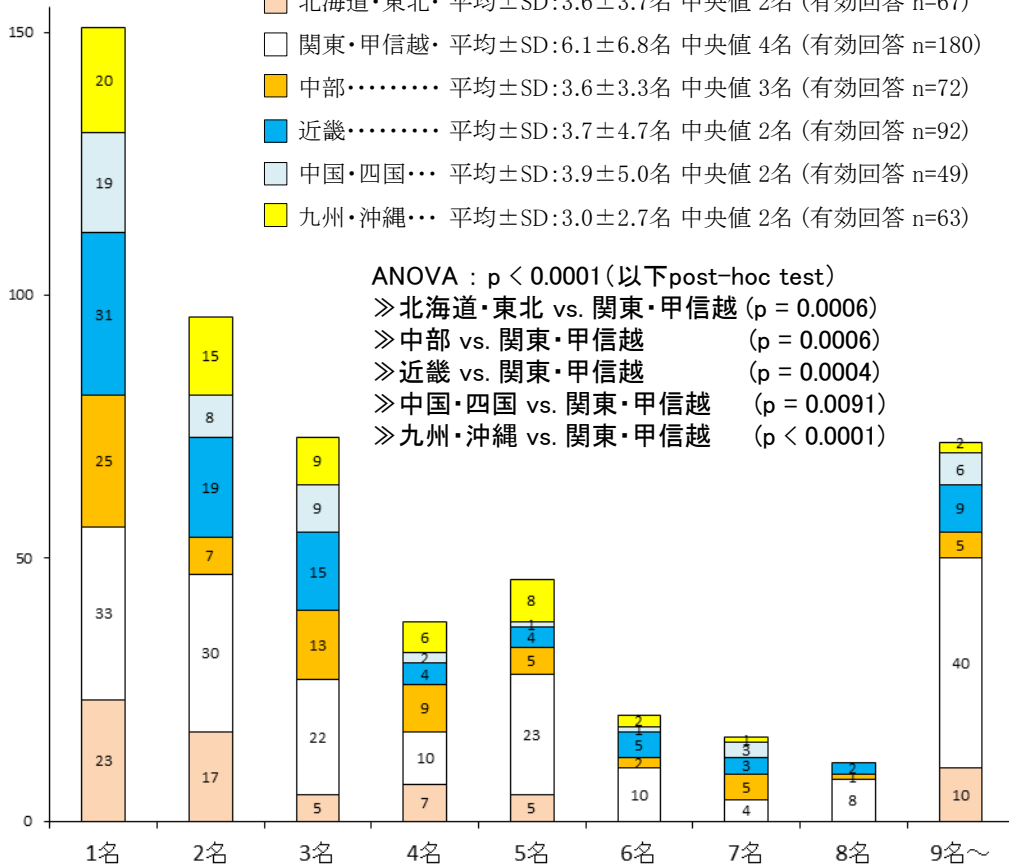
【Ⅲ】—Q029b. ②手術数別 ■ ~999例 ■ 1000~2999例 ■ 3000例~



【Ⅲ】—Q029b. 非常勤嘱託麻酔科医「いる」場合の人数

【Ⅲ】—Q029b. ③地域別

【各人数の実数表示】

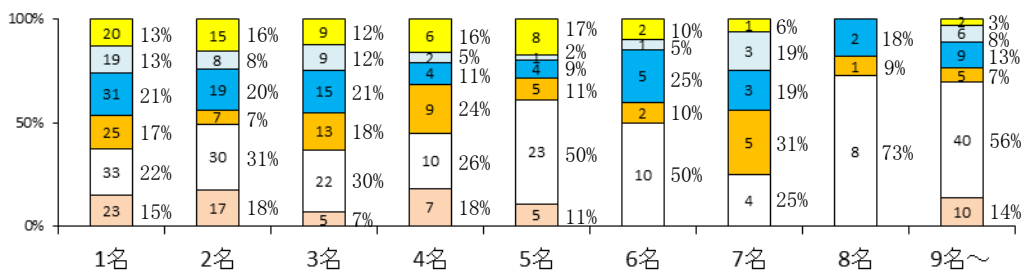


- 北海道・東北・平均±SD:3.6±3.7名 中央値 2名 (有効回答 n=67)
- 関東・甲信越・平均±SD:6.1±6.8名 中央値 4名 (有効回答 n=180)
- 中部……………平均±SD:3.6±3.3名 中央値 3名 (有効回答 n=72)
- 近畿……………平均±SD:3.7±4.7名 中央値 2名 (有効回答 n=92)
- 中国・四国…平均±SD:3.9±5.0名 中央値 2名 (有効回答 n=49)
- 九州・沖縄…平均±SD:3.0±2.7名 中央値 2名 (有効回答 n=63)

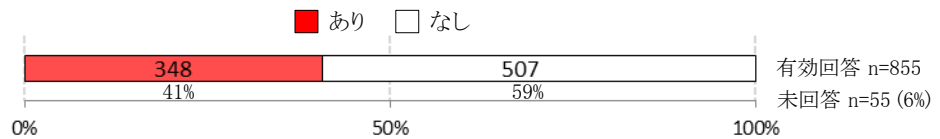
ANOVA : p < 0.0001 (以下post-hoc test)

- ≫北海道・東北 vs. 関東・甲信越 (p = 0.0006)
- ≫中部 vs. 関東・甲信越 (p = 0.0006)
- ≫近畿 vs. 関東・甲信越 (p = 0.0004)
- ≫中国・四国 vs. 関東・甲信越 (p = 0.0091)
- ≫九州・沖縄 vs. 関東・甲信越 (p < 0.0001)

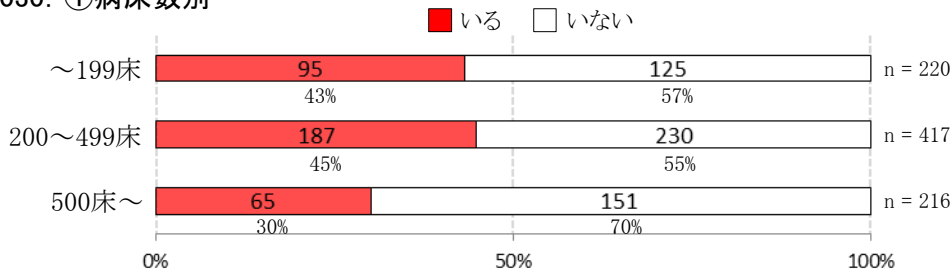
【各人数の構成比率】



【Ⅲ】—Q030. スポット(不定期非常勤)への依存

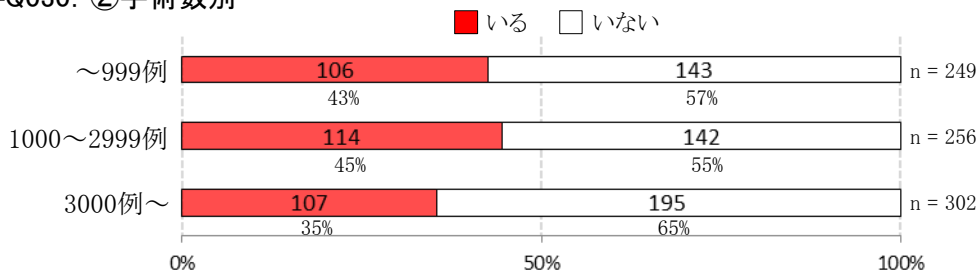


【Ⅲ】—Q030. ①病床数別



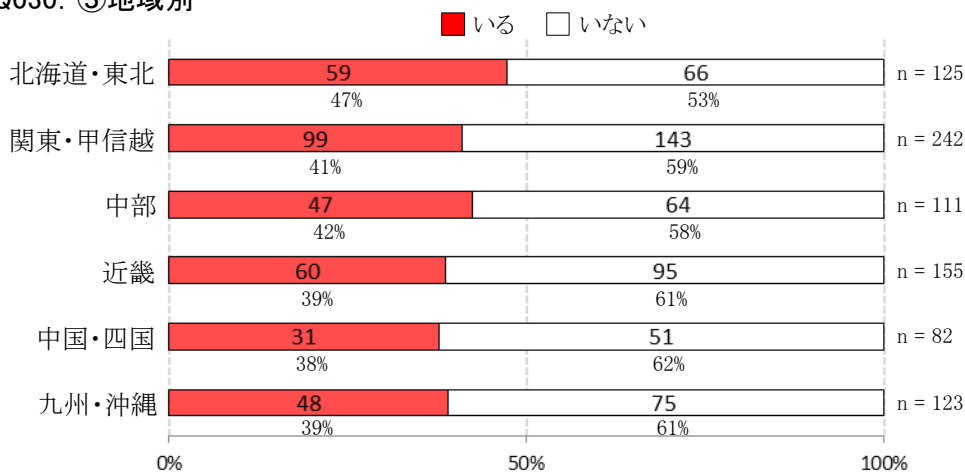
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p = 0.0091) Mann-Whitney U test

【Ⅲ】—Q030. ②手術数別



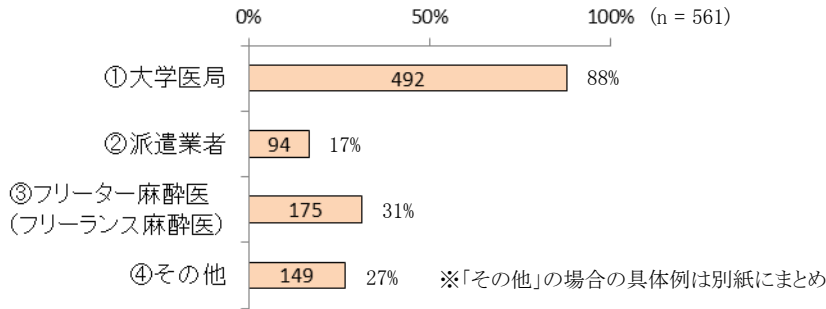
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p = 0.0086) Mann-Whitney U test

【Ⅲ】—Q030. ③地域別

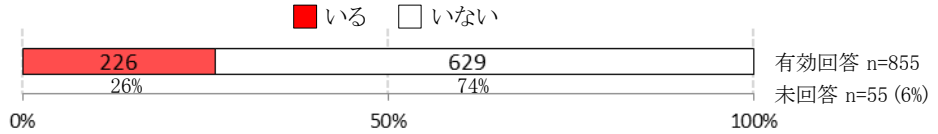


※両群に地域差なし(p = 0.7107) 多重比較

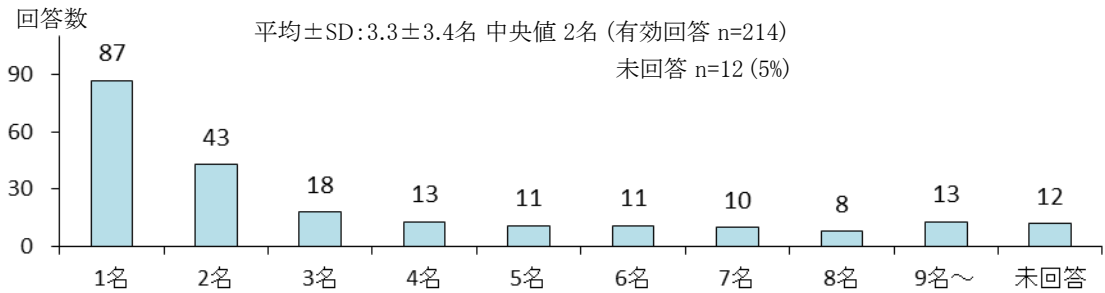
【Ⅲ】—Q031. 非常勤麻酔科医が「いる」場合、その派遣元は？（複数選択回答あり）



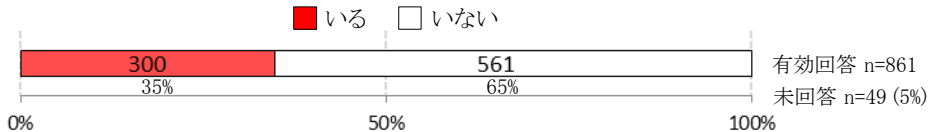
【Ⅲ】—Q032a. 麻酔科所属後期研修医



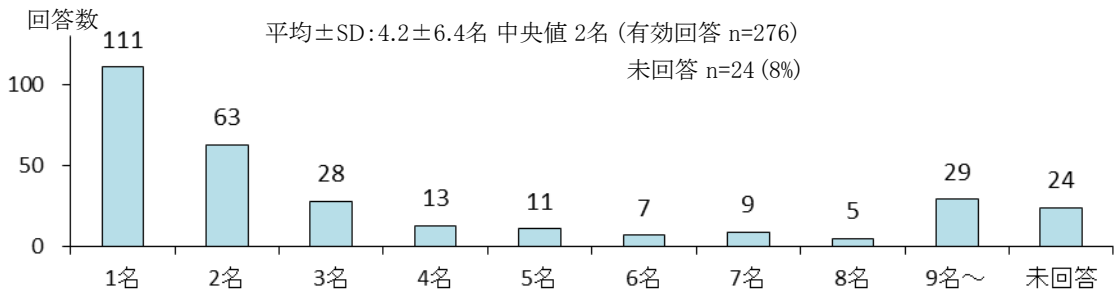
【Ⅲ】—Q032b. 麻酔科所属後期研修医「いる」場合の人数



【Ⅲ】—Q033a. 麻酔に従事する、その他の後期研修医、初期研修医、大学院生



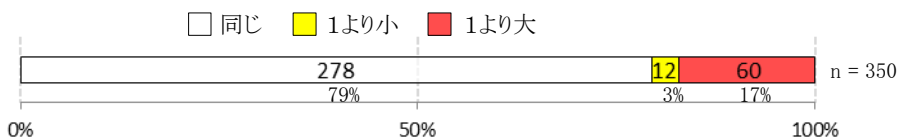
【Ⅲ】—Q033b. 麻酔に従事する、その他の後期研修医、初期研修医、大学院生「いる」場合の人数



【Ⅲ】—Q034a. 非常勤嘱託医の1麻酔あたりの報酬について

【スポット非常勤の報酬】

定期非常勤の報酬を「1」とした場合のスポット非常勤の報酬

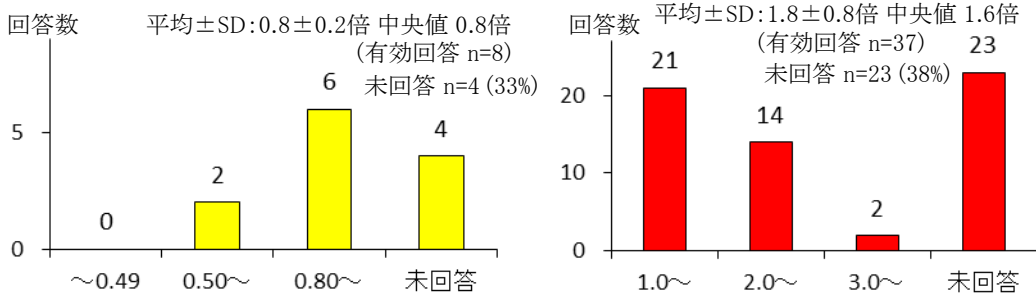


【Ⅲ】—Q034a. 非常勤嘱託医の1麻酔あたりの報酬について

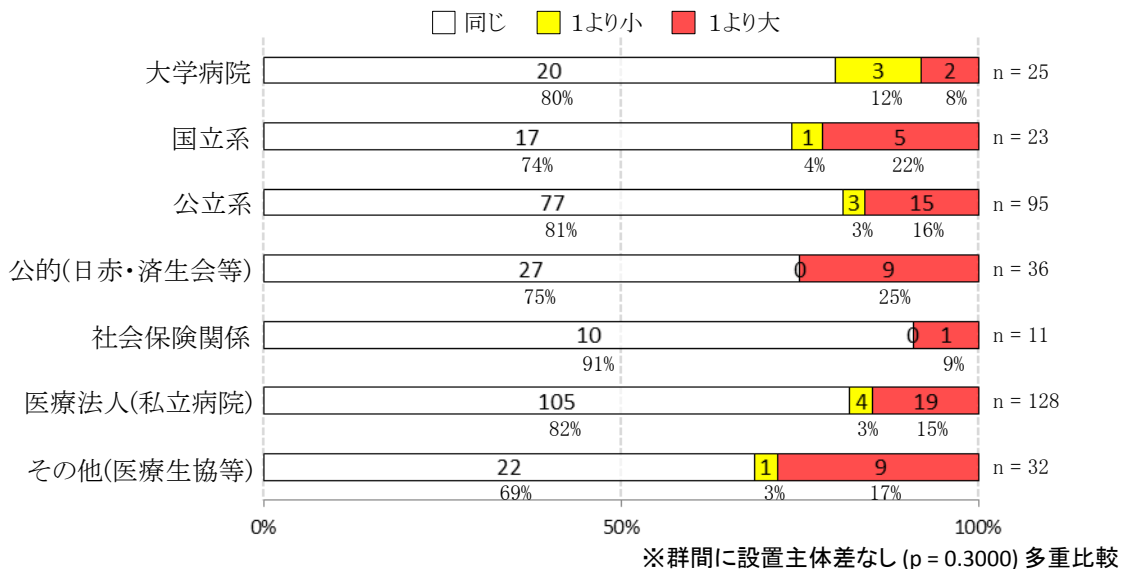
【スポット非常勤の報酬】

定期非常勤の報酬を「1」とした場合のスポット非常勤の報酬

【Ⅲ】—Q034a. 【スポット非常勤の報酬】「1より小」の値(倍数)と「1より大」の値(倍数)



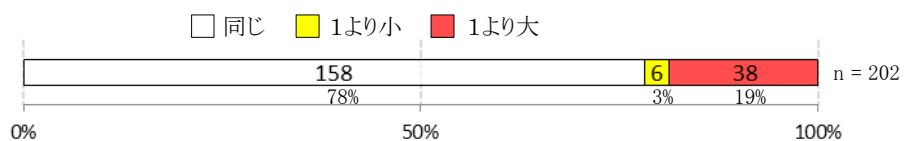
【Ⅲ】—Q034a. ①設置主体別



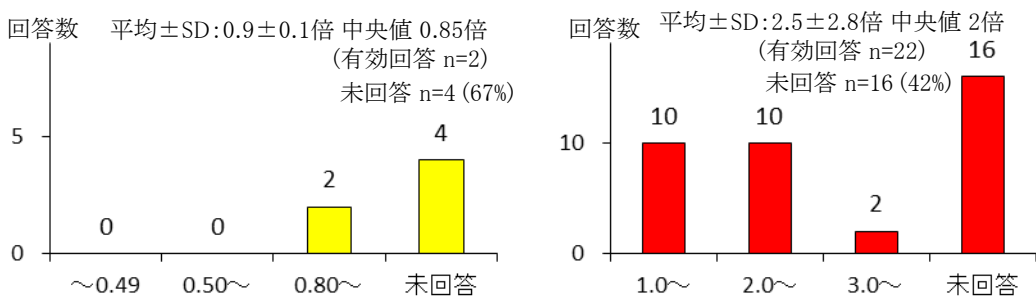
【Ⅲ】—Q034b. 非常勤嘱託医の1麻酔あたりの報酬について

【フリーター麻酔の報酬】

定期非常勤の報酬を「1」とした場合のスポット非常勤の報酬



【Ⅲ】—Q034b. 【フリーター麻酔の報酬】「1より小」の値(倍数)と「1より大」の値(倍数)

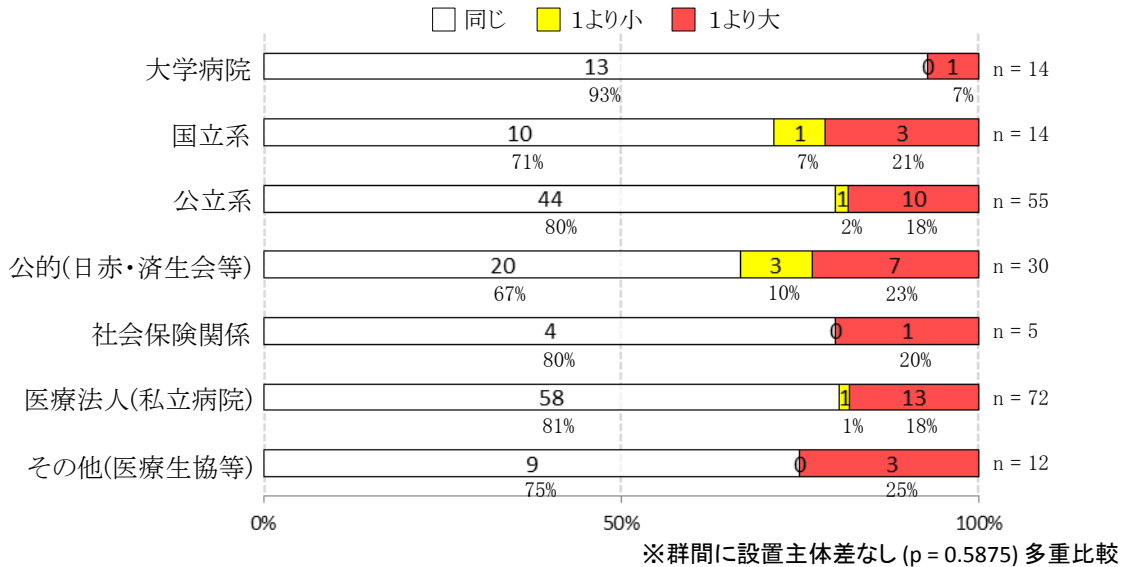


【Ⅲ】—Q034b. 非常勤嘱託医の1麻酔あたりの報酬について

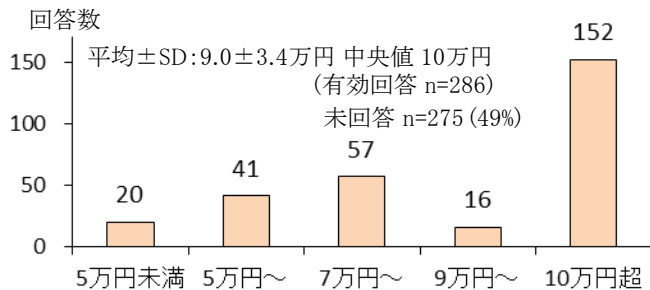
【フリーター麻酔の報酬】

定期非常勤の報酬を「1」とした場合のスポット非常勤の報酬

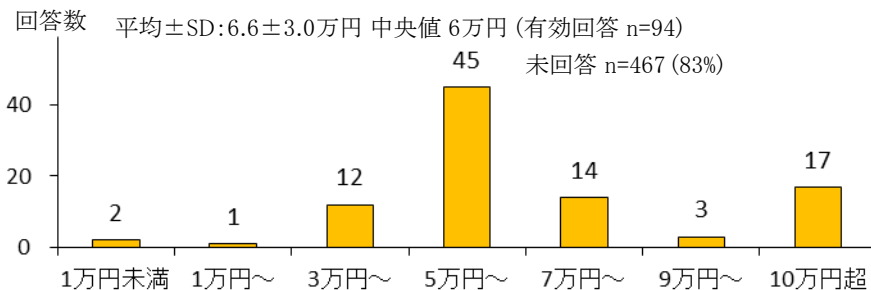
【Ⅲ】—Q034b. ①設置主体別



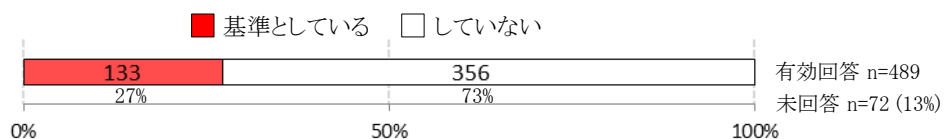
【Ⅲ】—Q035a. 非常勤嘱託医の一麻酔あたりの報酬(絶対値)について【日勤帯1日(万円)】



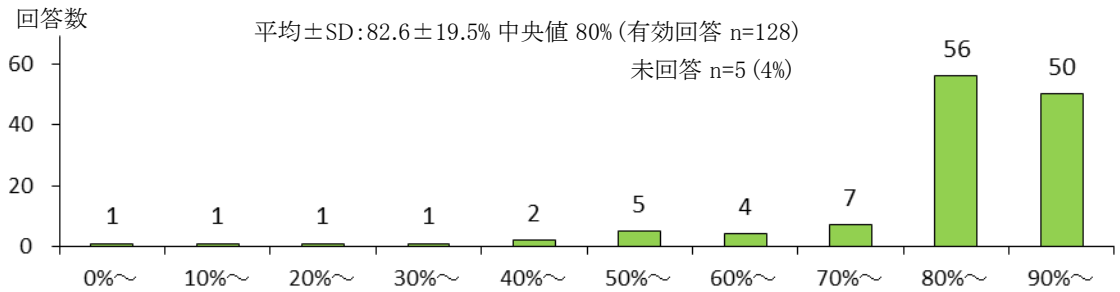
【Ⅲ】—Q035b. 非常勤嘱託医の一麻酔あたりの報酬(絶対値)について【1麻酔あたり(万円)】



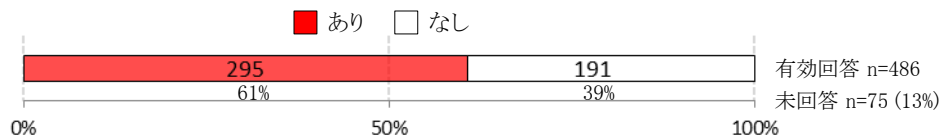
【Ⅲ】—Q036. 非常勤嘱託医の一麻酔あたりの報酬は当該手術の麻酔料(麻酔の保険点数)を基準としていますか？



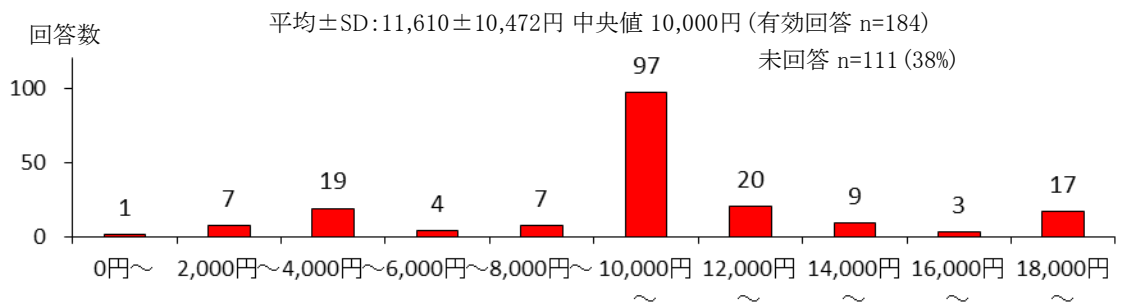
【Ⅲ】—Q037. 当該手術の麻酔料(麻酔の保険点数)を基準としている場合、その何パーセントですか？



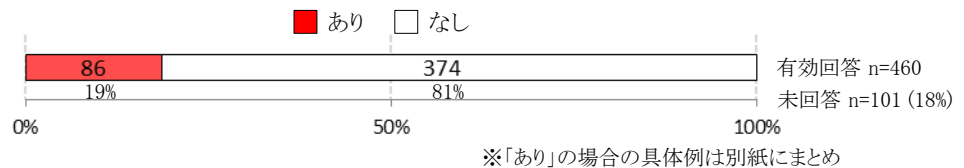
【Ⅲ】—Q038. 非常勤嘱託医の時間延長の場合、時間外追加手当はありますか？



【Ⅲ】—Q039. 非常勤嘱託医の時間外追加手当がある場合は、1時間当たりの手当で(可能であれば)



【Ⅲ】—Q040. 非常勤嘱託医の報酬について固定給以外の歩合制の有無について



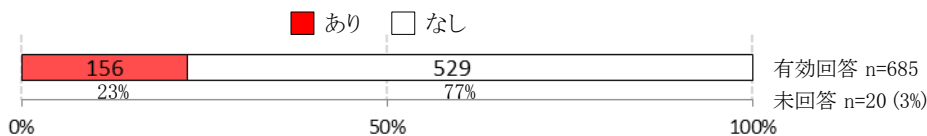
【Ⅲ】—Q041. 非常勤麻酔科医の問題点、不満など

※記載内容は別紙にまとめ

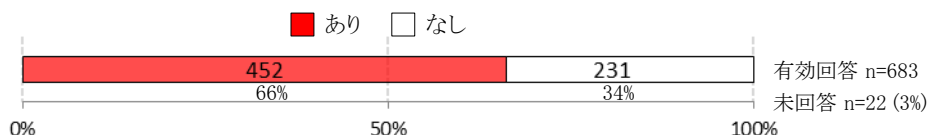
【IV】術前管理について

【IV】—Q042～Q047：常勤の麻酔科医がいる場合、外科と麻酔科の連携・情報共有について

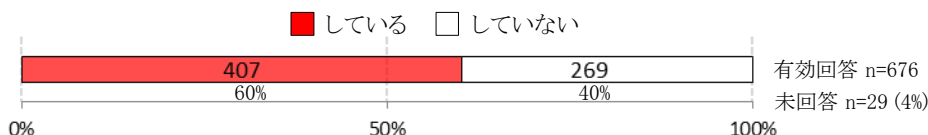
【IV】—Q042. 外科と麻酔科合同の定期的術前カンファレンス(症例検討会)



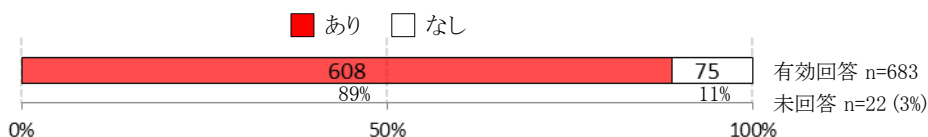
【IV】—Q043. 超重症例などの不定期の術前検討会



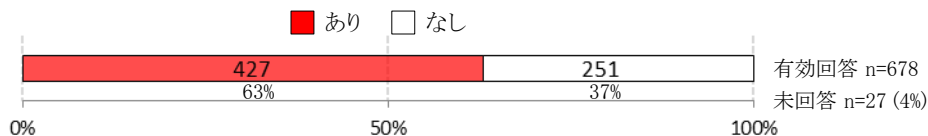
【IV】—Q044. 定期手術の場合、麻酔科外来受診を制度化(入院後院内受診含む)



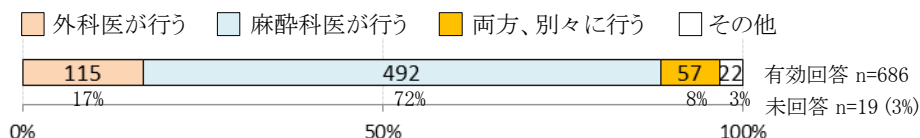
【IV】—Q045. 定期手術の場合の麻酔科医の術前回診



【IV】—Q046. 麻酔申込(患者氏名・年齢・性・病名・術式・所要時間など)以外の、手術患者の臨床情報の麻酔科医への情報提供の書式

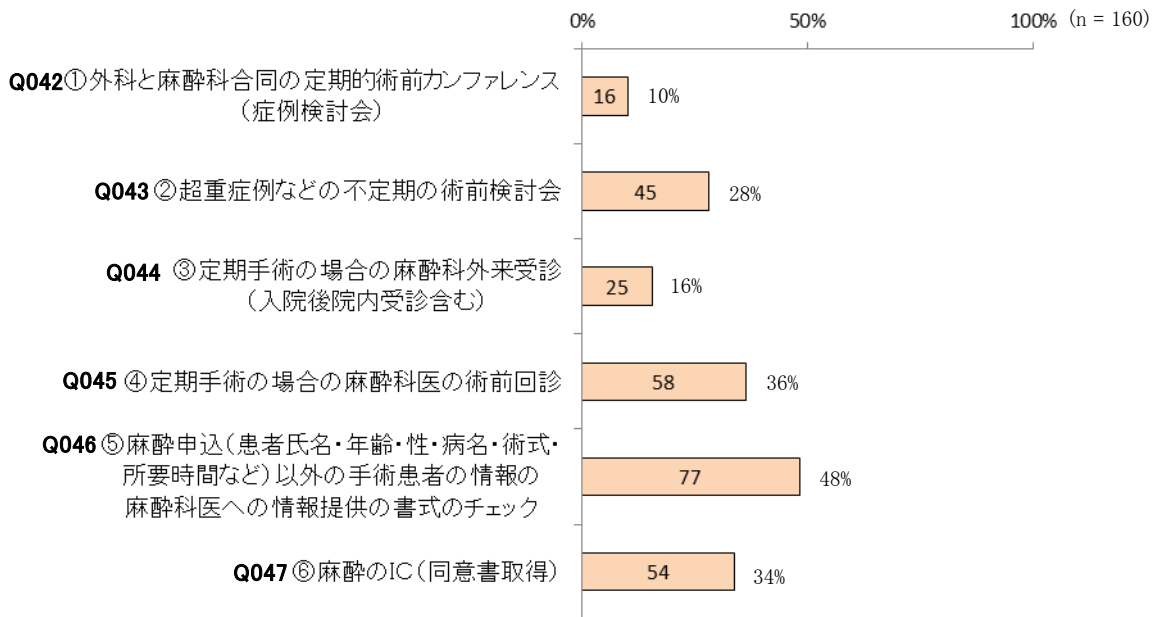


【IV】—Q047. 麻酔のIC(同意書取得)

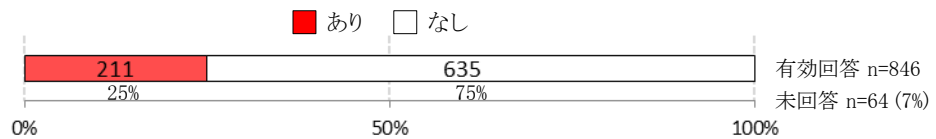


※「その他」の場合の具体例は別紙にまとめ

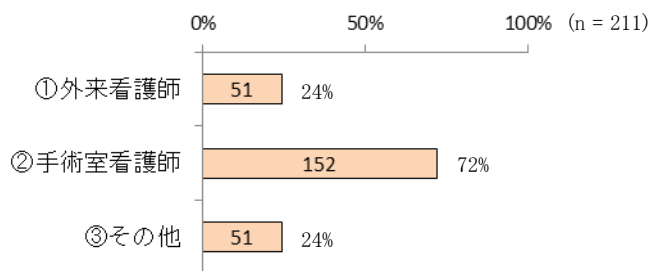
【IV】—Q048. 常勤の麻酔科医のいない場合、Q042～Q047において  
非常勤の麻酔科医が行ったり参加する場合について (複数選択回答あり)



【IV】—Q049. 医師以外の職種が、(麻酔科外来などで)麻酔科医の術前評価をサポートするシステムがありますか？(手術室看護師の術前訪問は除く)



【IV】—Q050. (Q049で「あり」の場合)その職種は何ですか？(複数選択回答あり)

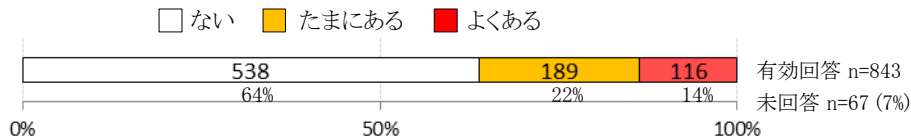


※「その他」の場合の具体例は別紙にまとめ

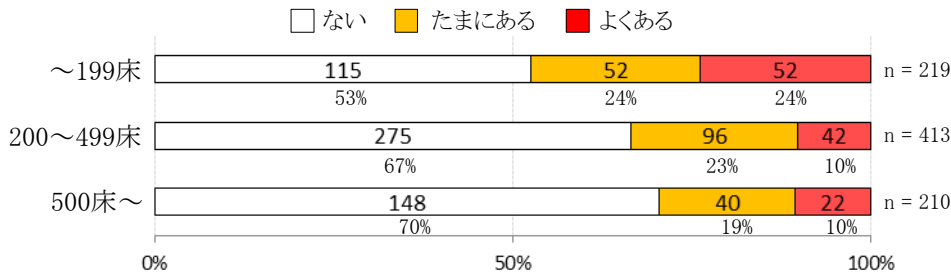
【V-1】麻酔科医以外による麻酔管理(術中管理)の有無について

【V-1】—Q051~Q053. 日々の定例手術「時間内(夜間・休日・深夜を除く)」の麻酔

【V-1】—Q051. 定例手術のみの場合

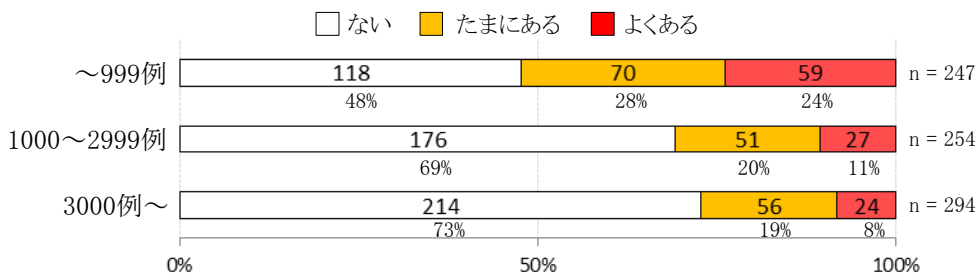


【V-1】—Q051. ①病床数別



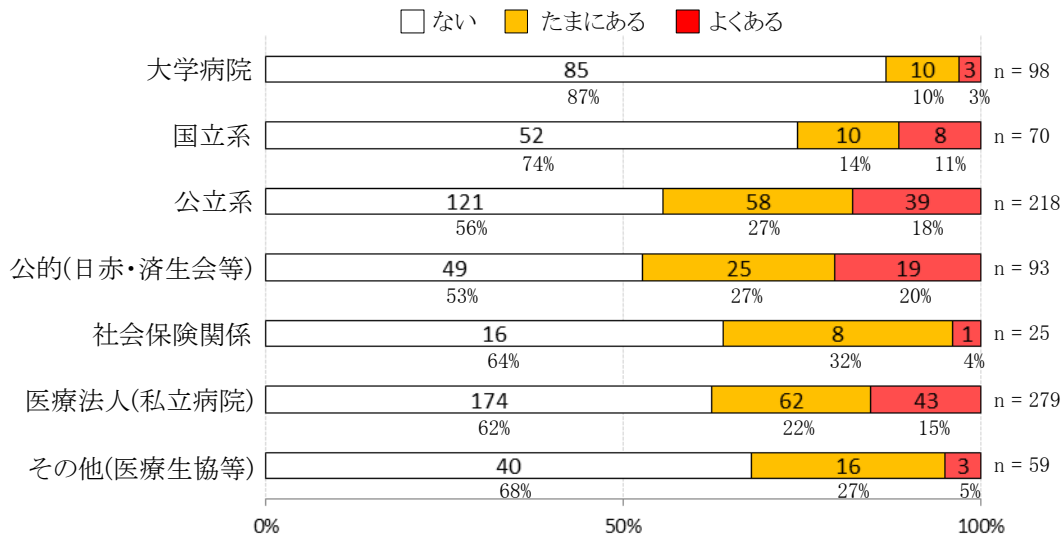
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q051. ②手術数別



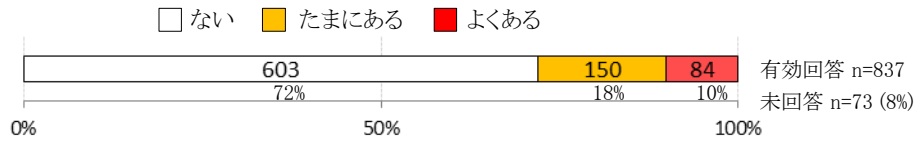
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q051. ③設置主体別

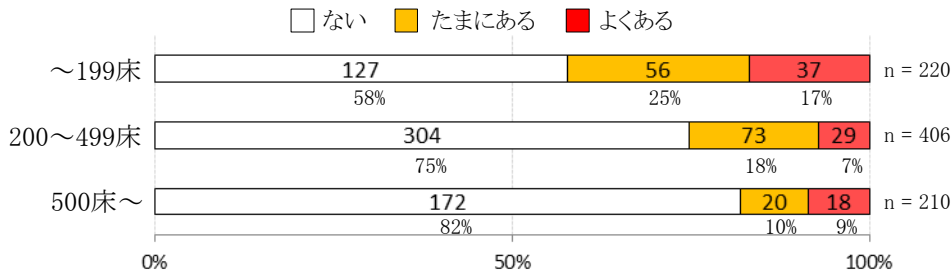


※群間に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【V-1】—Q052. 定例手術が長時間手術となり時間外に手術が食い込んだ場合

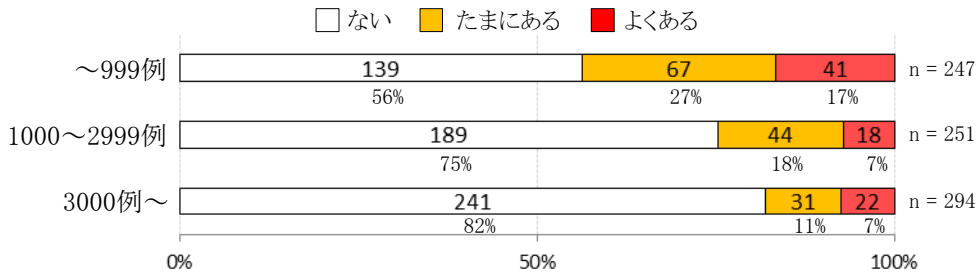


【V-1】—Q052. ①病床数別



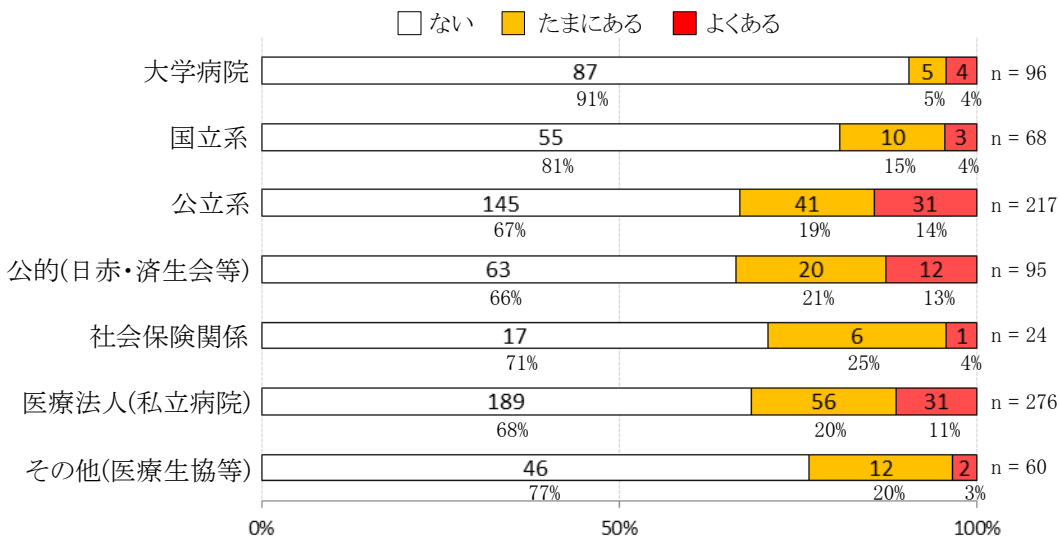
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q052. ②手術数別



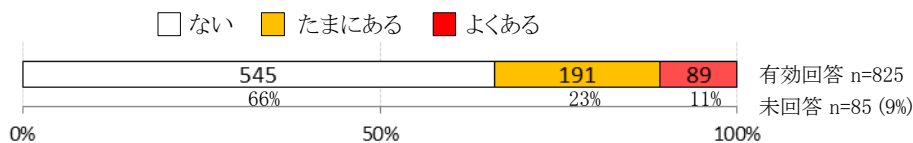
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q052. ③設置主体別

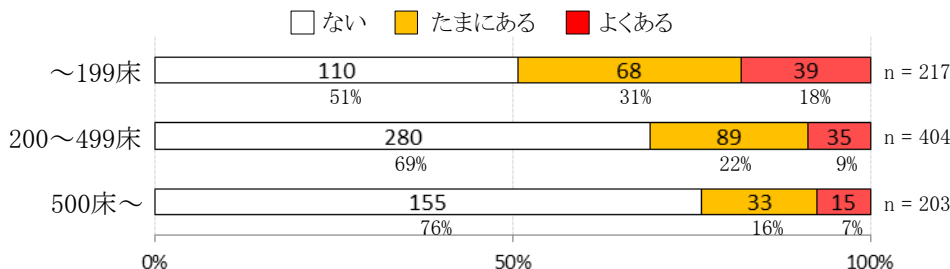


※群間に設置主体差あり(p = 0.0012) 多重比較

【V-1】—Q053. 時間内(夜間・休日・深夜を除く)に緊急手術が発生した場合

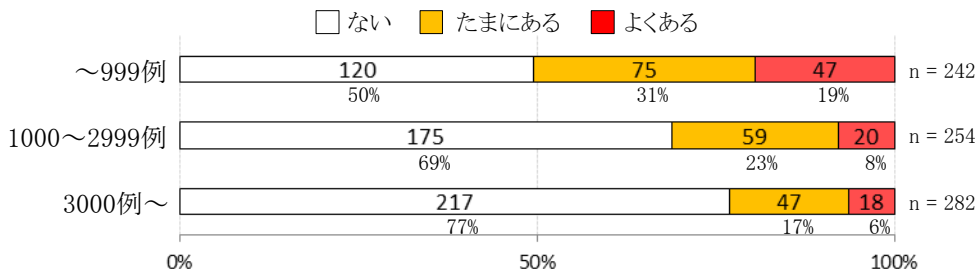


【V-1】—Q053. ①病床数別



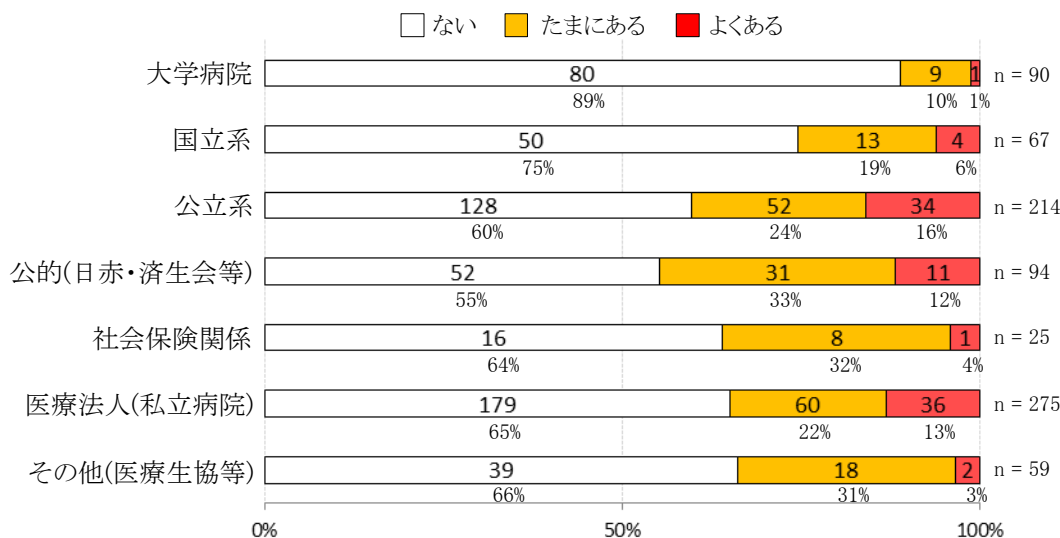
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q053. ②手術数別



※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

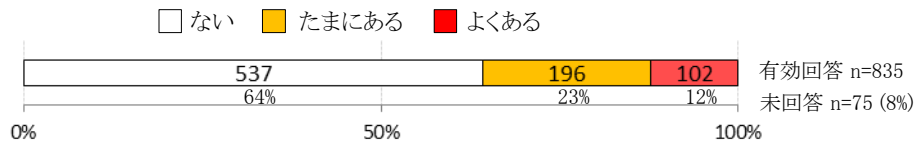
【V-1】—Q053. ③設置主体別



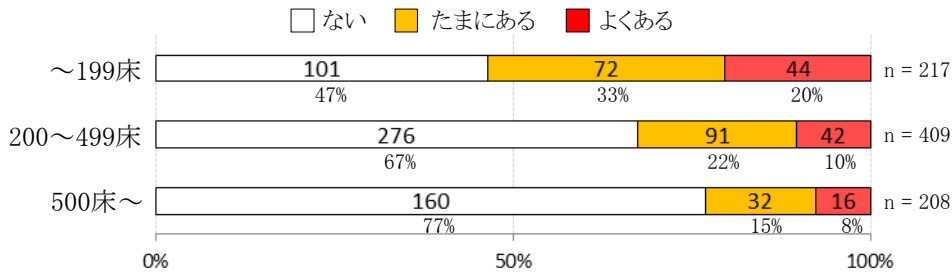
※群間に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【V-1】—Q054～Q056. 「時間外の手術」・「緊急手術」の麻酔

【V-1】—Q054. 時間外手術の場合

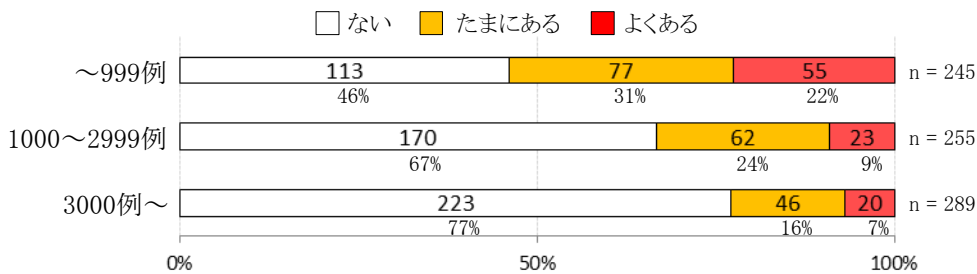


【V-1】—Q054. ①病床数別



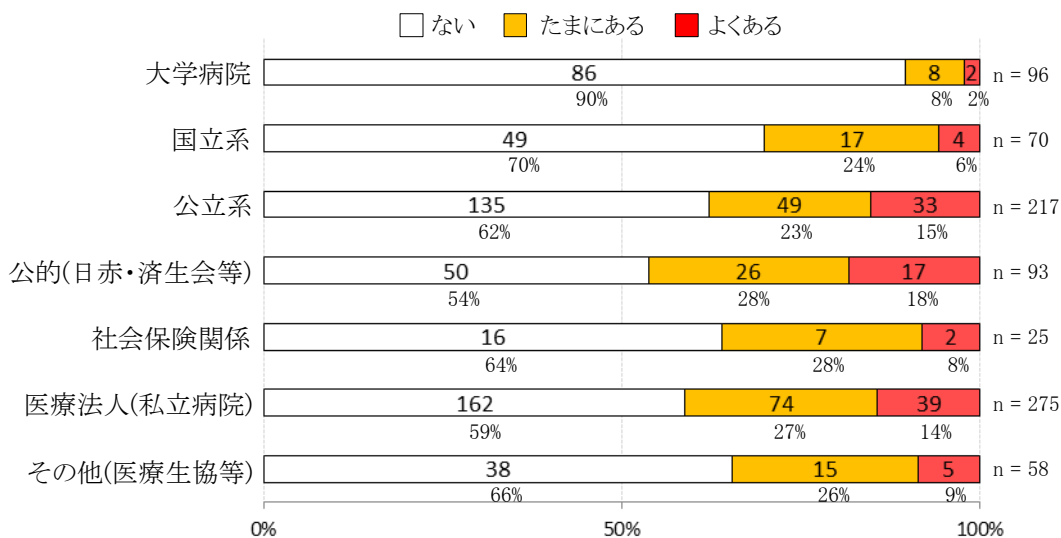
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q054. ②手術数別



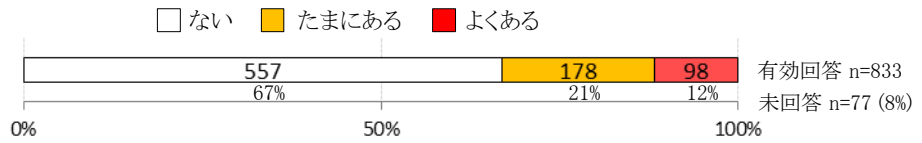
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q054. ③設置主体別

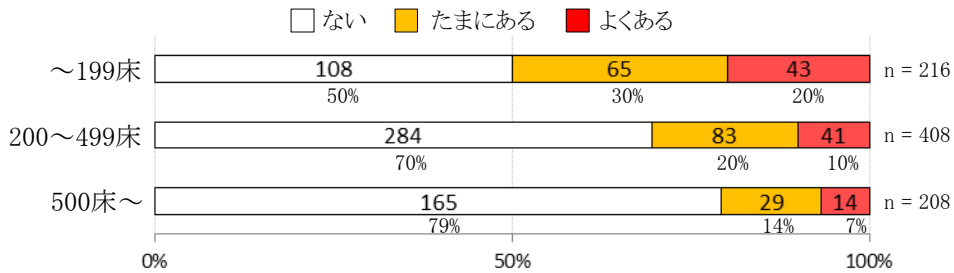


※群間に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【V-1】—Q055. 夜間手術の場合

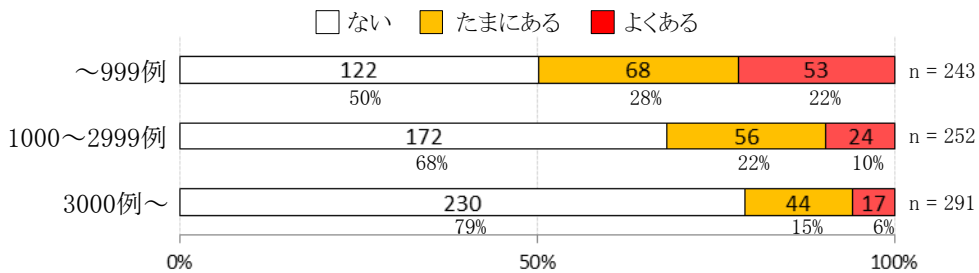


【V-1】—Q055. ①病床数別



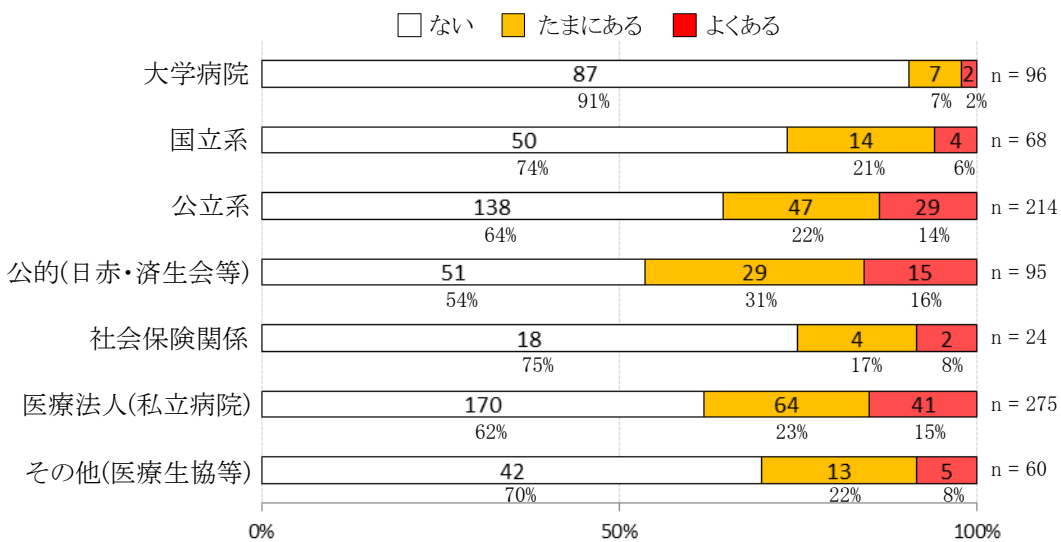
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q055. ②手術数別



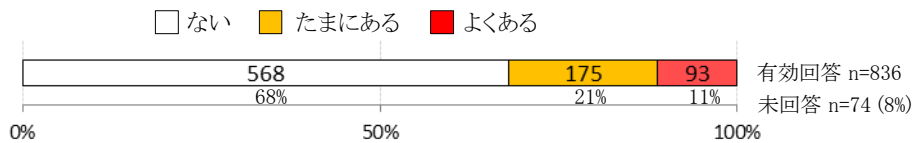
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q055. ③設置主体別

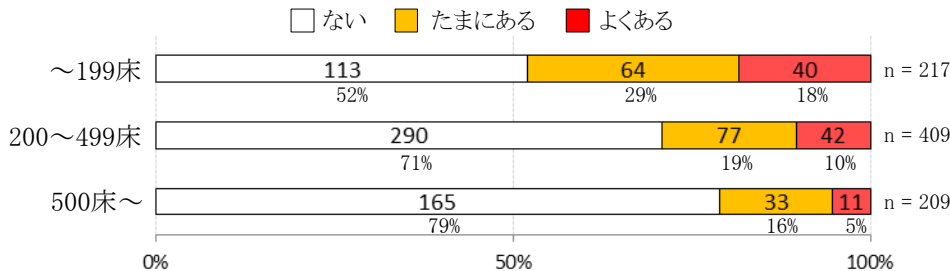


※群間に設置主体差あり(p = 0.0001) 多重比較

【V-1】—Q056. 休日手術の場合

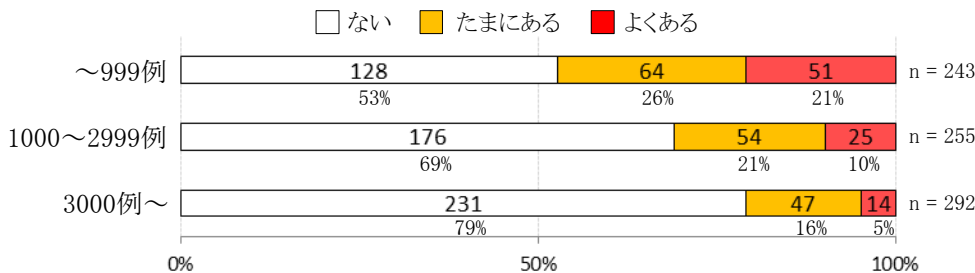


【V-1】—Q056. ①病床数別



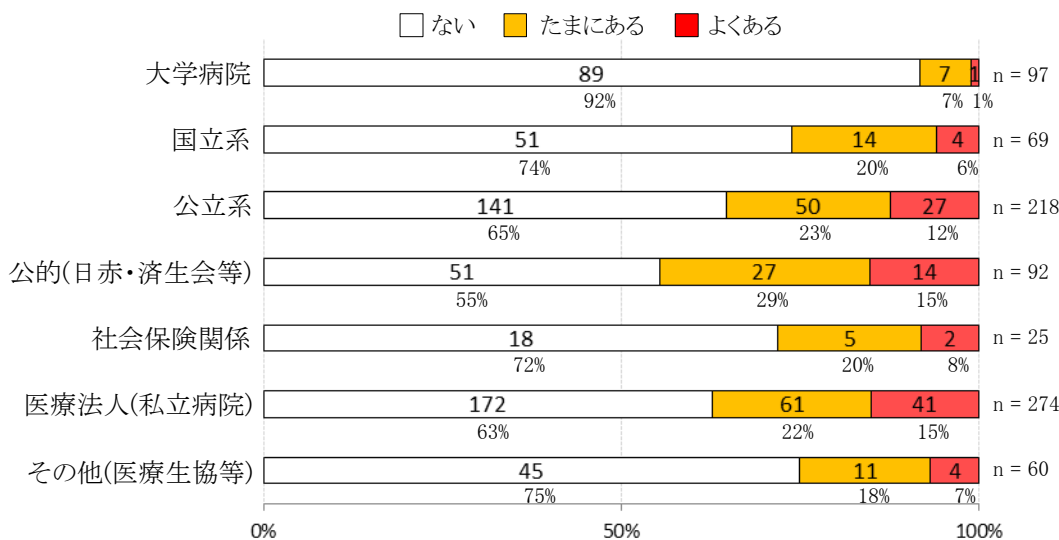
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q056. ②手術数別



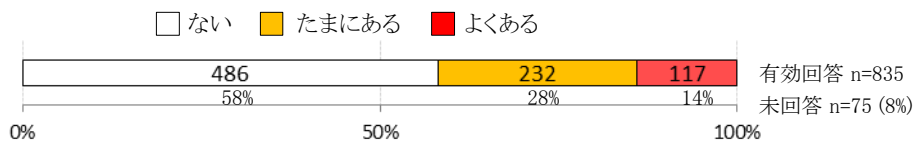
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q056. ③設置主体別

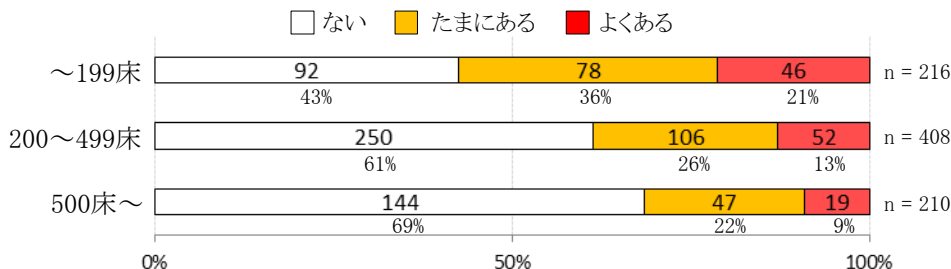


※群間に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【V-1】—Q057. 年間を通して、麻酔科医以外による麻酔

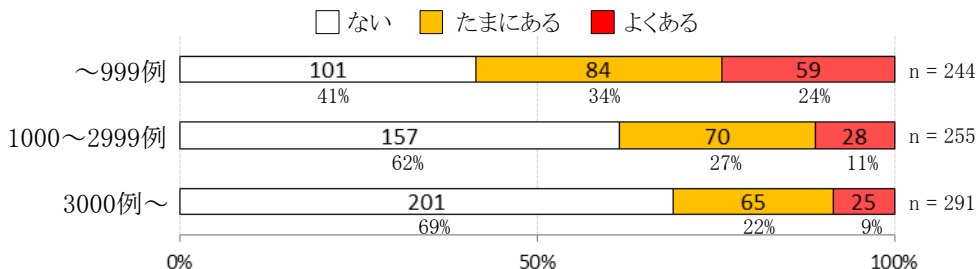


【V-1】—Q057. ①病床数別



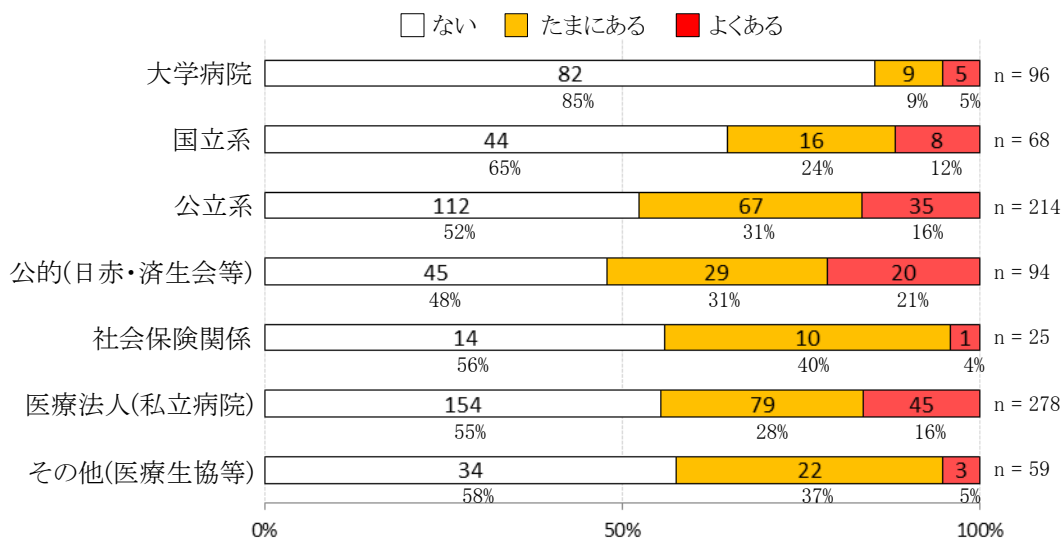
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【V-1】—Q057. ②手術数別



※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

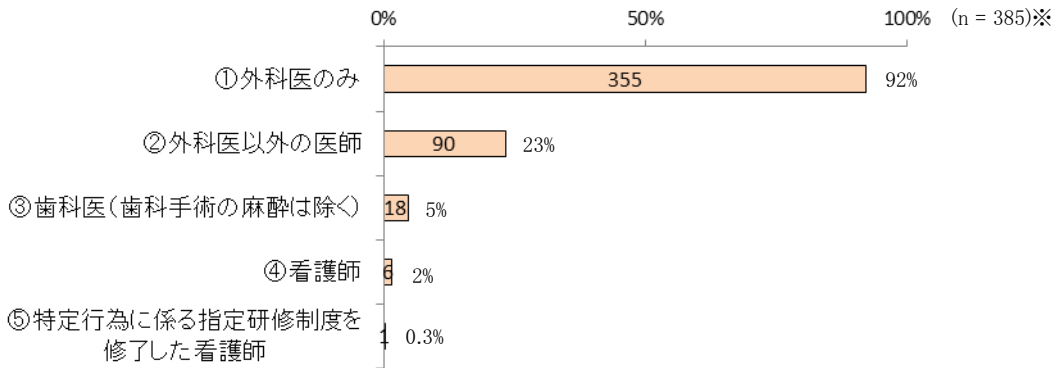
【V-1】—Q057. ③設置主体別



※群間に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

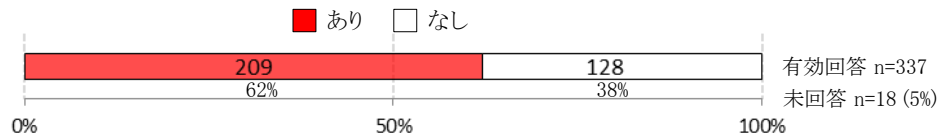
【V-1】—Q058. 麻酔科医以外の医師が麻酔をかける場合、それは誰が担当しますか？

(複数選択回答あり)

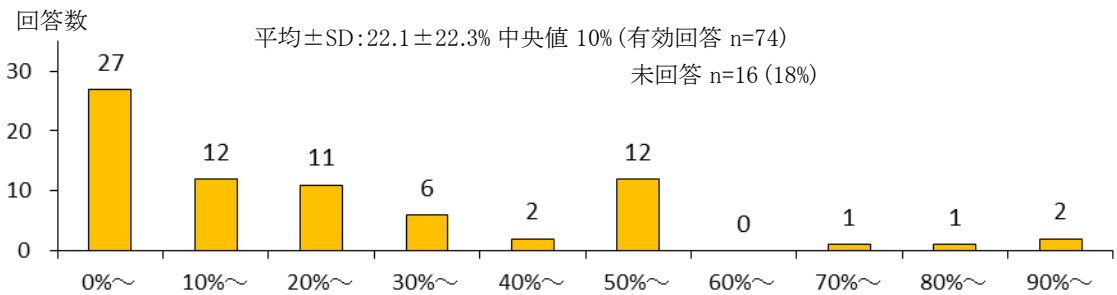


【V-1】—Q059. 「外科医のみ」の場合、麻酔科ローテーション経験

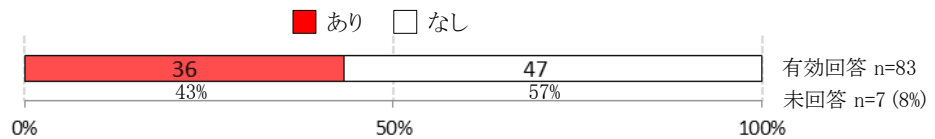
(麻酔科ローテーション経験には初期臨床研修医時代の経験は含まない)



【V-1】—Q060. 「外科医以外の医師もあり」の場合、全体のおよそ何%？

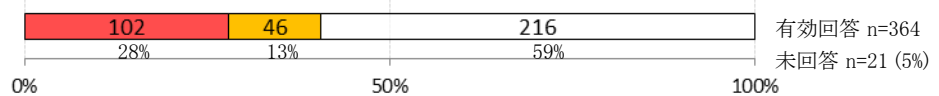


【V-1】—Q061. 「外科医以外の医師もあり」の場合、麻酔科ローテーション経験

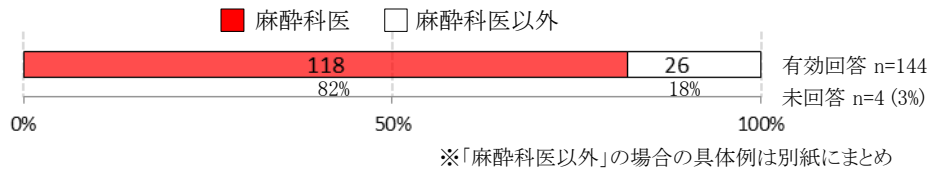


【V-1】—Q062. 麻酔科医以外の医師が麻酔をかけるための教育・研修

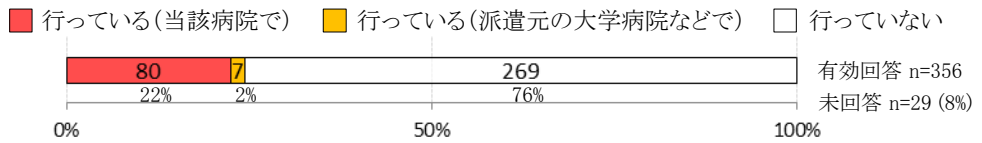
■ 行っている(当該病院で) ■ 行っている(派遣元の大学病院などで) □ 行っていない



【V-1】—Q063. 教育・研修を行っている指導者

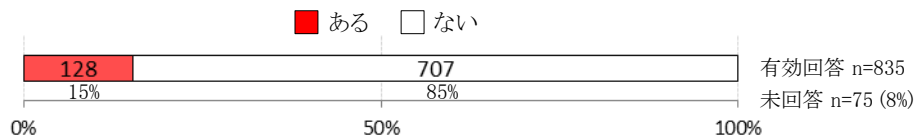


【V-1】—Q064. 麻酔科医以外で麻酔をかける医師の評価

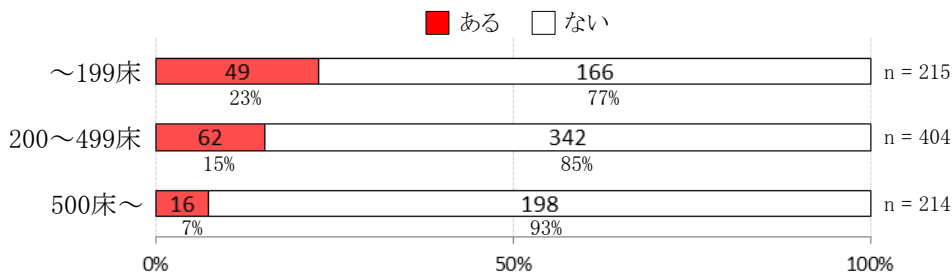


## 【V-2】看護師の術中管理(麻酔管理)について

### 【V-2】—Q065. 看護師が麻酔業務に従事することはありますか？

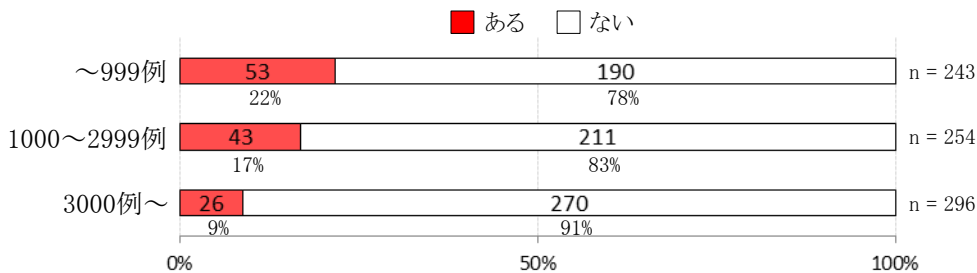


### 【V-2】—Q065. ①病床数別



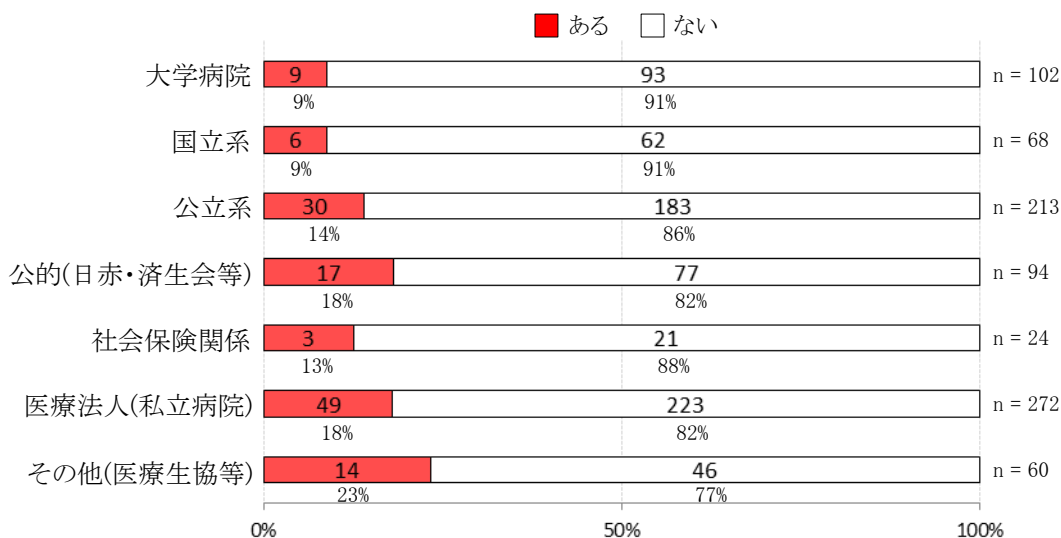
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

### 【V-2】—Q065. ②手術数別



※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

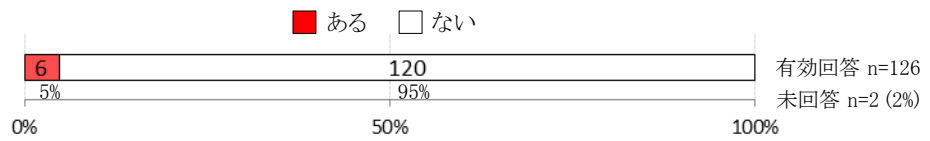
### 【V-2】—Q065. ③設置主体別



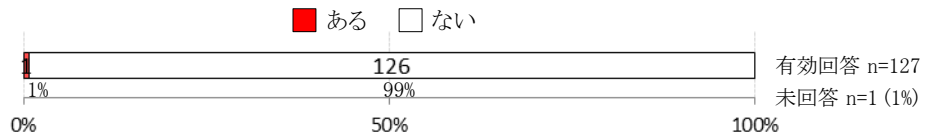
※両群に設置主体差なし(p = 0.0901) 多重比較

【V-2】—Q066～Q074. 看護師が麻酔業務に従事することが「ある」場合 (n = 128)

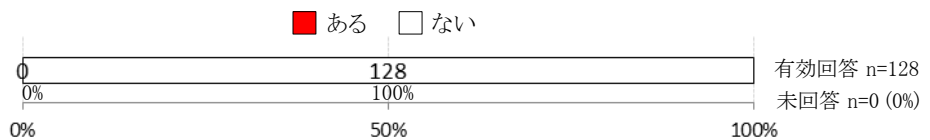
【V-2】—Q066. 麻酔科医の指導、監督下に導入・挿管をすること



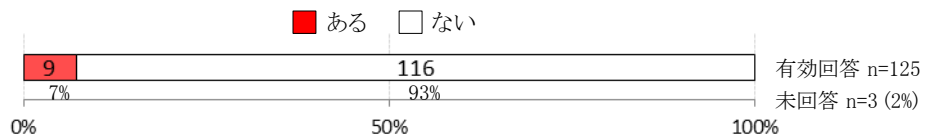
【V-2】—Q067. 麻酔科医以外の医師の指導、監督下に導入・挿管をすること



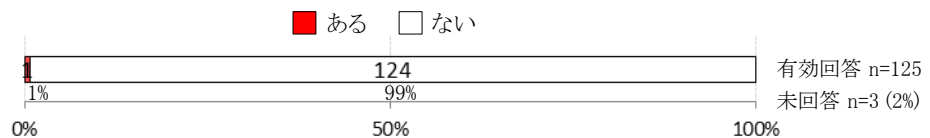
【V-2】—Q068. 麻酔科医あるいは医師の指導、監督なしで導入・挿管をすること



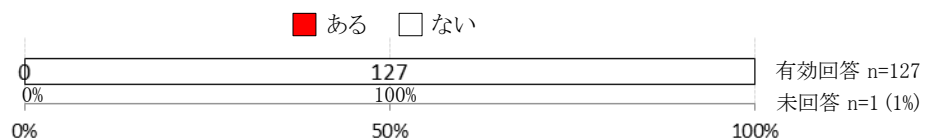
【V-2】—Q069. 麻酔科医の指導、監督下に覚醒・抜管をすること



【V-2】—Q070. 麻酔科医以外の医師の指導、監督下に覚醒・抜管をすること

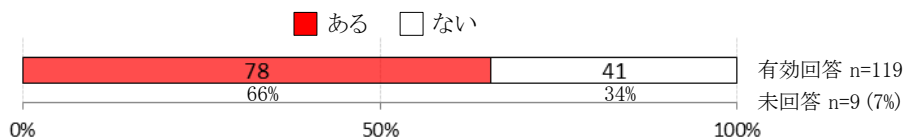


【V-2】—Q071. 麻酔科医あるいは医師の指導、監督なしで覚醒・抜管をすること

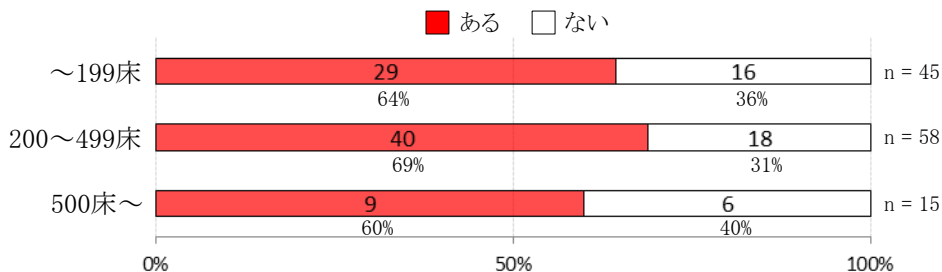


【V-2】—Q072. 麻酔科医の指導、監督下に麻酔の維持及び麻酔管理をすること(\*1)

(\*1) : 医師と一緒に二人で“協働麻酔”を行うイメージ(外回り看護師以外の看護師による麻酔補助)

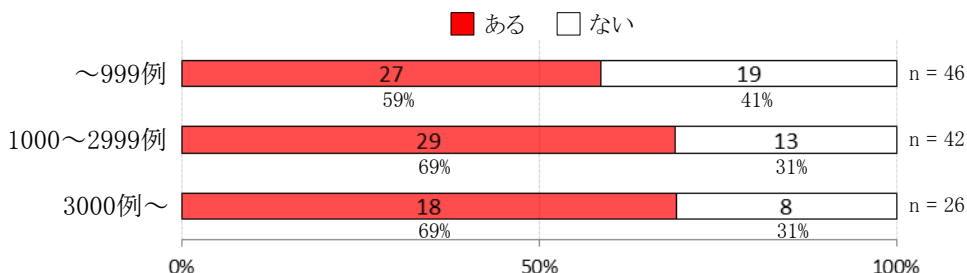


【V-2】—Q072. ①病床数別



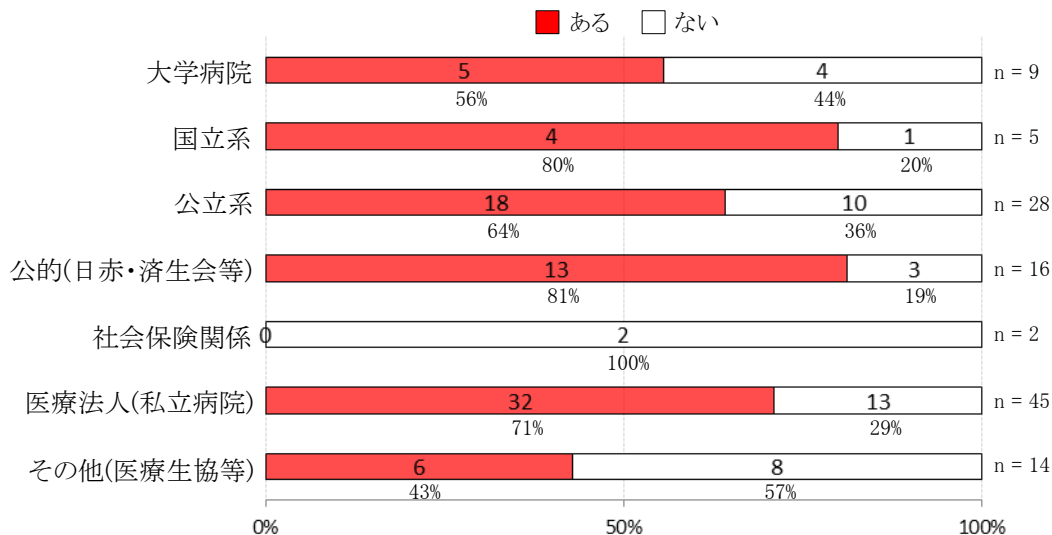
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p = 0.0027) Mann-Whitney U test

【V-2】—Q072. ②手術数別



※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p = 0.0296) Mann-Whitney U test

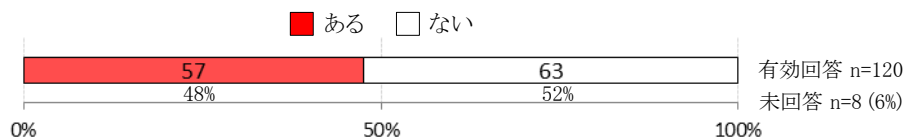
【V-2】—Q072. ③設置主体別



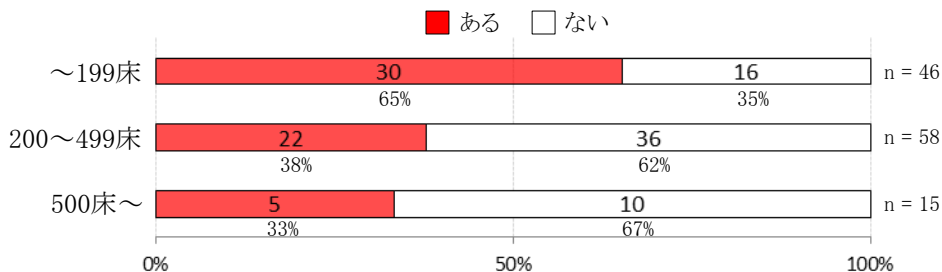
※両群に設置主体差あり(p = 0.0176) 多重比較

【V-2】—Q073. 麻酔科医以外の医師の指導、監督下に麻酔の維持及び麻酔管理をすること(\*2)

(\*2) : 医師と一緒に二人で“協働麻酔”を行うイメージ(外回り看護師以外の看護師による麻酔補助)

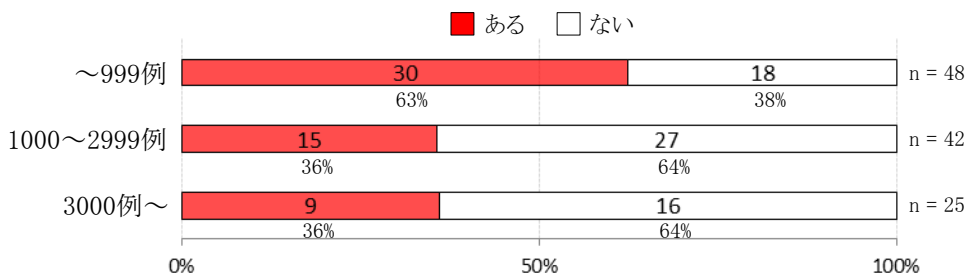


【V-2】—Q073. ①病床数別



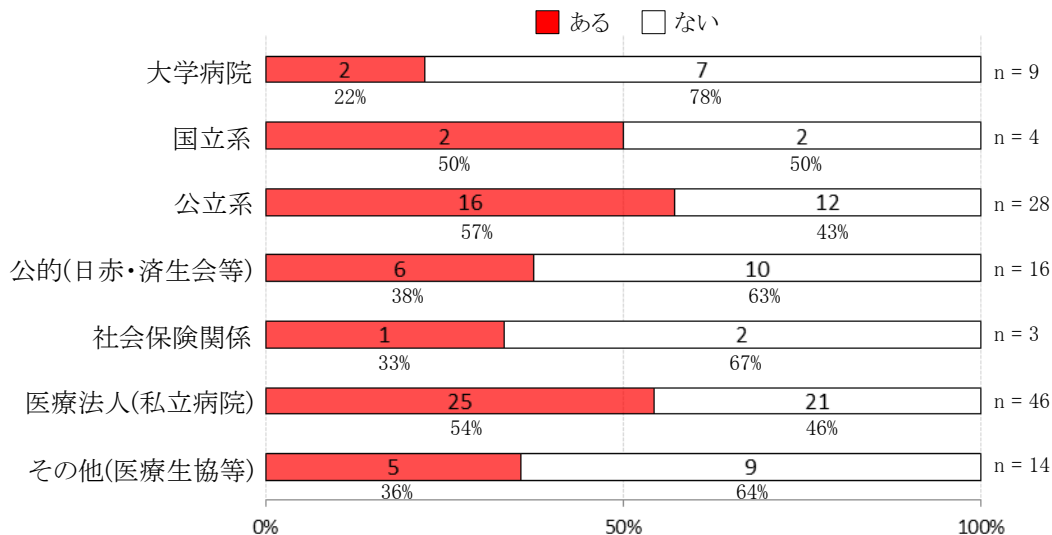
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

【V-2】—Q073. ②手術数別



※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

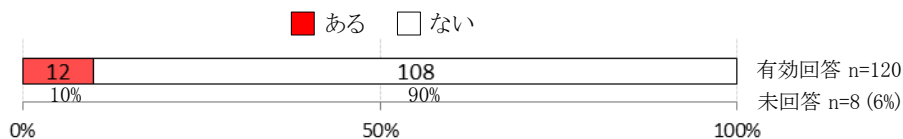
【V-2】—Q073. ③設置主体別



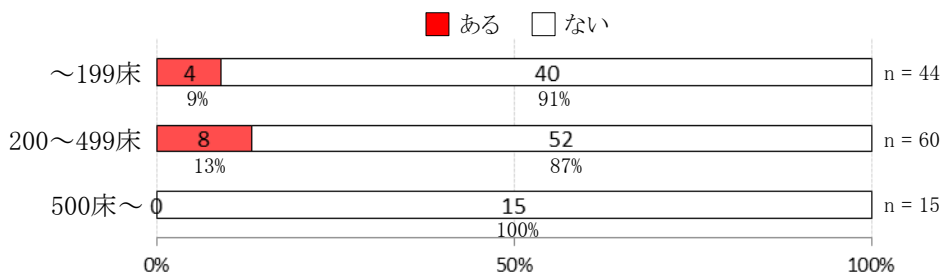
※両群に設置主体差あり(p = 0.0393) 多重比較

【V-2】—Q074. 麻酔科医あるいは医師の指導、監督なしで麻酔の維持及び麻酔管理をすること(\*3)

(\*3) : いわゆる“並列管理(並列麻酔)”のイメージ(麻酔科医は複数の麻酔をラウンドとして担当し、麻酔管理の主体は看護師が一人で行っている場合)となります。

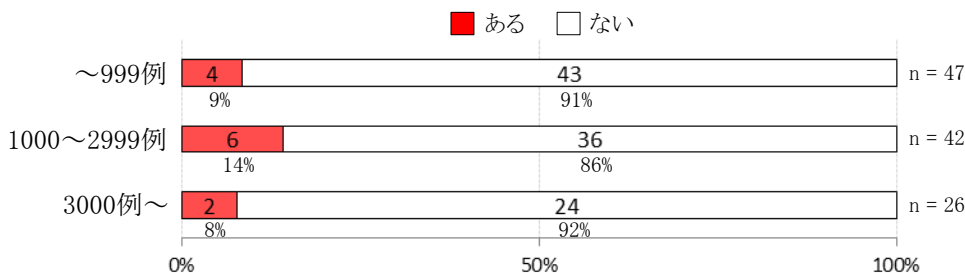


【V-2】—Q074. ①病床数別



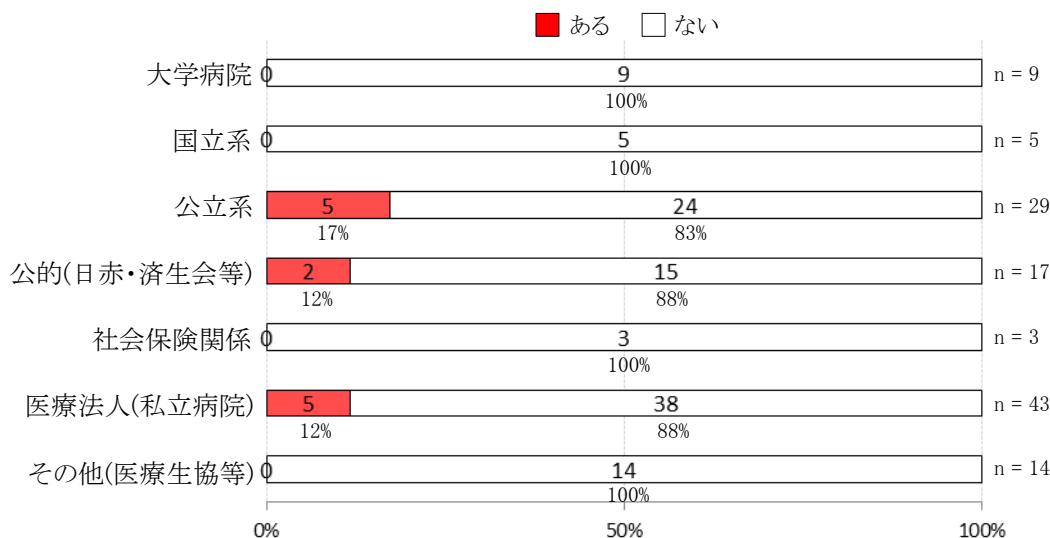
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数について両群に有意差なし(p = 0.2499) Mann-Whitney U test

【V-2】—Q074. ②手術数別



※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数について両群に有意差なし(p = 0.4386) Mann-Whitney U test

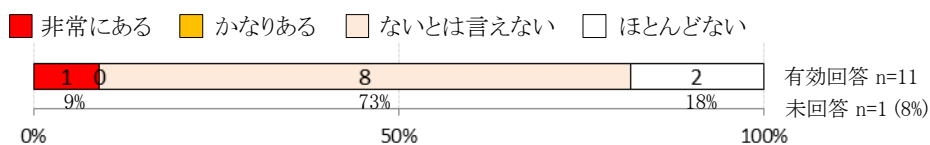
【V-2】—Q074. ③設置主体別



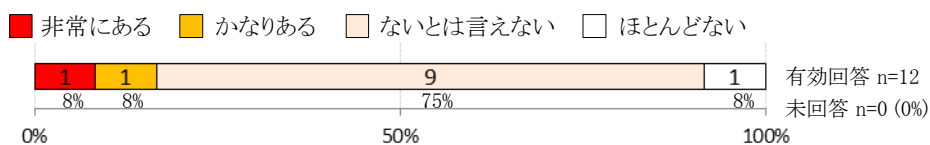
※両群に設置主体差なし(p = 0.2626) 多重比較

【VI】「並列管理(並列麻酔)」の場合について ※Q074“並列管理(並列麻酔)”「ある」回答 n = 12

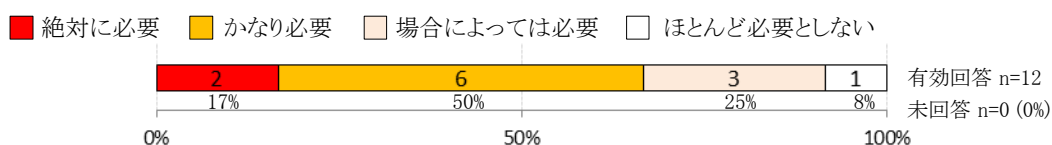
【VI】—Q075. ①合併症、危険性の可能性



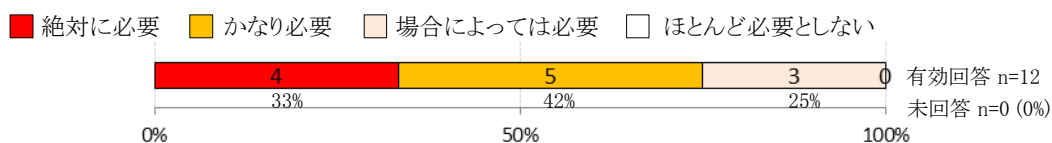
【VI】—Q076. ②麻酔管理上の問題



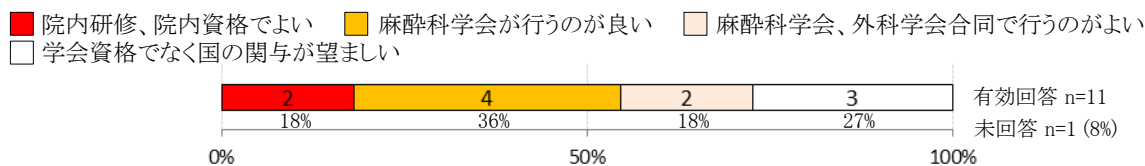
【VI】—Q077. ③トラブルに対する対応策の準備



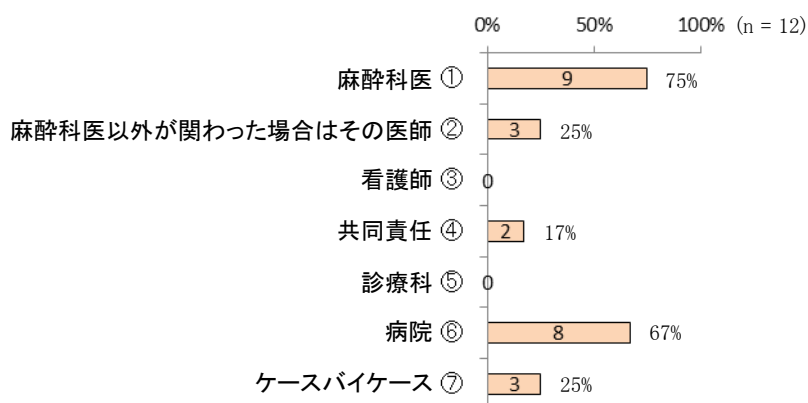
【VI】—Q078. ④並列管理を担当する看護師の教育・評価



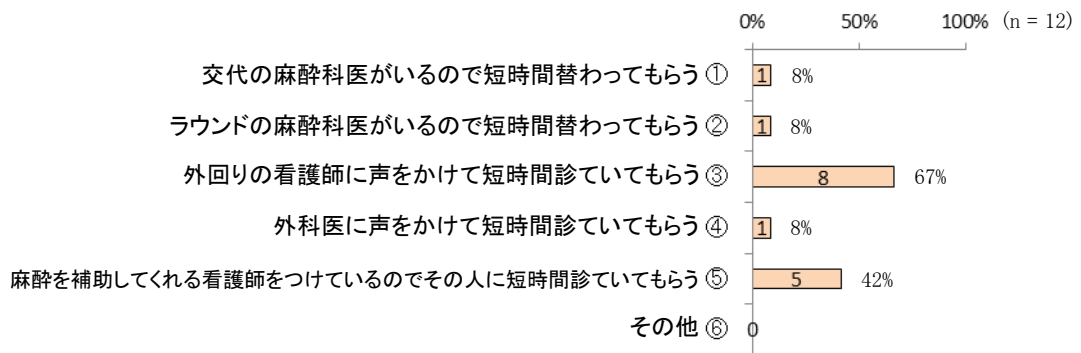
【VI】—Q079. (Q078において)「絶対に必要」「かなり必要」「場合によっては必要」と回答した場合



【VI】—Q080. ⑤何か麻酔事故が起きた場合の責任は誰にあると思いますか？(複数選択回答あり)



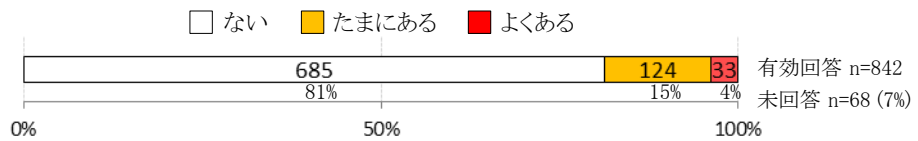
【VI】—Q081. 長時間麻酔における交代や、トイレ・食事時の対応について (複数選択回答あり)



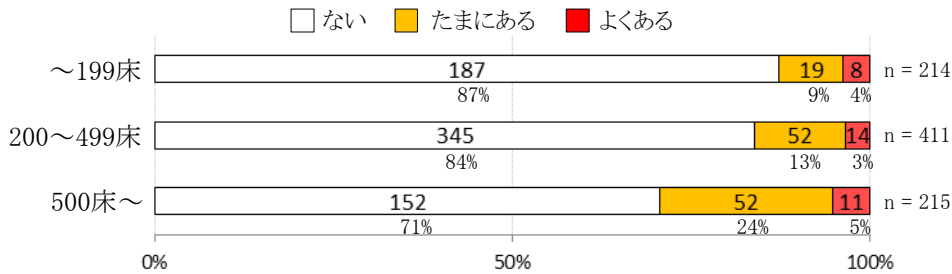
※「その他」の場合の具体例は別紙にまとめ

【Ⅶ】機械出しについて

【Ⅶ】—Q082. 定例手術の場合に看護師以外が機械出しを行う事がありますか？

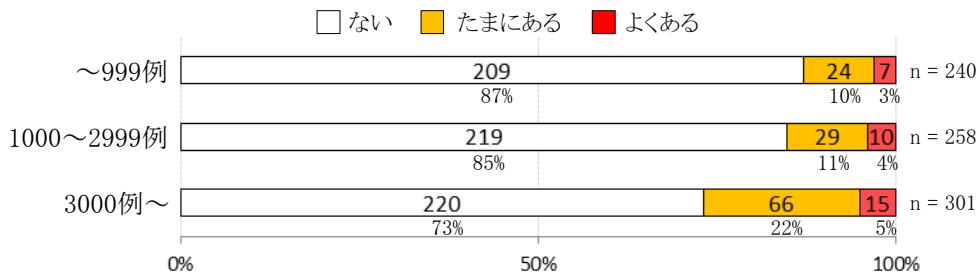


【Ⅶ】—Q082. ①病床数別



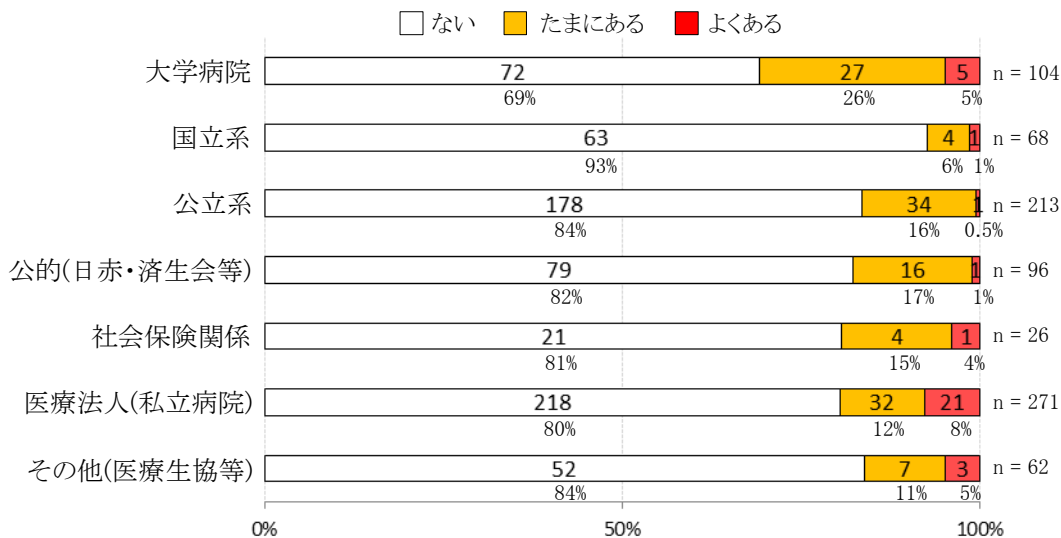
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり (p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【Ⅶ】—Q082. ②手術数別



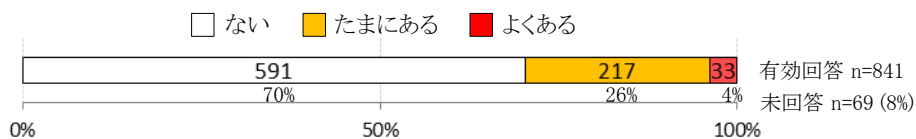
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり (p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【Ⅶ】—Q082. ③設置主体別

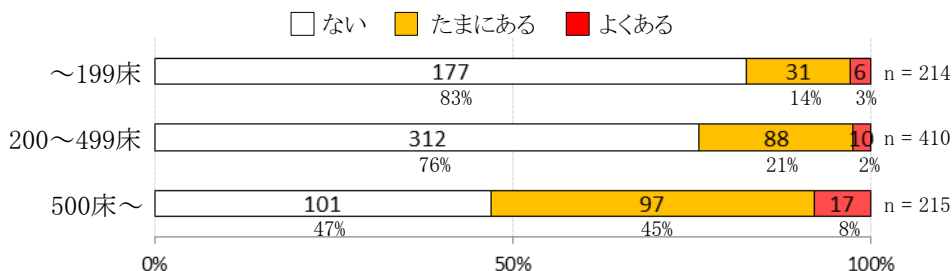


※群間に設置主体差あり (p < 0.0001) 多重比較

【Ⅶ】—Q083. 緊急手術の場合に看護師以外が機械出しを行う事がありますか？

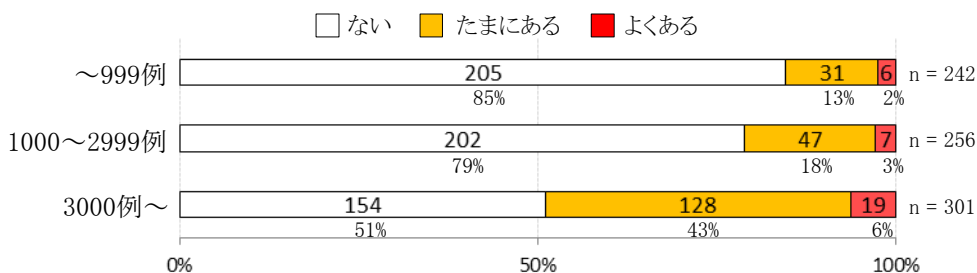


【Ⅶ】—Q083. ①病床数別



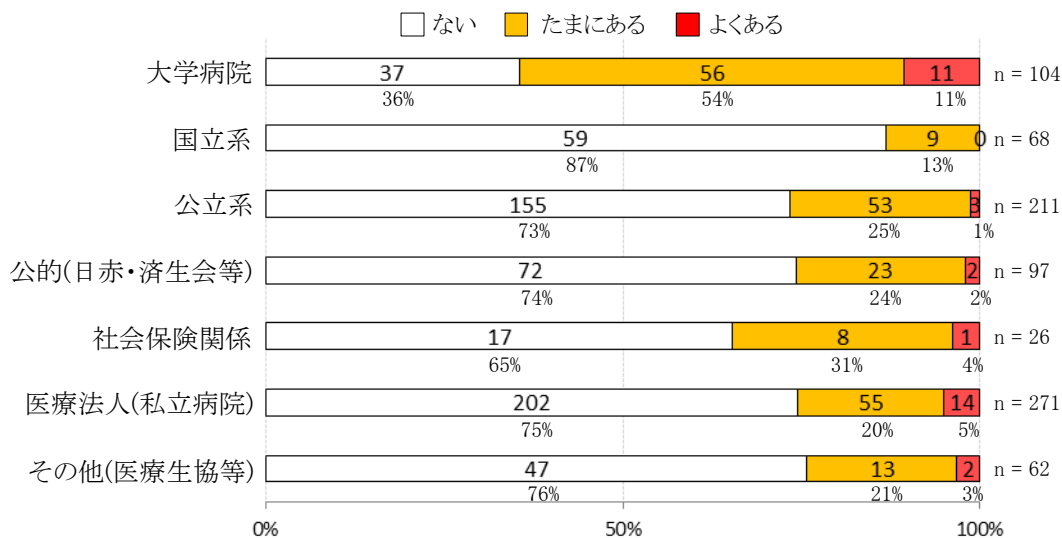
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【Ⅶ】—Q083. ②手術数別



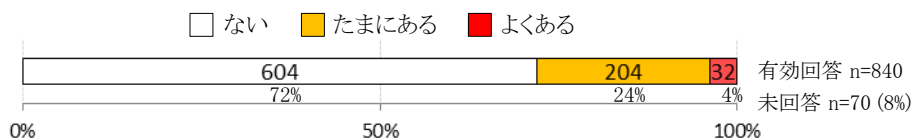
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【Ⅶ】—Q083. ③設置主体別

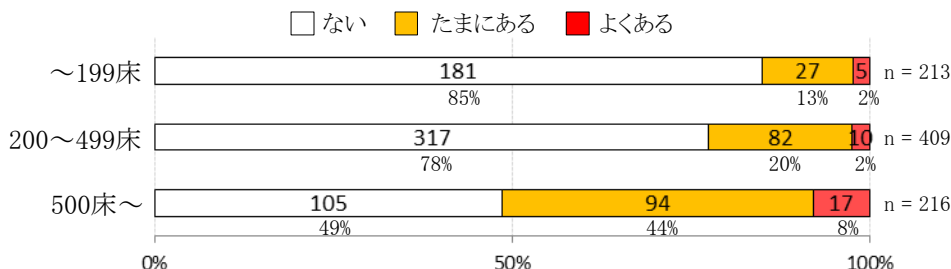


※群間に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【Ⅶ】—Q084. 時間外・休日・夜間手術の場合に看護師以外が機械出しを行う事がありますか？

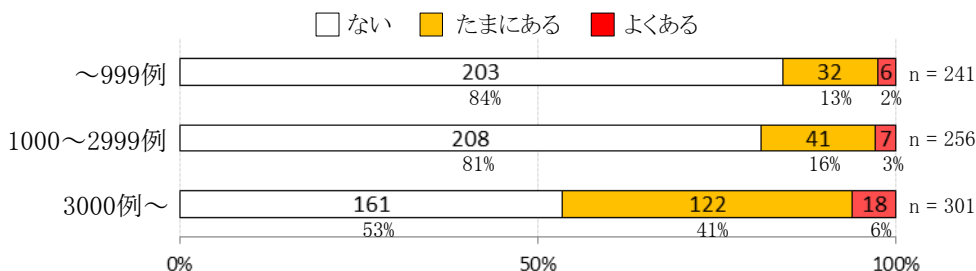


【Ⅶ】—Q084. ①病床数別



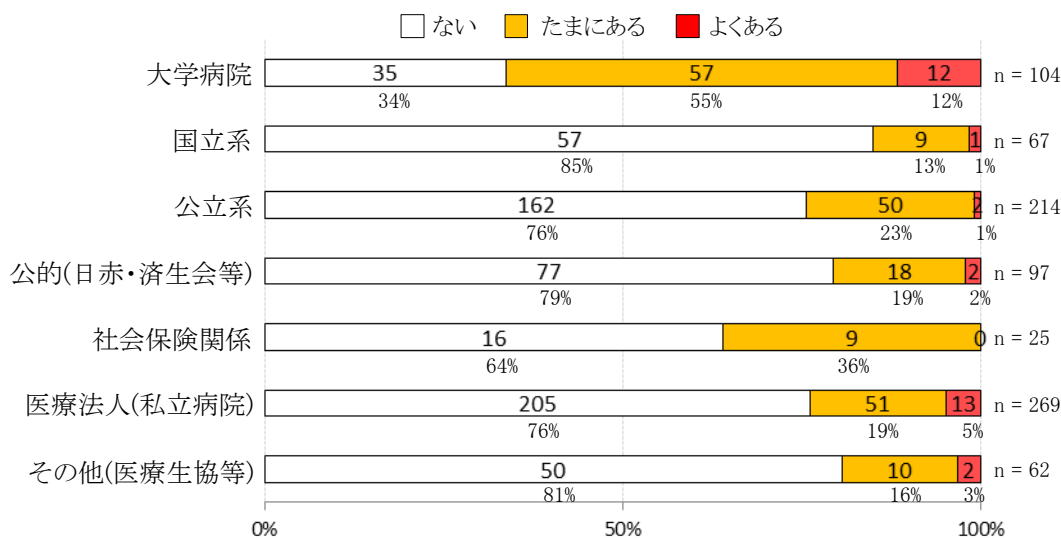
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【Ⅶ】—Q084. ②手術数別



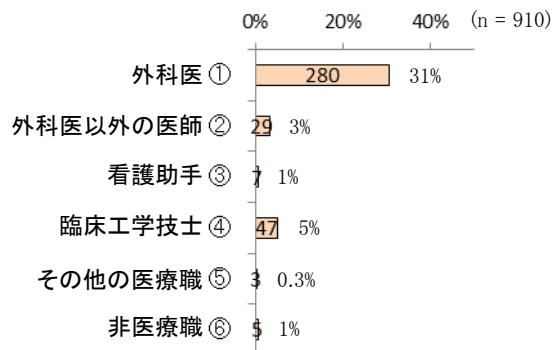
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【Ⅶ】—Q084. ③設置主体別



※群間に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

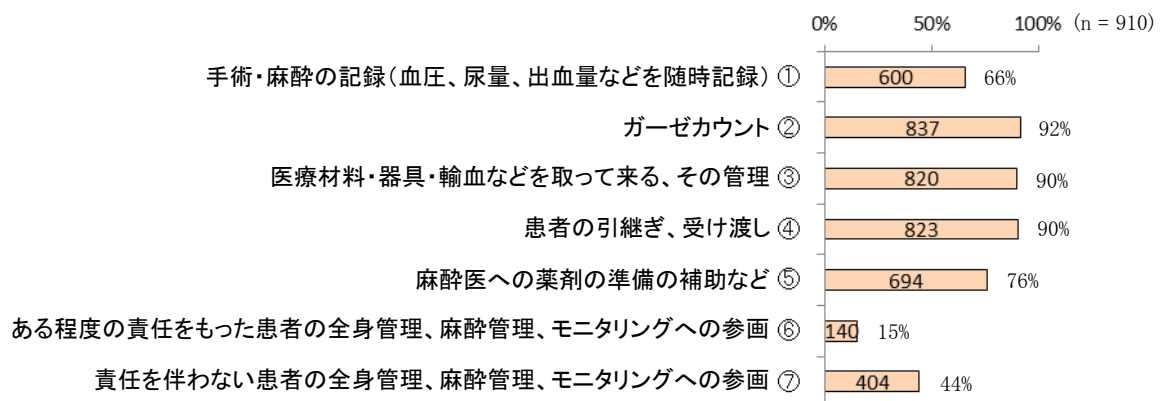
## 【Ⅶ】—Q085. 看護師以外が機械出しを行うのはどなたですか？（複数選択回答あり）



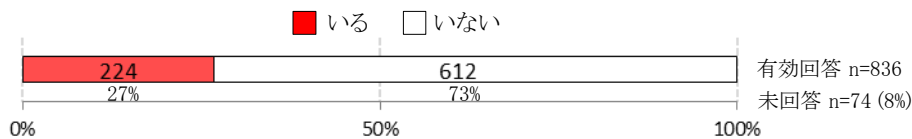
※「その他の医療職」と「非医療職」の場合の具体例は別紙にまとめ

## 【Ⅷ】その他

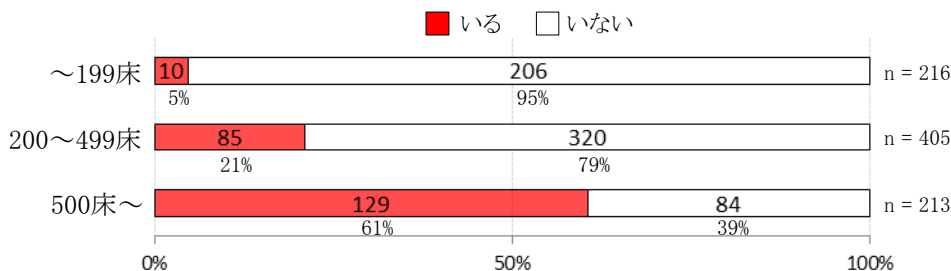
## 【Ⅷ】—Q086. 外回り看護師の行っている業務について（複数選択回答あり）



【Ⅷ】—Q087. 認定看護師(手術看護)の有無について

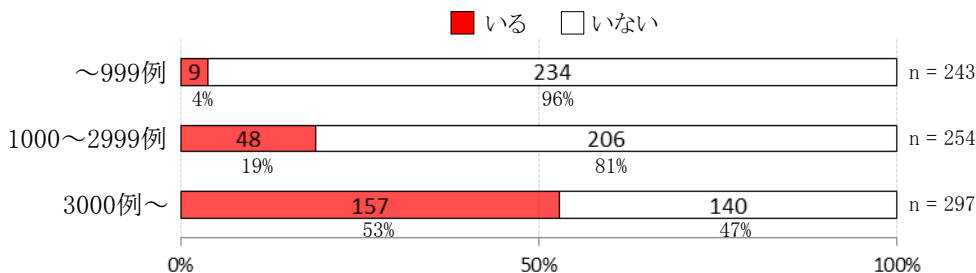


【Ⅷ】—Q087. ①病床数別



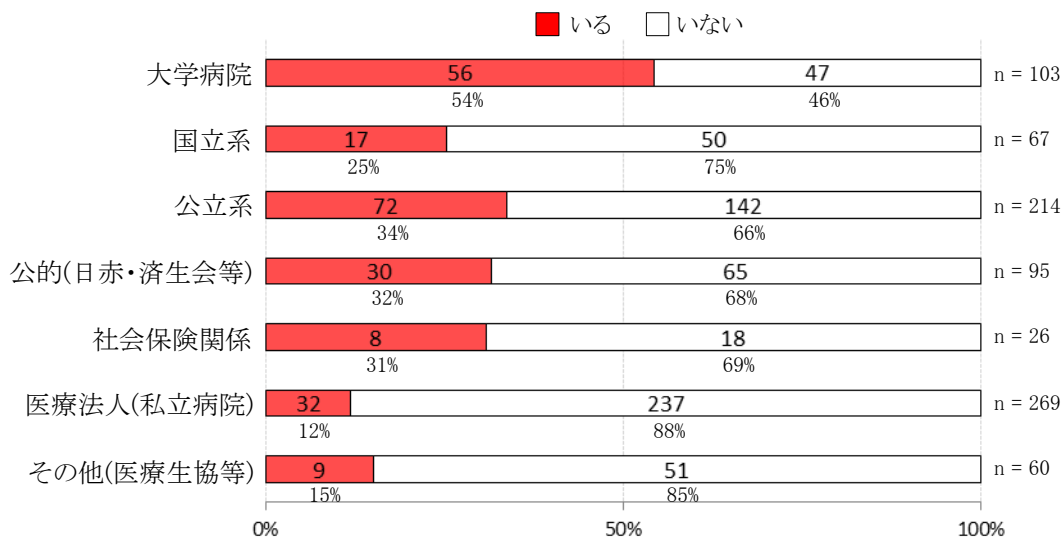
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

【Ⅷ】—Q087. ②手術数別



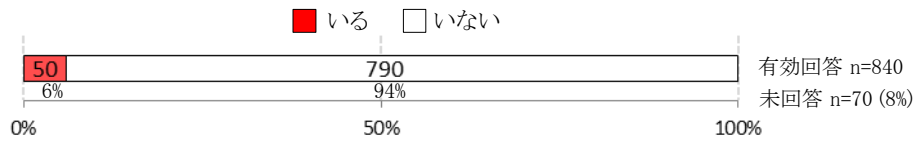
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

【Ⅷ】—Q087. ③設置主体別

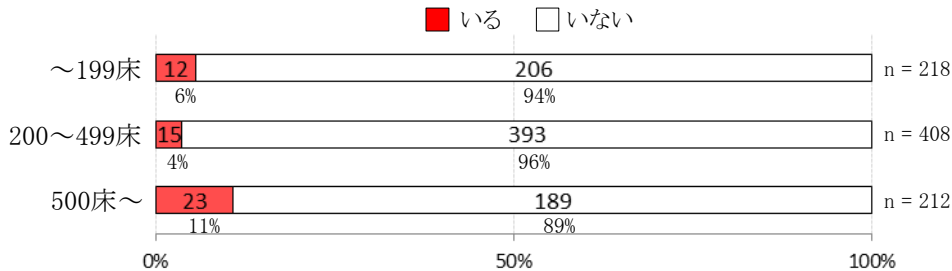


※両群に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【Ⅷ】—Q088. 特定看護師(特定行為に係る指定研修制度修了者)の有無について

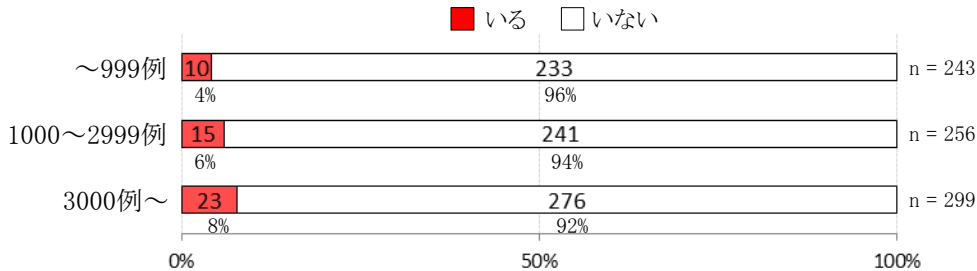


【Ⅷ】—Q088. ①病床数別



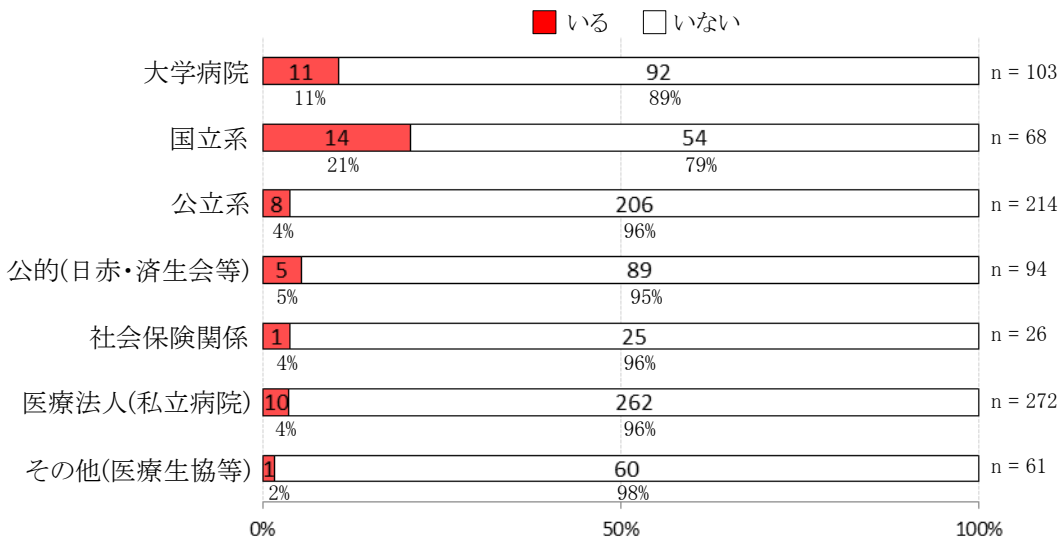
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p = 0.0127) Mann-Whitney U test

【Ⅷ】—Q088. ②手術数別



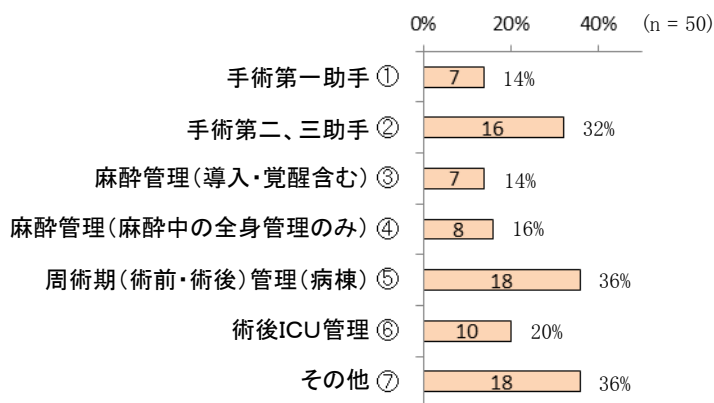
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p = 0.0475) Mann-Whitney U test

【Ⅷ】—Q088. ③設置主体別



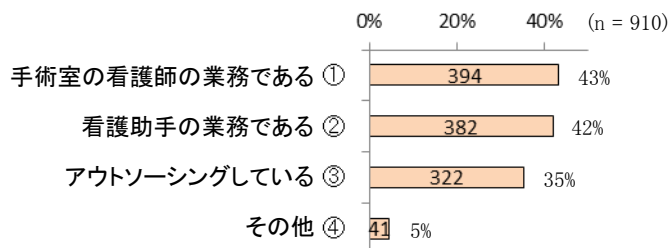
※両群に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

## 【Ⅷ】—Q089. 特定看護師がいる場合の仕事内容について（複数選択回答あり）



※「その他」の場合の具体例は別紙にまとめ

## 【Ⅷ】—Q090. その他の業務(手術室の清掃、手術器具の水洗い・消毒・滅菌など、(複数選択回答あり)手術器具のピッキング、事務的仕事)について



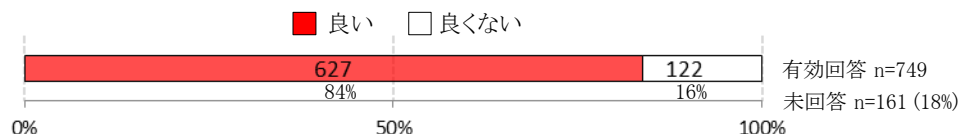
※「その他」の場合の具体例は別紙にまとめ

## 【IX】患者搬送時の対応について

## 【IX】—Q091. ①病棟→手術部の搬送における送り手・受け手の組み合わせ

※「誰( )が、誰( )と」の組み合わせは別紙にまとめ

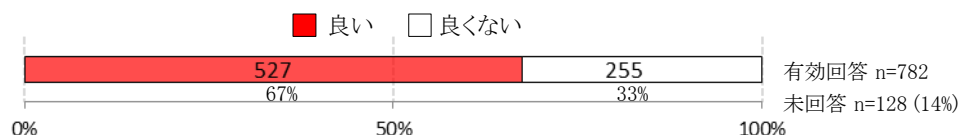
## 【IX】—Q092. ①病棟→手術部の搬送における「医師は、研修医でも良いか否か」



## 【IX】—Q093. ②手術部→ICUあるいは病棟の搬送における送り手・受け手の組み合わせ

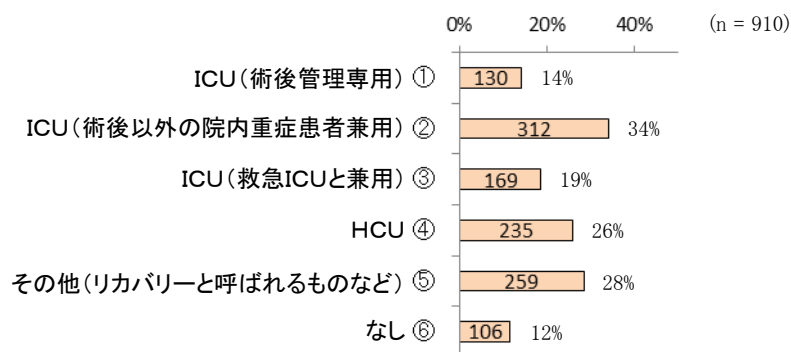
※「誰( )が、誰( )と」の組み合わせは別紙にまとめ

## 【IX】—Q094. ②手術部→ICUあるいは病棟の搬送における「医師は、研修医でも良いか否か」

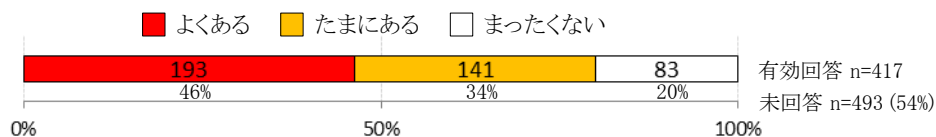


## 【X】術後管理について

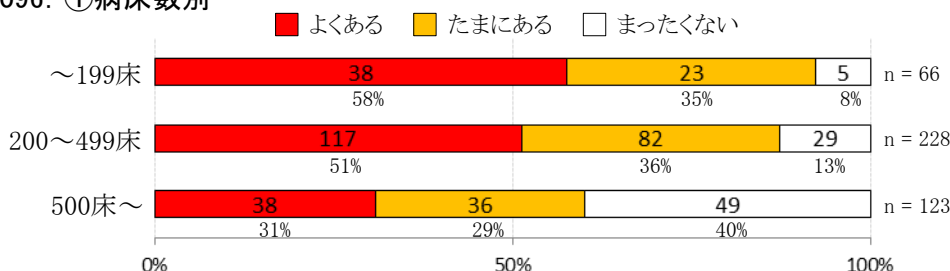
## 【X】—Q095. 集中治療室(一般病棟以外)における術後管理の場所 (複数選択回答あり)



【X】—Q096. Open ICU (=外科医が術後管理)の場合に日中(手術中など)に外科医が不在で誰も医師がいなくなることがありますか？

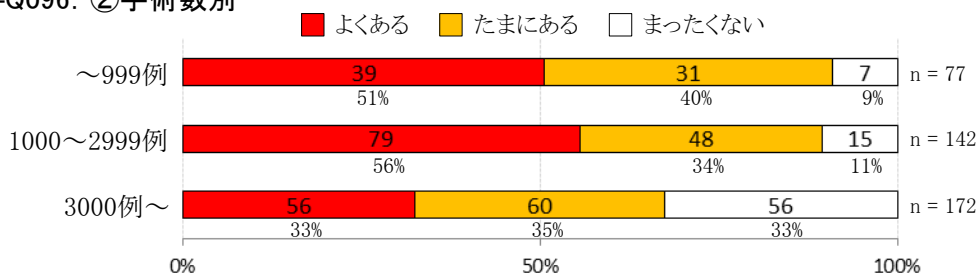


【X】—Q096. ①病床数別



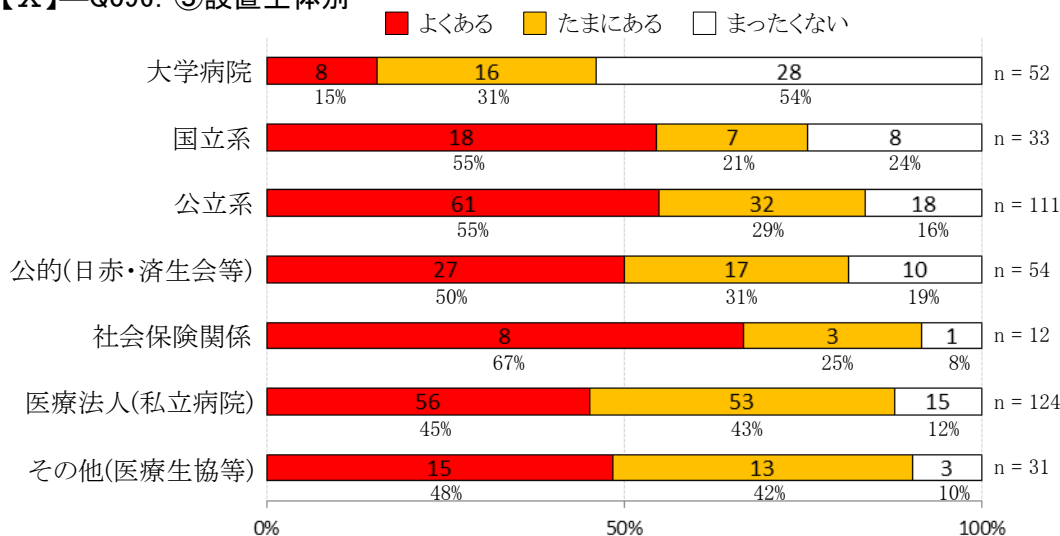
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【X】—Q096. ②手術数別



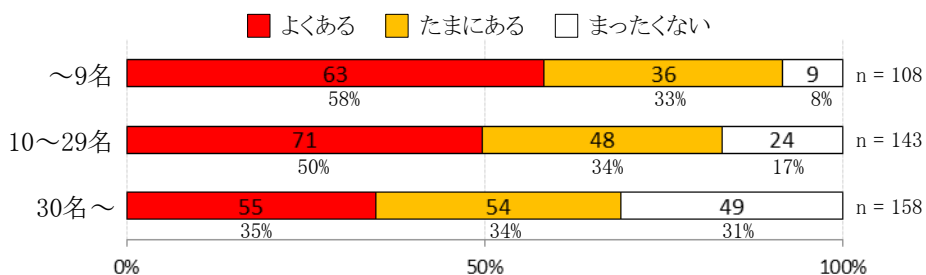
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【X】—Q096. ③設置主体別



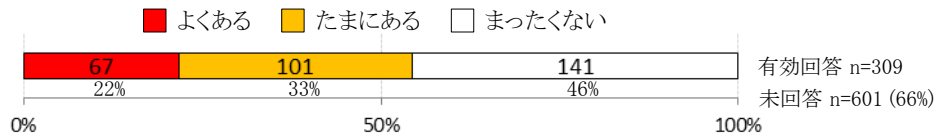
※群間に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【X】—Q096. ④常勤外科系医師数別

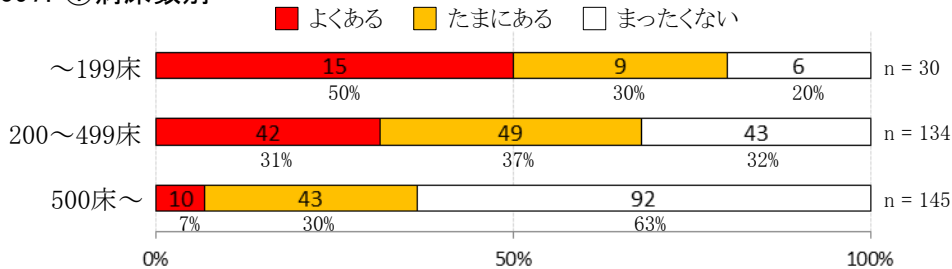


※「常勤外科系医師数別」を常勤外科系医師数(実数値)に置換して比較した場合  
 常勤外科系医師数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001)Kruskal-Wallis test

【X】—Q097. Semiopen ICU(外科医と集中治療医と一緒に術後管理)の場合に  
誰も医師がいなくなることがありますか？

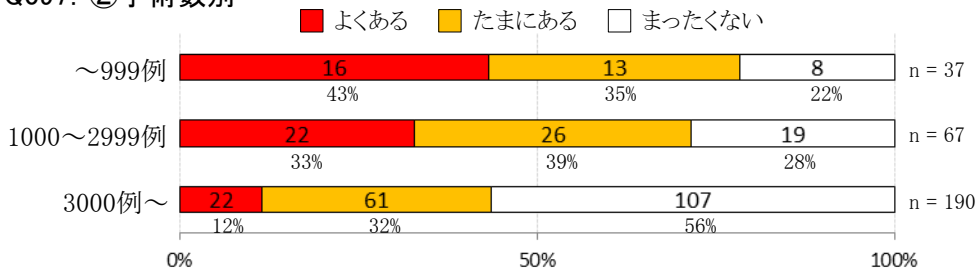


【X】—Q097. ①病床数別



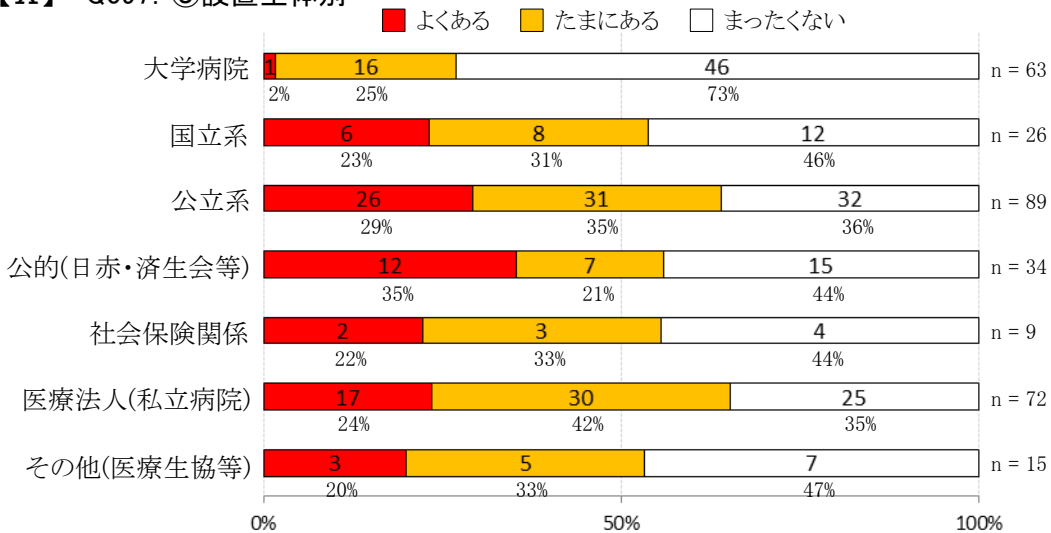
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【X】—Q097. ②手術数別



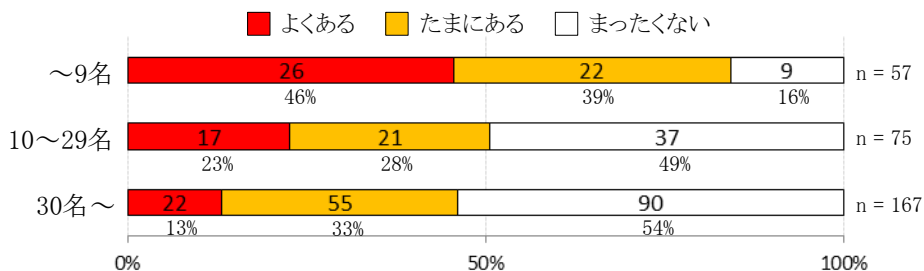
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【X】—Q097. ③設置主体別



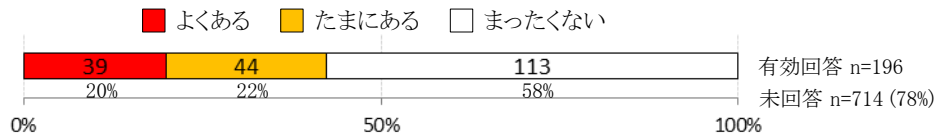
※群間に設置主体差あり(p = 0.0004) 多重比較

【X】—Q097. ④常勤外科系医師数別

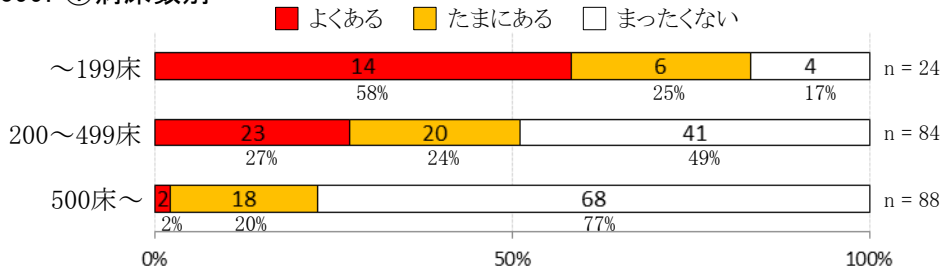


※「常勤外科系医師数別」を常勤外科系医師数(実数値)に置換して比較した場合  
 常勤外科系医師数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001)Kruskal-Wallis test

【X】—Q099. Closed ICU(集中治療医 intensivist が術後管理)の場合に  
誰も医師がいなくなることがありますか？

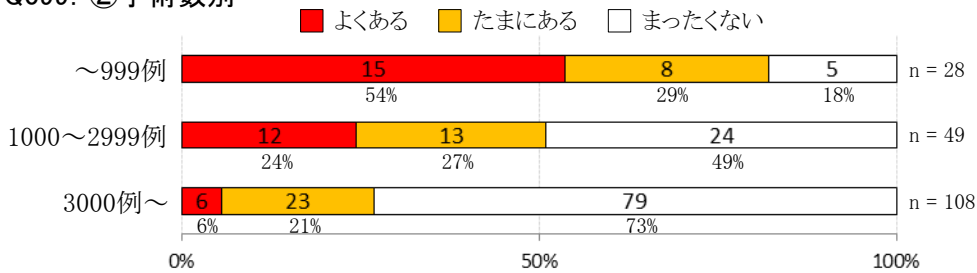


【X】—Q099. ①病床数別



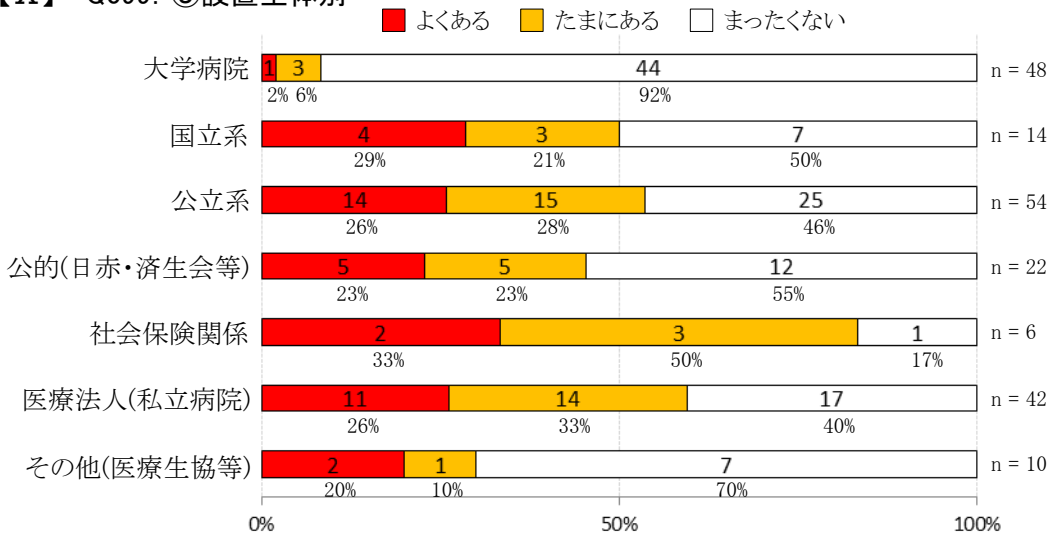
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【X】—Q099. ②手術数別



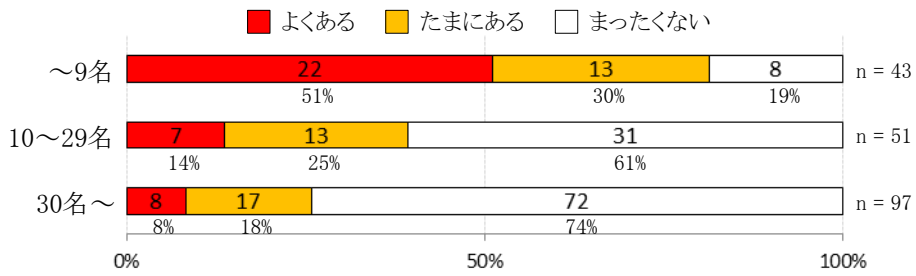
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【X】—Q099. ③設置主体別



※群間に設置主体差あり(p = 0.0002) 多重比較

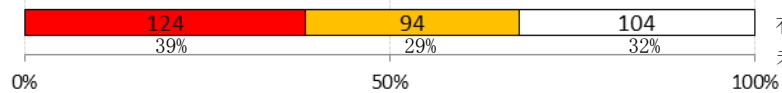
【X】—Q099. ④常勤外科系医師数別



※「常勤外科系医師数別」を常勤外科系医師数(実数値)に置換して比較した場合  
 常勤外科系医師数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001)Kruskal-Wallis test

【X】—Q098. Semiopen ICU(外科医と集中治療医と一緒に術後管理)の場合に外科医と集中治療医の責任関係について

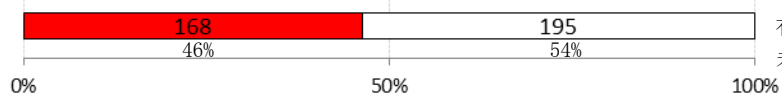
■ 明確である ■ あいまいである □ 手術の種類(外科の診療科)によって違う



有効回答 n=322  
未回答 n=588 (65%)

【X】—Q100. 集中治療医 Intensivist の責任者のオリジナルの診療科について

■ 麻酔科 □ 麻酔科以外

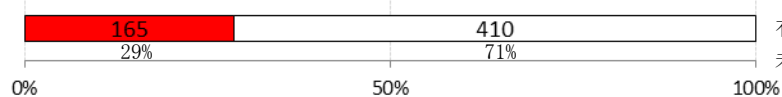


有効回答 n=363  
未回答 n=547 (60%)

※「麻酔科以外」の場合の具体例は別紙にまとめ

【X】—Q101. 集中治療室専従臨床工学技士の有無について

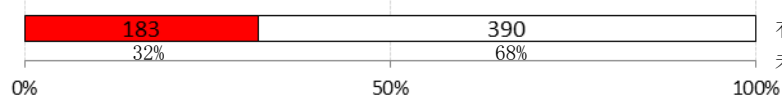
■ あり □ なし



有効回答 n=575  
未回答 n=335 (37%)

【X】—Q102. 集中治療室専従薬剤師の有無について

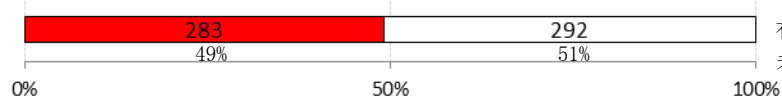
■ あり □ なし



有効回答 n=573  
未回答 n=337 (37%)

【X】—Q103. 集中治療室専従認定看護師(集中ケア)の有無について

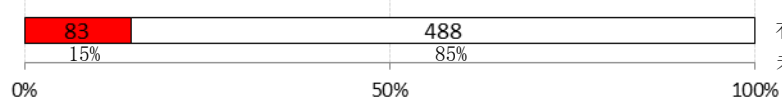
■ あり □ なし



有効回答 n=575  
未回答 n=335 (37%)

【X】—Q104. 集中治療室専従特定看護師(特定行為に係る指定研修制度修了者)の有無について

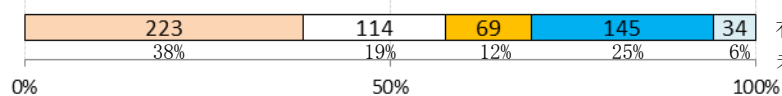
■ あり □ なし



有効回答 n=571  
未回答 n=339 (37%)

【X】—Q105. 管理料の算定について

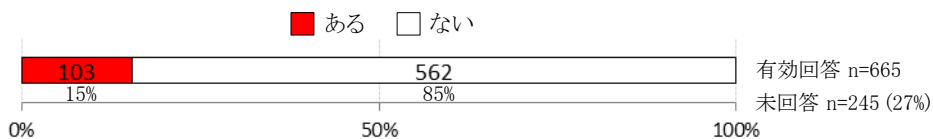
■ なし □ 特定集中治療管理料1 ■ 特定集中治療管理料2  
■ 特定集中治療管理料3 ■ 特定集中治療管理料4



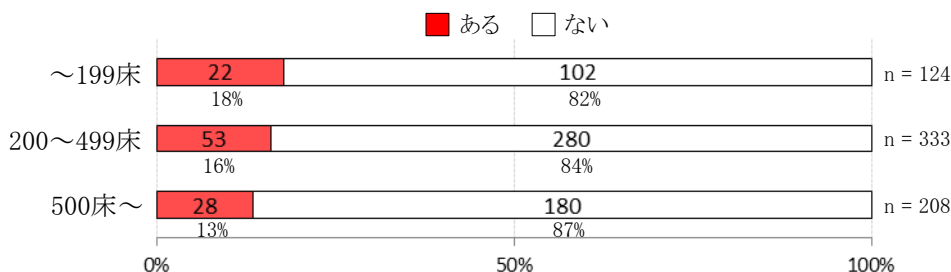
有効回答 n=585  
未回答 n=325 (36%)

【X I】集中治療室(一般病棟以外)における術後管理の実際について

【X I】—Q106. 医師以外の看護師が手順書(包括的指示)に従い(直接の口頭指示ではなくその場に医師がいなくても)、人工呼吸器の離脱を進める事がありますか？

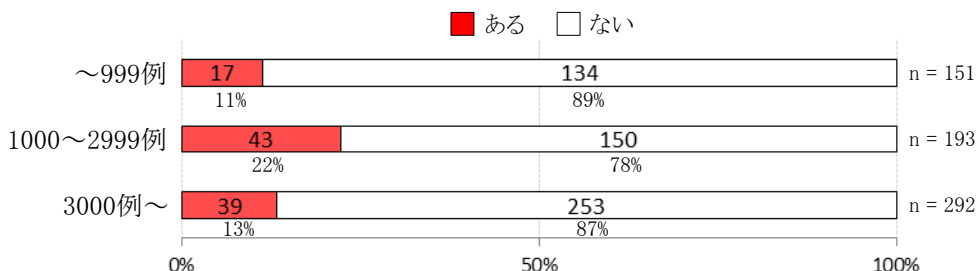


【X I】—Q106. ①病床数別



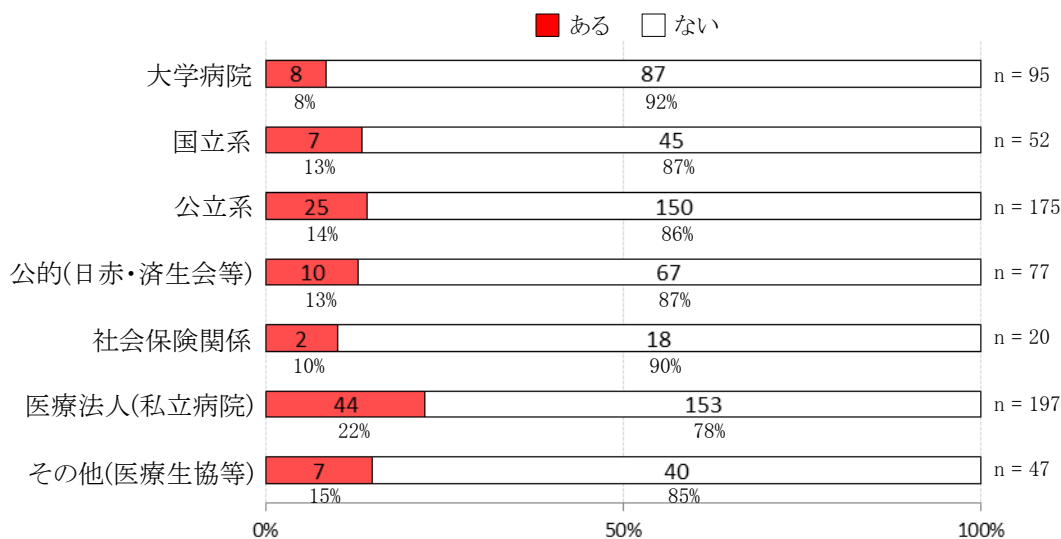
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数について両群に有意差なし(p = 0.1455) Mann-Whitney U test

【X I】—Q106. ②手術数別



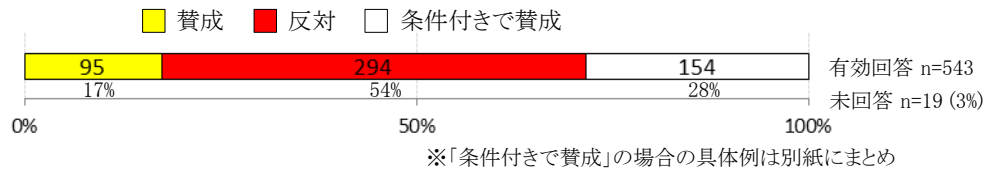
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数について両群に有意差なし(p = 0.3922) Mann-Whitney U test

【X I】—Q106. ③設置主体別

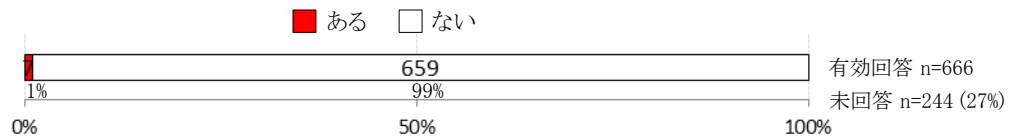


※両群に設置主体差なし(p = 0.0655) 多重比較

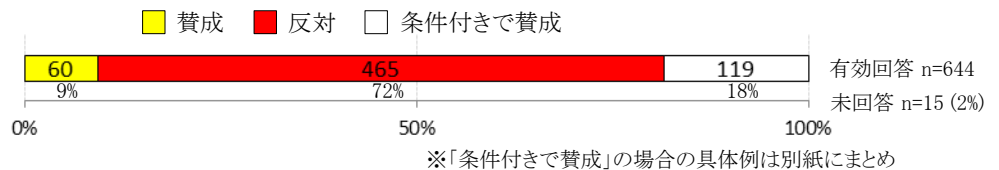
【X I】—Q107. (Q106で「ない」の場合)人工呼吸器の離脱を進める事に賛成ですか？



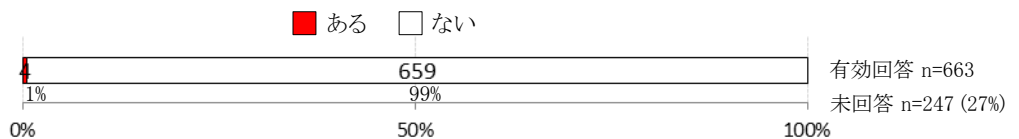
【X I】—Q108. 医師以外の看護師が手順書(包括的指示)に従い(直接の口頭指示ではなくその場に医師がいなくても)、気管挿管チューブの抜管を行う事がありますか？



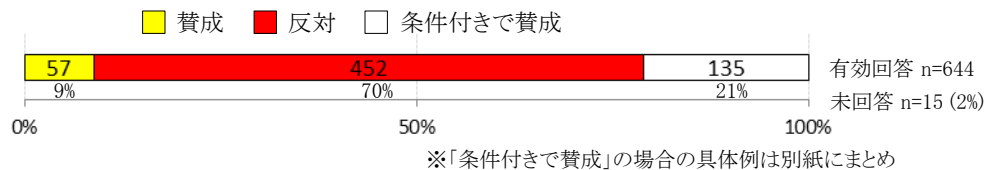
【X I】—Q109. (Q108で「ない」の場合)気管挿管チューブの抜管を行う事に賛成ですか？



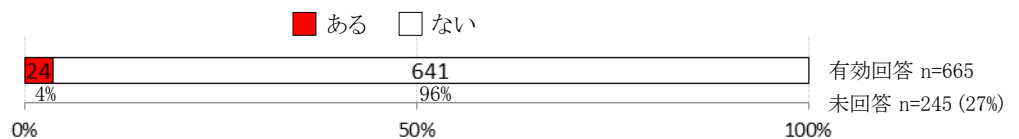
【X I】—Q110. 医師以外の看護師が手順書(包括的指示)に従い(直接の口頭指示ではなくその場に医師がいなくても)、気管挿管チューブの挿管を行う事がありますか？



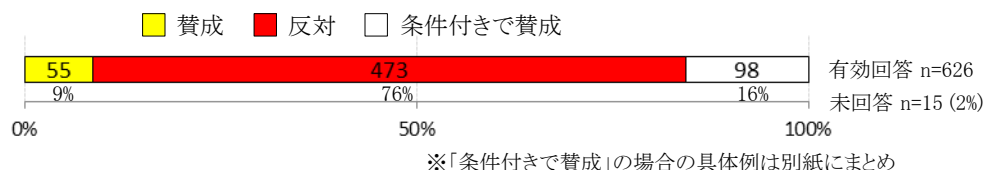
【X I】—Q111. (Q110で「ない」の場合)気管挿管チューブの挿管を行う事に賛成ですか？



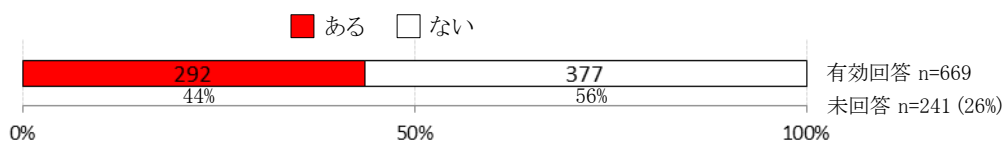
【X I】—Q112. 医師以外の看護師が手順書(包括的指示)に従い(直接の口頭指示ではなくその場に医師がいなくても)、ドレーンの抜去を行う事がありますか？



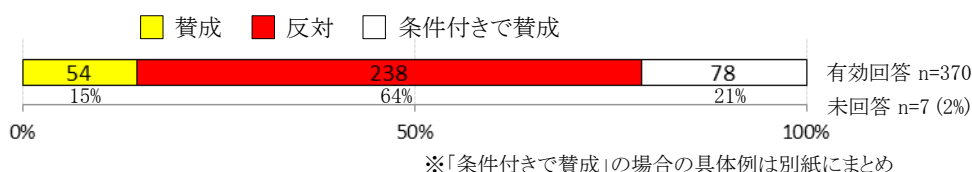
【X I】—Q113. (Q112で「ない」の場合)ドレーンの抜去を行う事に賛成ですか？



【X I】—Q114. 医師以外の看護師が手順書(包括的指示)に従い(直接の口頭指示ではなくその場に医師がいなくても)、カテコラミンやインスリンの投与量の変更などの全身管理を行う事がありますか？

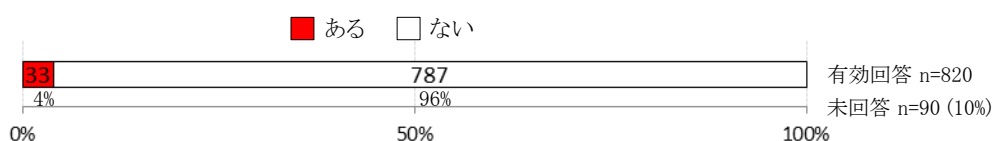


【X I】—Q115. (Q114で「ない」の場合)カテコラミンやインスリンの投与量の変更などの全身管理を行う事に賛成ですか？

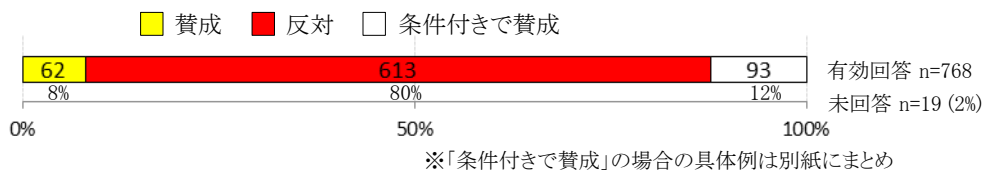


【X II】一般病棟における術後管理の実際について

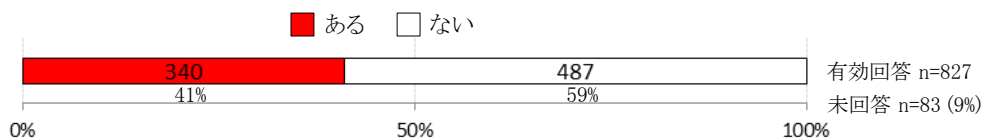
【X II】—Q116. 医師以外の看護師が手順書(包括的指示)に従い(直接の口頭指示ではなくその場に医師がいなくても)、ドレーンの抜去を行う事がありますか？



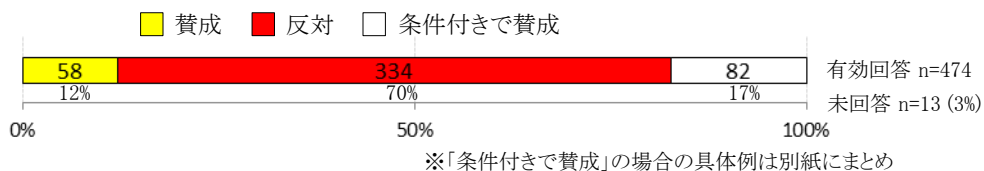
【X II】—Q117. (Q116で「ない」の場合)ドレーンの抜去を行う事に賛成ですか？



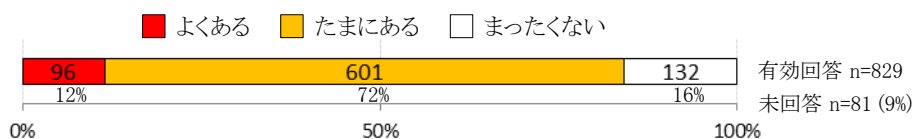
【X II】—Q118. 医師以外の看護師が手順書(包括的指示)に従い(直接の口頭指示ではなくその場に医師がいなくても)、カテコラミンやインスリンの投与量の変更などの全身管理を行う事がありますか？



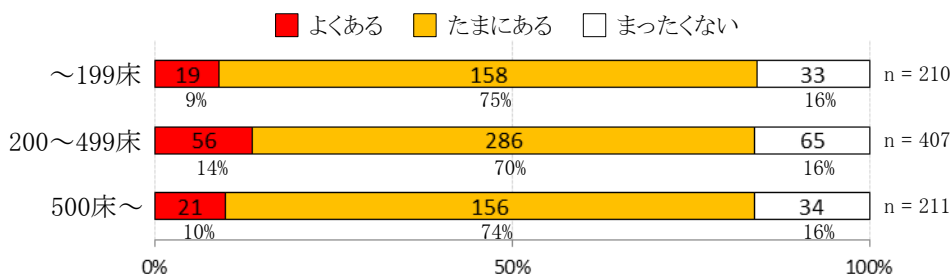
【X II】—Q119. (Q118で「ない」の場合)カテコラミンやインスリンの投与量の変更などの全身管理を行う事に賛成ですか？



【X II】—Q120. 日中(手術中や外来など)に外科医が不在で病棟に誰も医師がいなくなり、患者の状態に応じたタイムリーな対応・処置ができず、夕方や夜間などに先延ばしされることがありますか？

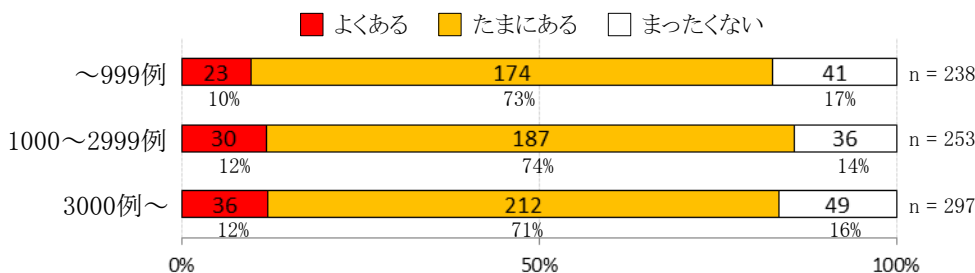


【X II】—Q120. ①病床数別



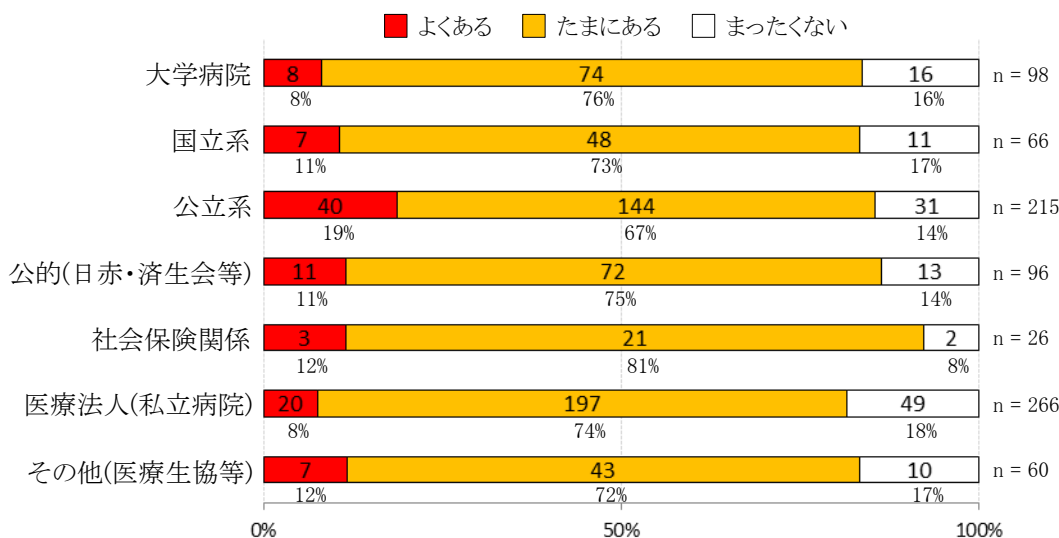
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数について群間に有意差なし(p = 0.8709) Kruskal-Wallis test

【X II】—Q120. ②手術数別



※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数について群間に有意差なし(p = 0.7130) Kruskal-Wallis test

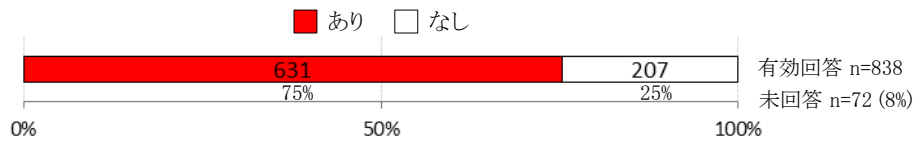
【X II】—Q120. ③設置主体別



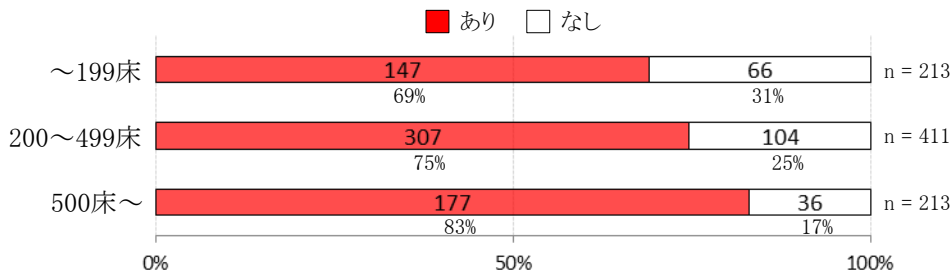
※群間に設置主体差なし(p = 0.1082) 多重比較

【XⅢ】外科医の当直制やオンコール制について

【XⅢ】—Q121. 当直制

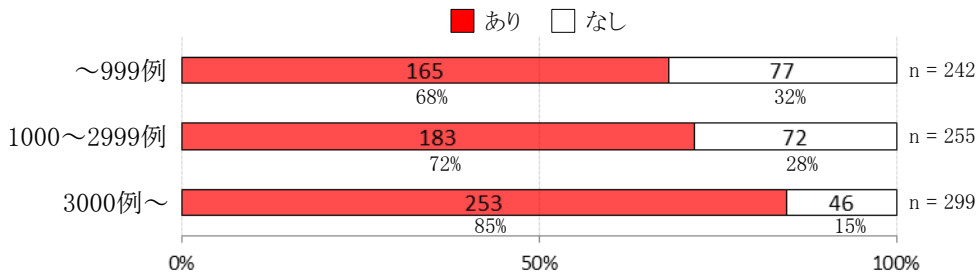


【XⅢ】—Q121. ①病床数別



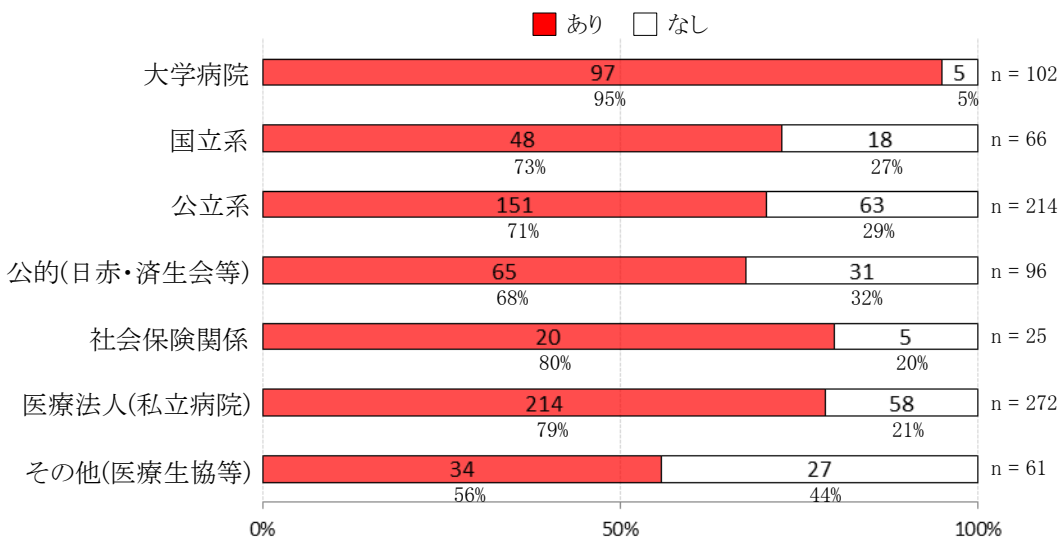
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p = 0.0012) Mann-Whitney U test

【XⅢ】—Q121. ②手術数別



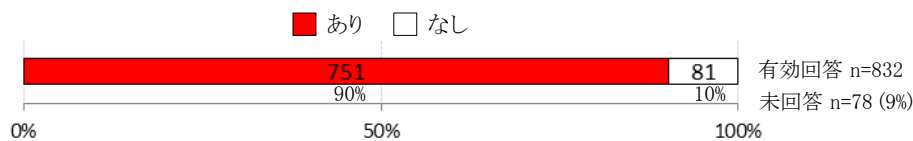
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

【XⅢ】—Q121. ③設置主体別

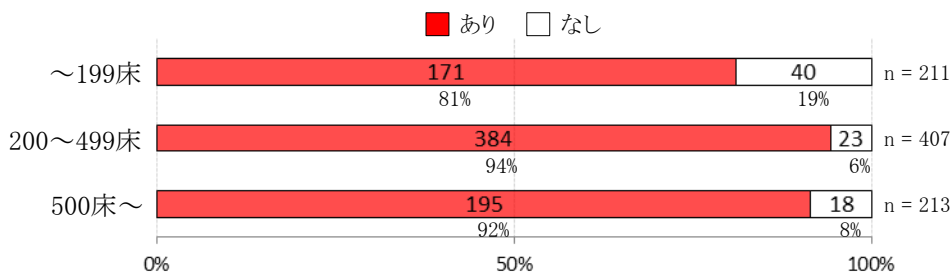


※両群に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【XⅢ】—Q122. オンコール制

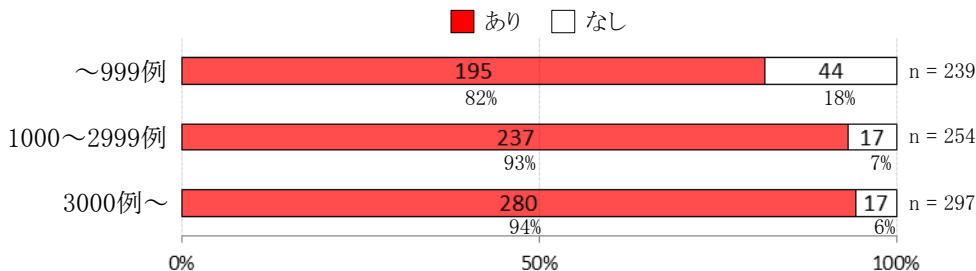


【XⅢ】—Q122. ①病床数別



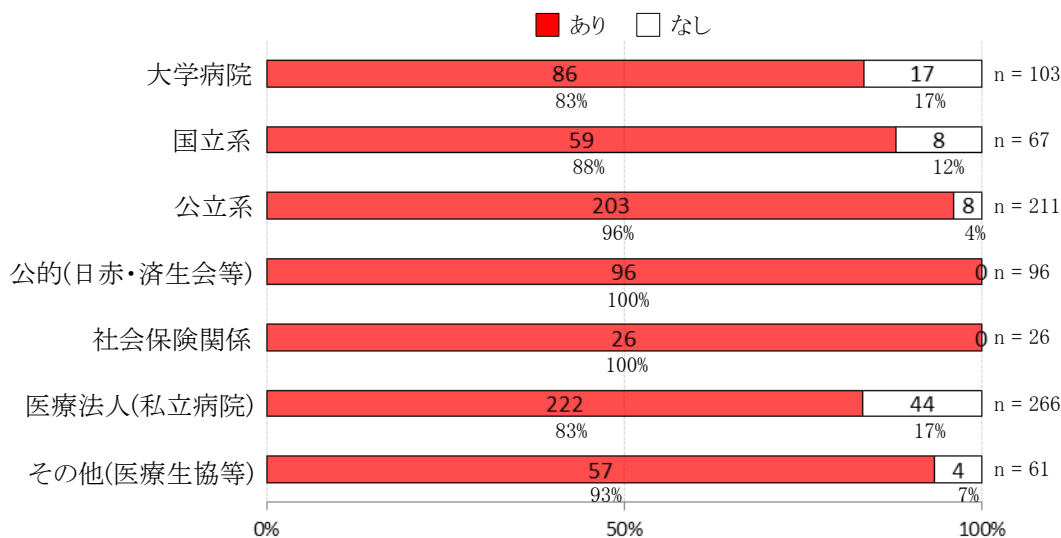
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p = 0.0001) Mann-Whitney U test

【XⅢ】—Q122. ②手術数別



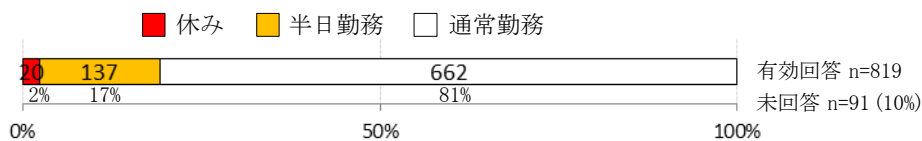
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

【XⅢ】—Q122. ③設置主体別

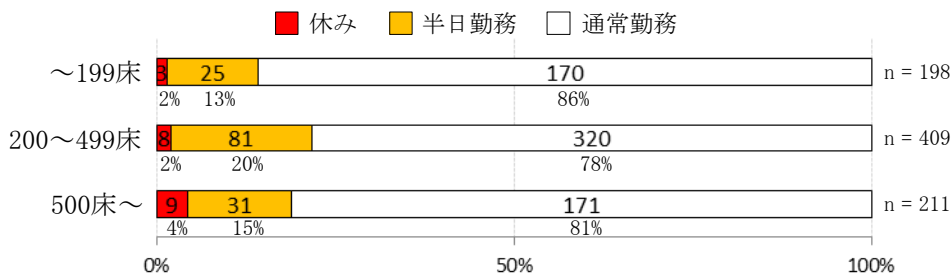


※両群に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【XⅢ】—Q123. 当直明けについて

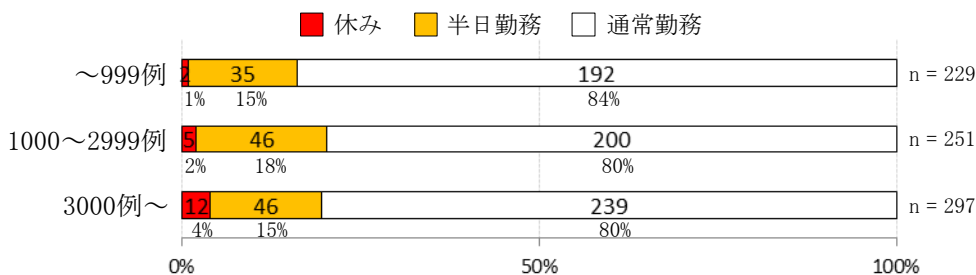


【XⅢ】—Q123. ①病床数別



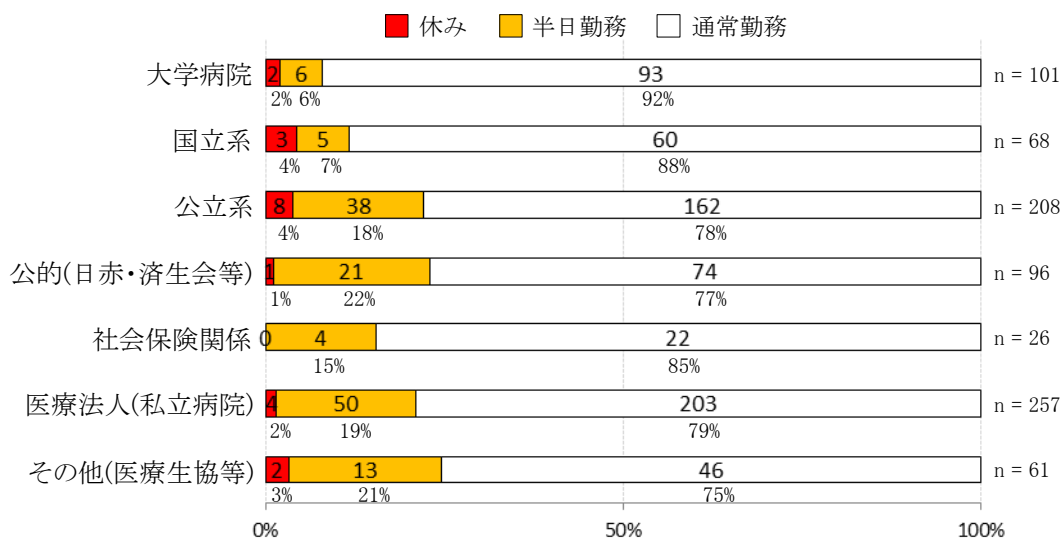
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p = 0.0440) Kruskal-Wallis test

【XⅢ】—Q123. ②手術数別



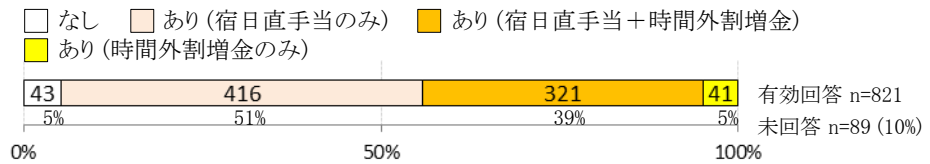
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数について群間に有意差なし(p = 0.0585) Kruskal-Wallis test

【XⅢ】—Q123. ③設置主体別

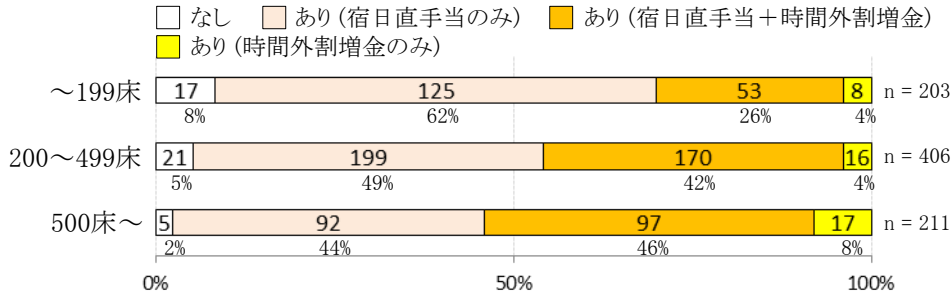


※群間に設置主体差あり(p = 0.0336) 多重比較

【XⅢ】—Q124. 宿日直手当

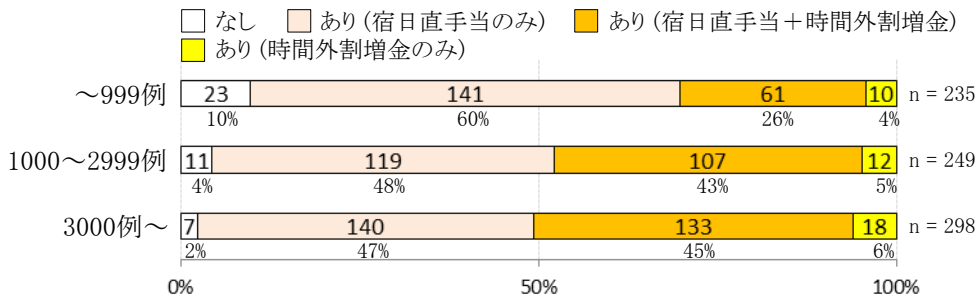


【XⅢ】—Q124. ①病床数別



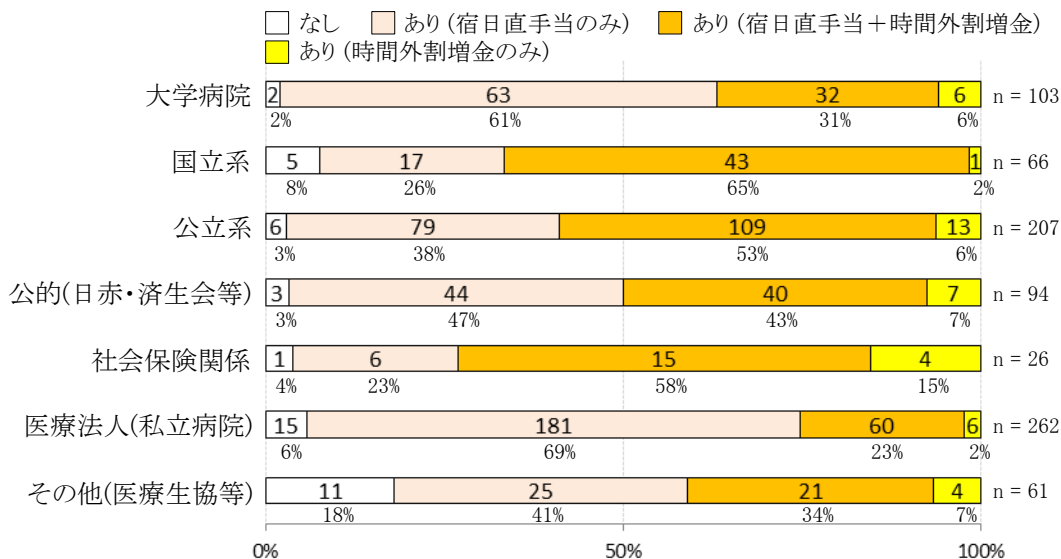
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり (p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【XⅢ】—Q124. ②手術数別



※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり (p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

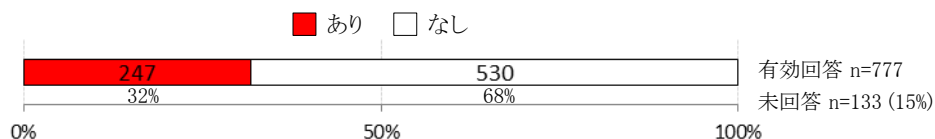
【XⅢ】—Q124. ③設置主体別



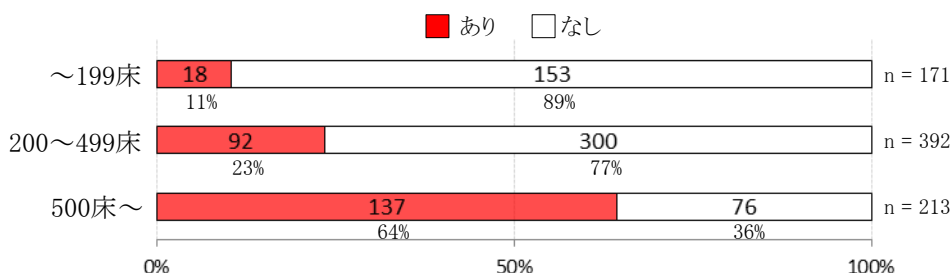
※群間に設置主体差あり (p < 0.0001) 多重比較

## 【XIV】麻酔科医の当直制やオンコール制について

### 【XIV】—Q125. 当直制

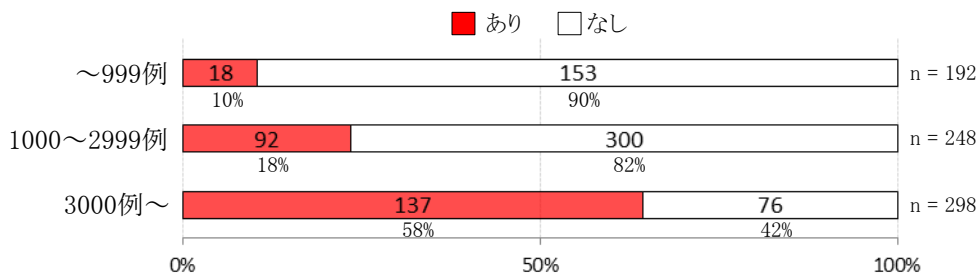


### 【XIV】—Q125. ①病床数別



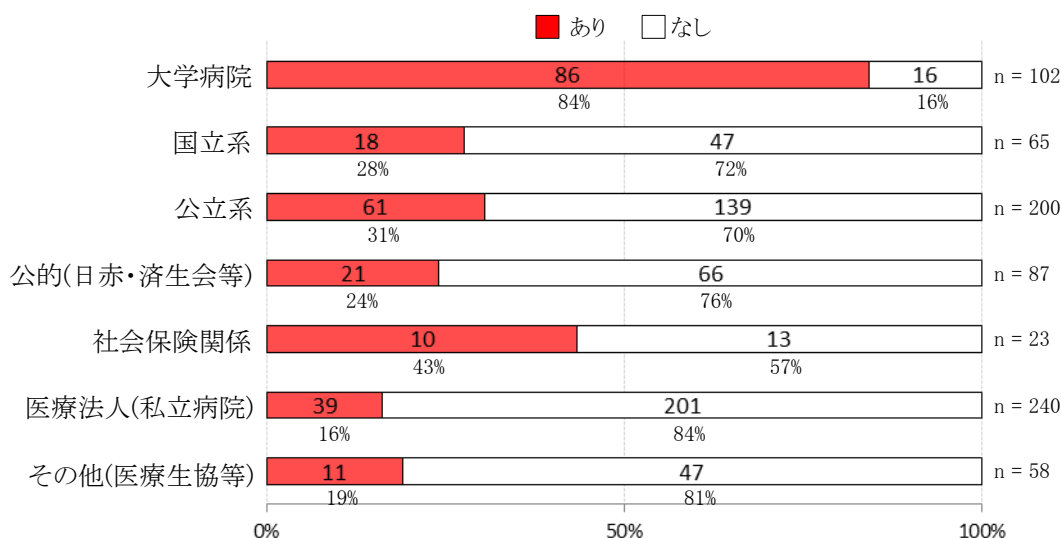
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

### 【XIV】—Q125. ②手術数別



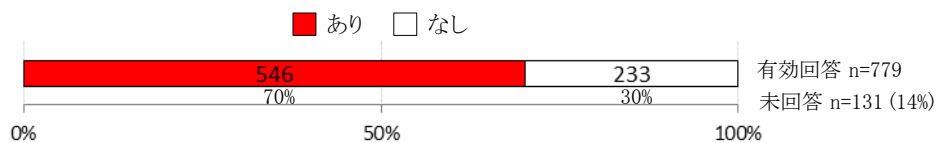
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

### 【XIV】—Q125. ③設置主体別

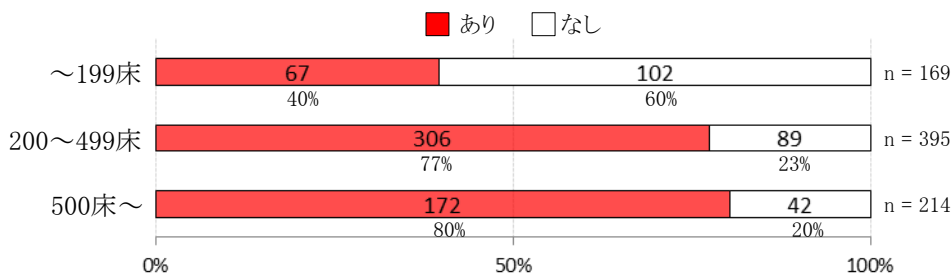


※両群に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【XIV】—Q126. オンコール制

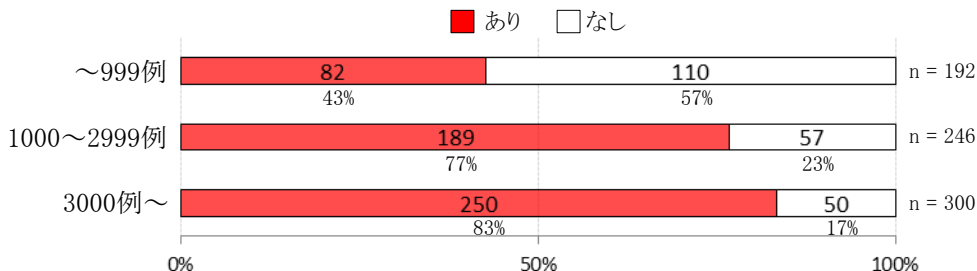


【XIV】—Q126. ①病床数別



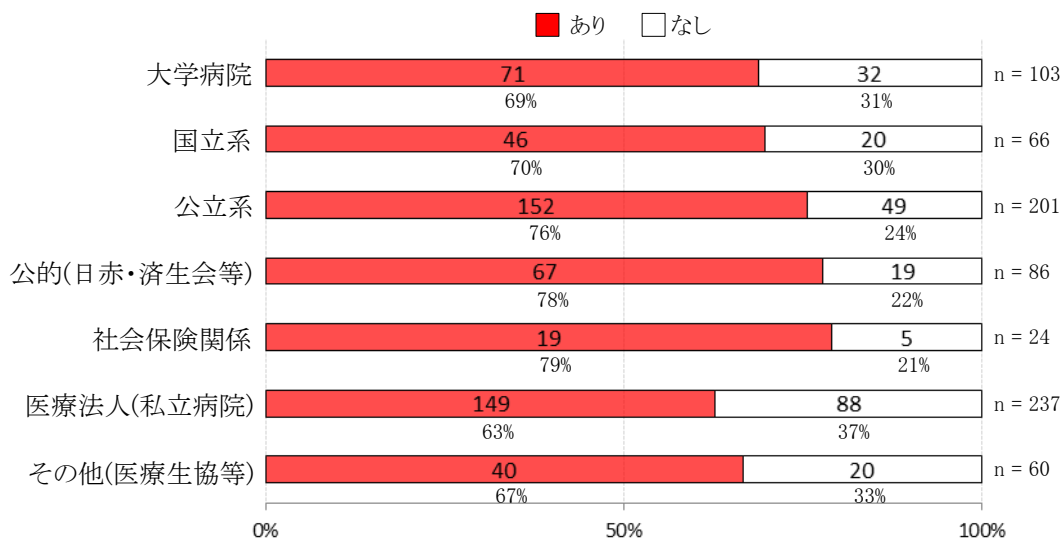
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

【XIV】—Q126. ②手術数別



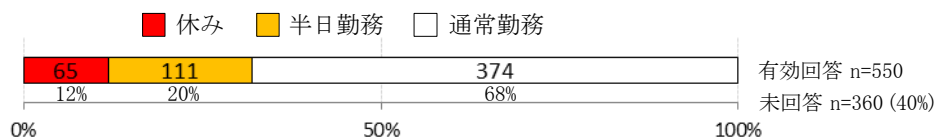
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど両群に有意差あり(p < 0.0001) Mann-Whitney U test

【XIV】—Q126. ③設置主体別

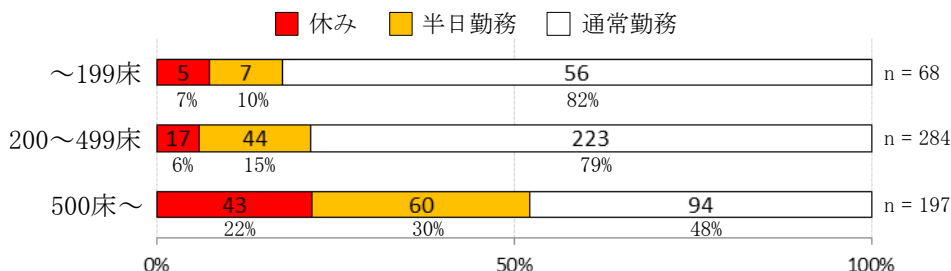


※両群に設置主体差あり(p = 0.0487) 多重比較

【XIV】—Q127. 当直明けについて

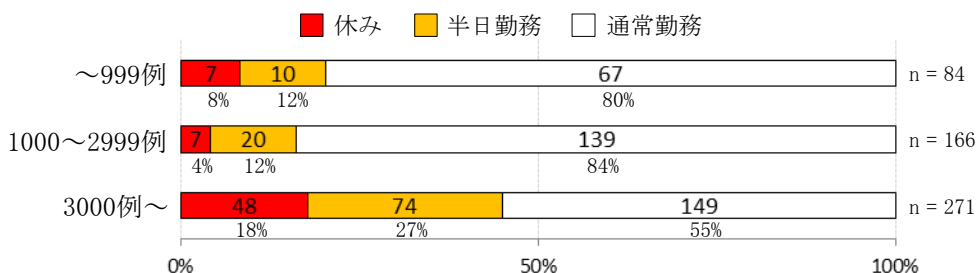


【XIV】—Q127. ①病床数別



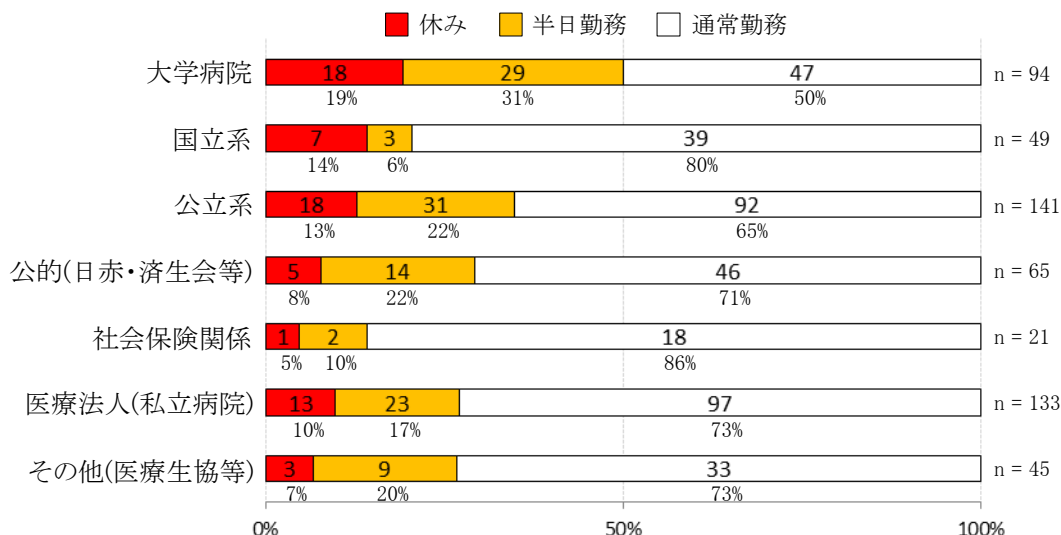
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり (p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【XIV】—Q127. ②手術数別



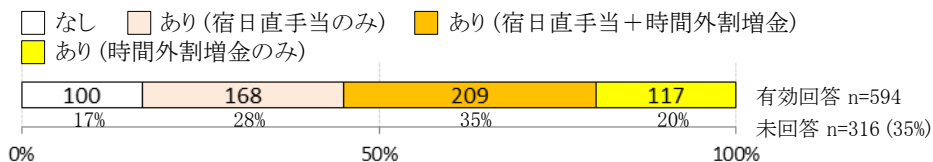
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり (p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【XIV】—Q127. ③設置主体別

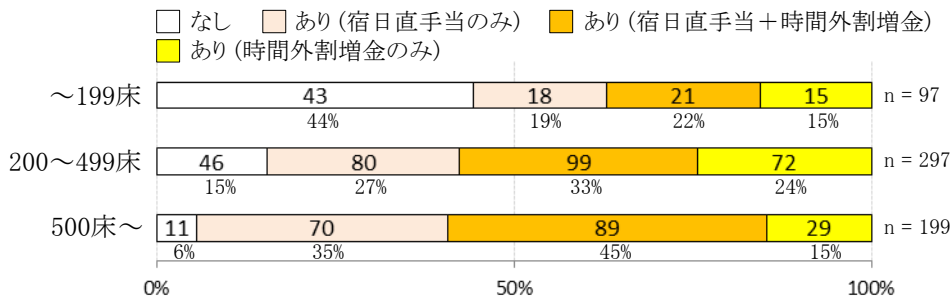


※群間に設置主体差あり (p = 0.0070) 多重比較

【XIV】—Q128. 宿日直手当

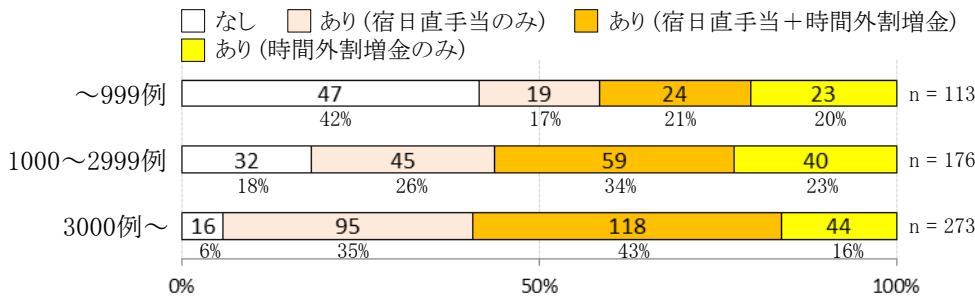


【XIV】—Q128. ①病床数別



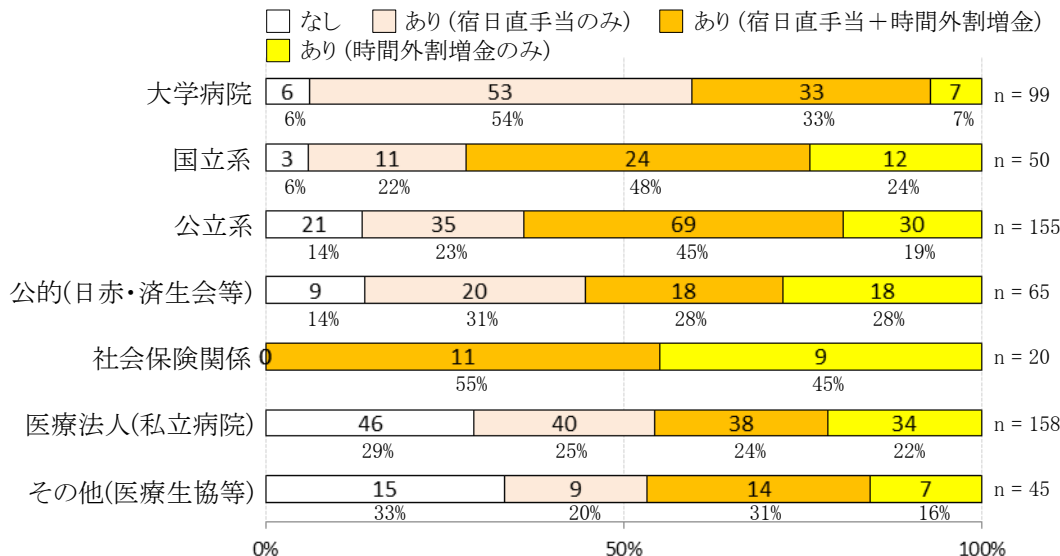
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

【XIV】—Q128. ②手術数別



※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p < 0.0001) Kruskal-Wallis test

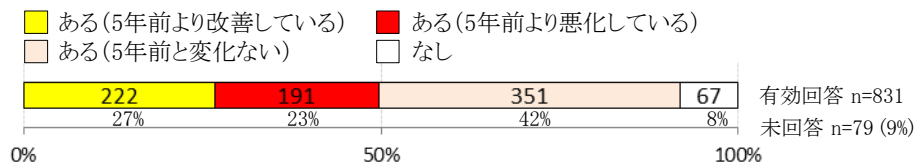
【XIV】—Q128. ③設置主体別



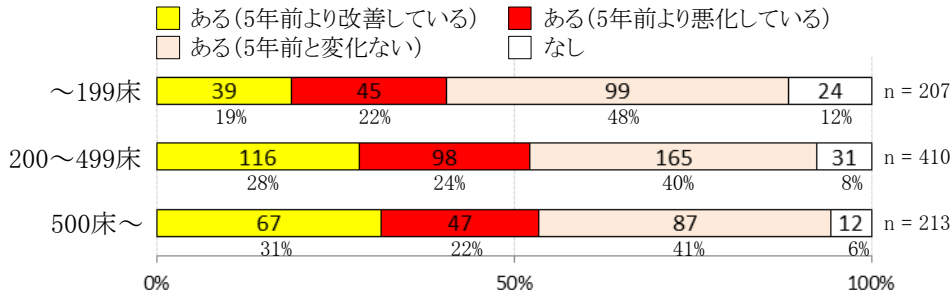
※群間に設置主体差あり(p < 0.0001) 多重比較

【X V】その他-2

【X V】—Q130. 麻酔科医不足による問題について

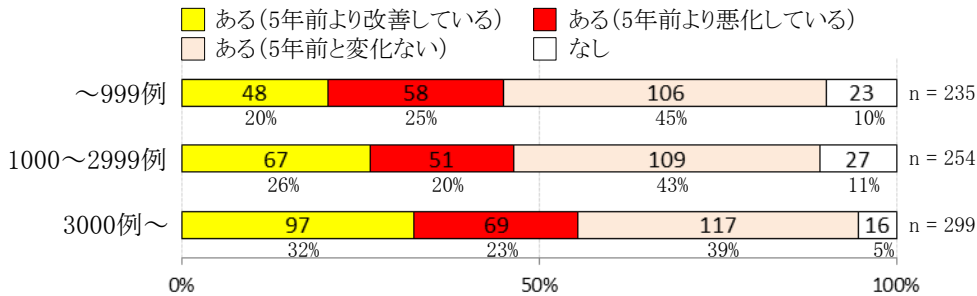


【X V】—Q130. ①病床数別



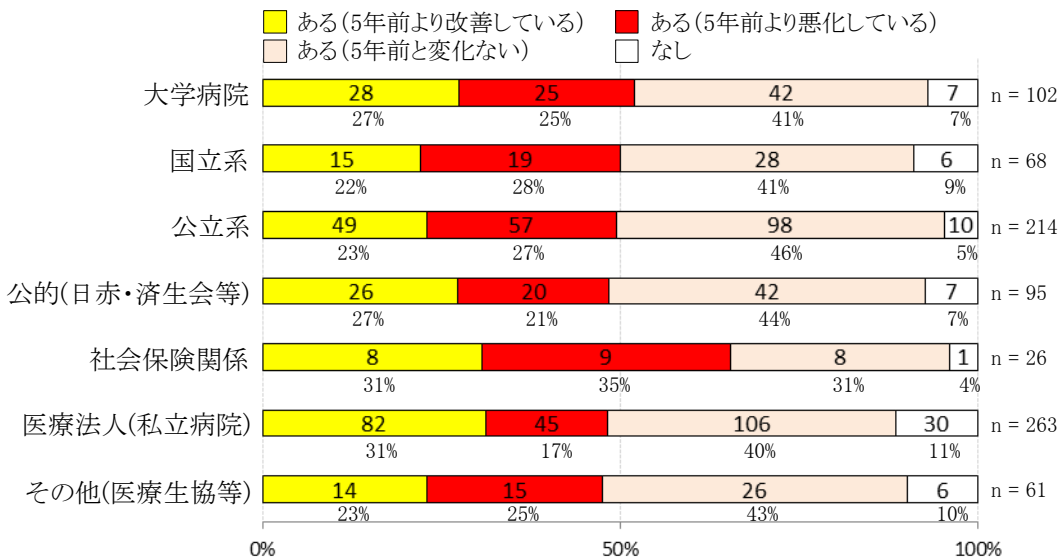
※「病床数別」を病床数(実数値)に置換して比較した場合  
病床数が増加するほど群間に有意差あり(p = 0.0130) Kruskal-Wallis test

【X V】—Q130. ②手術数別



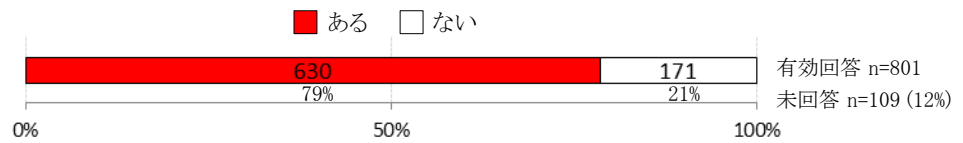
※「年間手術数別」を年間手術数(実数値)に置換して比較した場合  
年間手術数が増加するほど群間に有意差あり(p = 0.0236) Kruskal-Wallis test

【X V】—Q130. ③設置主体別



※群間に設置主体差なし(p = 0.2512) 多重比較

## 【X V】—Q129. 麻酔科の術後回診の有無について



## 【X V】—Q131. 周術期管理・麻酔におけるマンパワーと労働環境及びチーム医療に関する実態についての意見

※記載内容は別紙にまとめ